施策の評価票

施策名 日々のくらしのなかに人権を大切にし，尊重し合う習慣が根付いた「人権文化」の構築

1111

所管局: 文化市民局　　**共管局:** なし

概要 人権尊重の考え方が日常生活に根付いた社会の構築をめざす。

総合評価 C

本施策は，「人権文化」の構築というその性格上，市民の実感にその評価を求めざるを得ず，市民満足度評価をもって客観指標評価とする。よって客観指標評価は市民満足度評価と同じCであり，総合評価もCとする。

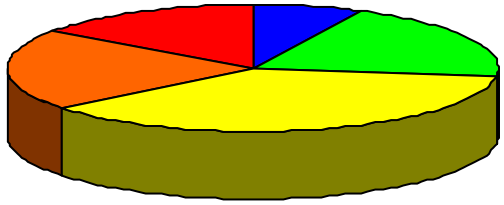
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: C

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度	評価
市民満足度評価	C

○この施策に関する市民満足度評価

京都は普段の生活の中で「人権」を大切にする習慣が根付いていると思う。



答a:そう思う	27	7.2%
答b:どちらかというとそう思う	76	20.2%
答c:どちらとも言えない	139	36.9%
答d:どちらかというとそう思わない	77	20.4%
答e:そう思わない	58	15.4%
有効回答数	377	
満足度評価	C	

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
市民啓発事業（人権）
人権啓発推進支援事業
コミュニティセンター資料展示施設運営
世界人権問題研究センター運営

施策名 男女がともに自立，参画，創造する男女共同参画社会の実現

1112

所管局: 文化市民局　　共管局: なし

概要 女性と男性が，等しく個人として尊重され，性別によらない多様な生き方が保障されるとともに，あらゆる場において，ともに責任を担いつつ個性と能力を発揮することができる社会を実現する。

総合評価 C

男女共同参画社会の実現に向けては，家庭･地域･職場など日常生活の中で，いかに市民が平等を実感しているかが重要であり，市民満足度調査を主たる客観指標とした。また，審議会等における女性委員の登用率は上昇傾向にはあるものの，35%の目標値に対する評価としてC，その他，ウィングス京都の来館者数や保育所の待機児童数などと合わせ，客観指標評価はCとする。市民満足度評価のCと合わせ，総合評価をCとする。

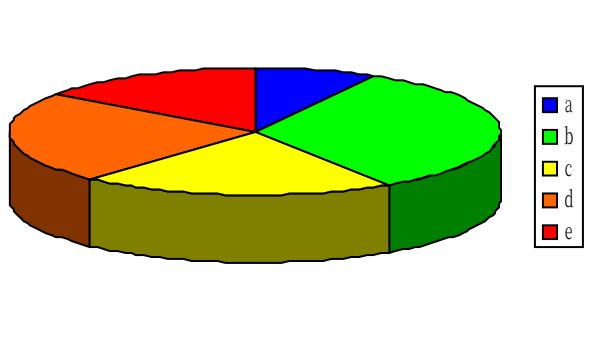
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: C

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
市民満足度評価					C
(準)審議会等における女性委員の登用率(%)	24.1	24.6			C'
(準)女性総合センター(ウィングス京都)来館者数(人)	378280	352622			D'
(準)女性の年齢階級別労働力率(%)		56.4			
(準)保育所の待機児童数（人）	532	436			B'

○この施策に関する市民満足度評価

家庭，地域，職場など日常生活の中で女性と男性が平等になってきていると思う。



答a:そう思う	31	8.1%
答b:どちらかというとそう思う	126	32.8%
答c:どちらとも言えない	80	20.8%
答d:どちらかというとそう思わない	89	23.2%
答e:そう思わない	58	15.1%
有効回答数	384	
満足度評価		C

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
きょうと男女共同参画推進プランの推進
イーフラット作成
女性に対する暴力対策
男女共同参画推進条例の制定
女性総合センター（ウイングス京都）の運営
女性大学の運営

施策名 子どもの人権の尊重

1113

所管局: 保健福祉局　　共管局: 教育委員会･文化市民局

概要 児童虐待やいじめの防止等により子どもの権利を擁護し，子どもの人権を尊重する社会を構築するとともに，子どもたちの社会性や自主性，公共心を培う。

総合評価 C

虐待相談に対して殆ど速やかに対応しているが，この施策においても市民の実感が肝心であり，市民満足度調査を客観指標として採用している。この結果，客観指標評価はCであり，市民満足度評価のCとあわせ，総合評価はCとする。

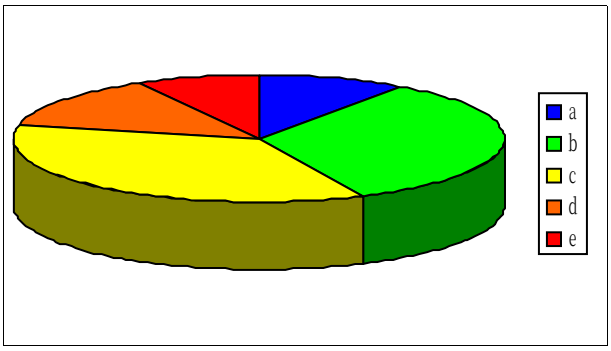
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: C

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
市民満足度評価					C
(準)虐待相談に対して速やかに対応（48時間以内）した件数の割合（%）	94	96			B'

○この施策に関する市民満足度評価

子どもの人格が大切にされる社会になってきていると思う。



答a:そう思う	37	9.8%
答b:どちらかというとそう思う	126	33.2%
答c:どちらとも言えない	135	35.6%
答d:どちらかというとそう思わない	50	13.2%
答e:そう思わない	31	8.2%
有効回答数	379	
満足度評価	C	

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
児童虐待対策の充実
児童相談所運営
一時保護所運営

施策名 高齢者の人権の尊重

1114

所管局: 保健福祉局　　共管局: 文化市民局

概要 高齢者のプライバシーの侵害や虐待を防止し，高齢者の人権を尊重するとともに，高齢者が自立して社会参加できる場や機会に恵まれた社会をめざす。

総合評価 B

介護サービスの利用に当たって，利用している高齢者の意向は十分に尊重されていることから，客観指標評価をAとするが，市民満足度評価はCであり，高齢者が社会参加できる条件整備に関する市民の実感を高めていく必要があり，総合評価をBとする。

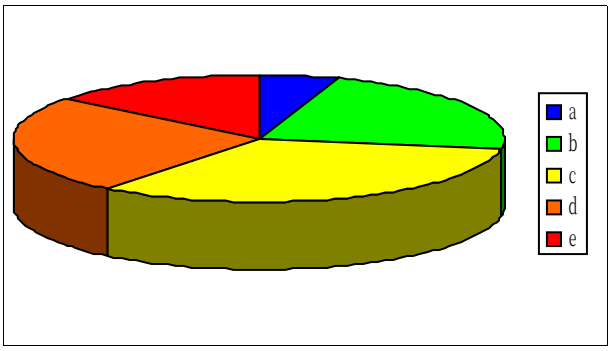
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: A

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
介護サービス評価事業ユーザー評価結果（2点満点）	1.204	1.286			A
(準)シルバー人材センターの就業率（%）	65.5	62.8			B'

○この施策に関する市民満足度評価

高齢者が知識や経験等を生かして社会参加できる条件の整備が進んできていると思う。



答a:そう思う	20	5.3%
答b:どちらかというとそう思う	85	22.4%
答c:どちらとも言えない	125	32.9%
答d:どちらかというとそう思わない	96	25.3%
答e:そう思わない	54	14.2%
有効回答数	380	
満足度評価		C

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
地域福祉権利擁護事業
長寿すこやかセンター運営
介護保険サービス評価事業
介護相談員派遣事業

施策名 障害のあるひとの人権の尊重

1115

所管局: 保健福祉局　　共管局: 文化市民局

概要 障害者に対する物理的，制度的，心理的障害を取り除き，障害のある人もない人も同じ生活を送ることができる社会を構築する。

総合評価 C

障害のあるひとの通所授産施設数は増加しているが，この施策においても市民の実感が肝心であり，市民満足度調査を客観指標として採用している。この結果，客観指標評価はCであり，市民満足度評価のCと合わせ，総合評価はCとする。

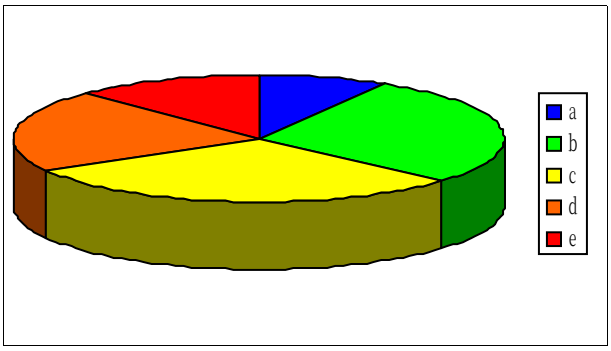
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: C

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
市民満足度評価					C
(準)障害のあるひとの通所授産施設の施設数（人分）		1116	1230	91.0%	B'

○この施策に関する市民満足度評価

障害のある人が社会参加するための支援策が進んでいると思う。



答a:そう思う	32	8.5%
答b:どちらかというとそう思う	106	28.3%
答c:どちらとも言えない	112	29.9%
答d:どちらかというとそう思わない	78	20.8%
答e:そう思わない	47	12.5%
有効回答数	375	
満足度評価		C

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
障害者理解促進事業
京都市障害者施策推進協議会運営
精神医療実地審査

施策名 特別施策としての同和対策事業の終結とその後の取組

1116

所管局: 文化市民局　　共管局: なし

概要 特別施策としての同和対策事業を終結するとともに，残る諸課題については一般施策により取組を進め，様々な人が交流，共生する地域社会作りを進める。

総合評価 C

本施策は，様々な人が交流，共生する地域社会作りというその性格上，市民の実感にその評価を求めざるを得ず，市民満足度評価をもって客観指標評価とする。よって客観指標評価は市民満足度評価と同じCであり，総合評価もCとする。

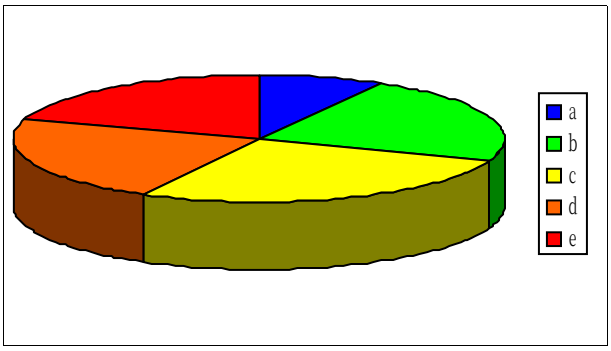
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: C

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度	評価
市民満足度評価	C

○この施策に関する市民満足度評価

生まれや生い立ちに関係なく，すべての人がいきいきと暮らせる社会になってきていると思う。



答a:そう思う	31	8.3%
答b:どちらかというとそう思う	84	22.4%
答c:どちらとも言えない	102	27.2%
答d:どちらかというとそう思わない	82	21.9%
答e:そう思わない	76	20.3%
有効回答数	375	
満足度評価	C	

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
市立浴場運営
高齢者等入浴補助事業助成
市立浴場周辺民間浴場整備利子補給
コミュニティセンターの運営
進路支援事業

施策名 多文化共生社会の実現

1117

所管局: 総務局　　共管局: 文化市民局

概要 国籍，民族，文化等の違いによる精神的，制度的な壁を解消し，すべての市民が共に生きる多文化共生社会の実現を目指す。

総合評価 C

審議会等への外国籍市民の委員数は前年度に比べ増加し，平成13年度から新たに実施した「留学生住宅保証制度」の利用状況も着実に増加しているため，客観指標評価はBとする。しかし，市民満足度評価はCとなっていることから，総合評価をCとする。

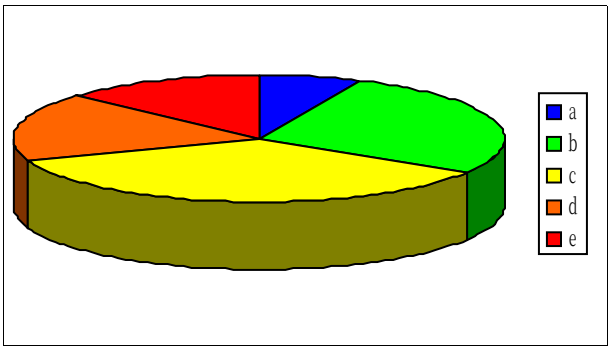
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: B

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
審議会等への外国籍市民委員の参加数（人）	8	9			B
京都地域留学生住宅保証制度利用件数（件）	38	86			B

○この施策に関する市民満足度評価

国籍，民族，文化等が違っても理解し合える社会になってきていると思う。



答a:そう思う	25	6.6%
答b:どちらかというとそう思う	103	27.2%
答c:どちらとも言えない	135	35.7%
答d:どちらかというとそう思わない	65	17.2%
答e:そう思わない	50	13.2%
有効回答数	378	
満足度評価		C

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
外国籍市民施策の推進事業

施策名 現代社会における多様な人権問題への対応

1118

所管局: 文化市民局　　共管局: なし

概要 多様な人権問題に関して正しい理解と認識を深め，市民ひとりひとりが身近な問題として考え対処する力を身につけ，現代社会における様々な人権問題に対応する。

総合評価 D

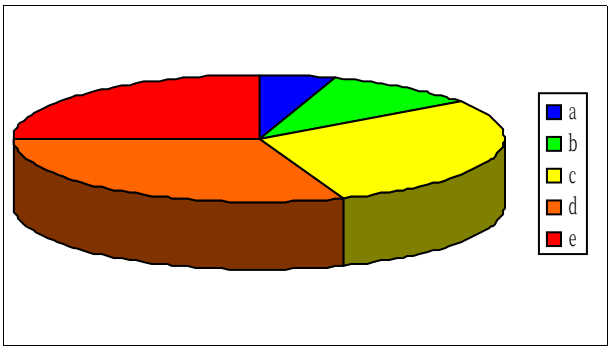
本施策は，市民の意識と能力の向上を通じての多様な人権問題への対応というその性格上，市民の実感にその評価を求めざるを得ず，市民満足度評価をもって客観指標評価とする。よって客観指標評価は市民満足度評価と同じDであり，総合評価もDとする。

○この施策の客観指標評価　　客観指標総合評価: D

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度	評価
市民満足度評価	D

○この施策に関する市民満足度評価

HIV感染者やハンセン病，刑を終えて出所した人，ホームレスなど，現代社会の様々な人権問題についての市民の意識は高いと思う。



答a:そう思う	18	4.9%
答b:どちらかというとそう思う	38	10.3%
答c:どちらとも言えない	108	29.3%
答d:どちらかというとそう思わない	113	30.6%
答e:そう思わない	92	24.9%
有効回答数	369	
満足度評価		D

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名

施策名 だれもがずっとくらし続けたくなるすまい･まちづくり

1121

所管局: 都市計画局　　共管局: なし

概要 まちや住宅の安全性･地域性･歴史性等に配慮しながら，市民，事業者等との協働により，良質な住宅，住環境を整備し，多様な世代が共生するまちを実現する。

総合評価 B

主たる客観指標については，5年に1度の調査によることから今回は参考程度にとどめ，住環境の保全等のため，住民のまちづくりへの積極的な意識をあらわす建築協定区画数の推移と市民満足度評価を判断材料とする。いずれもBであることから総合評価をBとした。

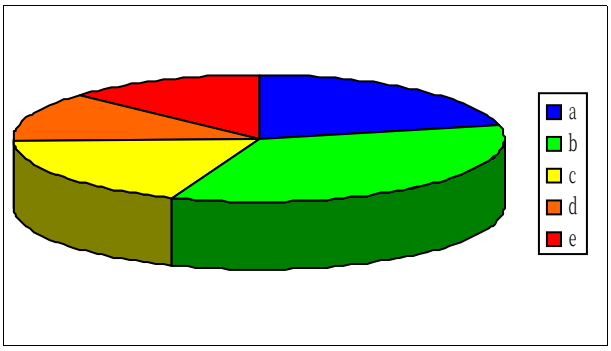
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: B

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
市民一人あたりの住宅床面積（㎡）		28.46			
バリアフリー化された住宅の割合（%）		42.1			
(準)建築協定区画数（区画）	5354	5745			B'

○この施策に関する市民満足度評価

今住んでいる住宅や周りの環境には満足している。



答a:そう思う	84	21.7%
答b:どちらかというとそう思う	132	34.1%
答c:どちらとも言えない	72	18.6%
答d:どちらかというとそう思わない	49	12.7%
答e:そう思わない	50	12.9%
有効回答数	387	
満足度評価		B

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
洛西ニュータウン維持管理･整備事業
醍醐交流会館運営
パセオダイゴロー西館管理負担金等
検査向上･違反指導
建築協定連絡協議会
市有建築物維持修繕
公営住宅管理運営
改良住宅管理運営
安心すまいづくり推進事業（マンション管理支援関連事業を除く）
マンション管理支援関連事業
向島学生センター運営経費等補助金･貸付金

分譲住宅融資制度貸付金

地域特別賃貸住宅（コープ･ミール花園）建設資金貸付金

特定優良賃貸住宅供給促進

久我の杜シニア住宅建設事業

高齢者向け優良賃貸住宅供給促進

京都市総合住宅資金融資

公営住宅建設事業

住宅地区改良事業

改良住宅等改善事業

密集住宅市街地整備促進事業

改良住宅等住宅資金等融資事業

鴨川陶化橋上流域環境整備対策

福祉のまちづくり事業費

いきいきハウジングリフォーム

人権団体等各種補助金

施策名 高齢者や障害のあるひとが積極的に社会参加できる機会の提供

1122

所管局: 保健福祉局　　共管局: なし

概要 福祉施設やスポーツ施設を整備し，ボランティア活動を支援するとともに，スポーツ活動の普及・ITなどの活用により，高齢者や障害のあるひとが積極的に社会参加できる社会を実現する。

総合評価 B

市民満足度評価はCであるが，客観指標評価がBであり，客観指標評価に用いた利用者数等の数値が上昇していることから，総合評価をBとする。

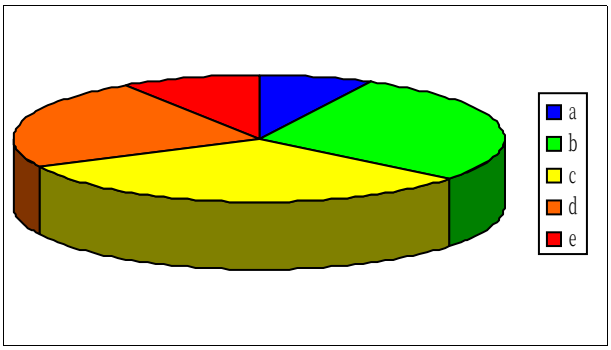
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: B

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
市民満足度評価					C
(準)障害者デイサービスセンターの設置数（箇所）		14	15	93.0%	B'
(準)こころのふれあい交流サロンの設置数（箇所）		9	21	43.0%	D'
(準)老人福祉センターの利用者数（人）	426805	432681			A'

○この施策に関する市民満足度評価

高齢者や障害のあるひとが社会参加できる機会が増えていると思う。



答a:そう思う	28	7.4%
答b:どちらかというとそう思う	107	28.5%
答c:どちらとも言えない	119	31.6%
答d:どちらかというとそう思わない	88	23.4%
答e:そう思わない	34	9.0%
有効回答数	376	
満足度評価	C	

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
山科醍醐等地域敬老乗車証交付
岩倉大原等地域敬老乗車証交付
長寿すこやかセンター運営
老人福祉センター運営（第一種）
老人福祉センター運営（第二種）
老人スポーツ普及事業委託
老人園芸広場運営
ふれあい活動助成事業
敬老ふれあい入浴助成事業
老人クラブ助成
老人クラブハウス助成

民営バス敬老乗車証交付

敬老記念品贈呈事業

全国健康福祉祭参加者派遣

「すこやかフェア京都」開催助成

自動車運送事業特別会計繰出

高速鉄道事業特別会計繰出

知的障害者デイサービス事業

知的障害者デイサービス事業支援費（重度心身障害児者デイケア事業）

知的障害者福祉研修大会補助

知的障害者社会活動総合推進事業

身体障害者デイサービスセンター運営

介護デイサービス利用分

重度身体障害者タクシー料金助成

障害者ガイドヘルパー派遣事業

盲人ガイドヘルパー派遣事業

障害者スポーツセンター運営

京都障害者スポーツ振興会運営補助

車いす駅伝大会

団体競技チーム強化育成

車いす駅伝チーム強化育成

障害者体育大会

身体障害者スポーツ振興

全国障害者スポーツ大会派遣事業

身体障害者相談員設置

身体障害者社会参加促進事業

社会復帰施設整備補助

精神障害者福祉乗車証交付事業

社会適応訓練事業

精神障害者ふれあい交流サロン運営委託事業

施策名 高齢者や障害のあるひとの能力向上や働く場の確保

1123

所管局: 保健福祉局　　共管局: なし

概要 高齢者や障害のあるひとの能力向上を図り，就業の場の確保に努める。

総合評価 C

シルバー人材センターの就業率は前年よりは下がっているが，政令指定都市間の比較では良い状態であり，客観指標評価はBである。しかし，市民の実感を示す市民満足度評価がDであるので，総合評価をCとする。

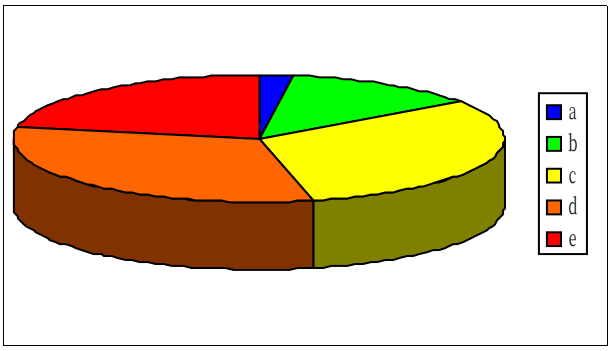
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: B

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
シルバー人材センターの就業率 (%)	65.5	62.8			B
障害のあるひとの通所授産施設の施設数 (人分)		1116	1230	91.0%	B
(準)障害者雇用率 (精神障害者を除く。) 達成企業の割合 (%)	47.5	46.9			B'

○この施策に関する市民満足度評価

高齢者や障害のあるひとの働く場が増えてきていると思う。



答a:そう思う	8	2.1%
答b:どちらかというとそう思う	49	13.1%
答c:どちらとも言えない	116	31.1%
答d:どちらかというとそう思わない	117	31.4%
答e:そう思わない	83	22.3%
有効回答数	373	
満足度評価		D

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
シルバー人材センター運営補助
シルバー福祉･家事援助サービス事業補助
高齢者技術講習会開催事業
高齢者就労援助事業
職親委託
知的障害者通勤寮運営
知的障害者福祉工場運営補助
知的障害者自立訓練センター運営補助
共同作業所運営助成
知的障害者就業･生活支援センター運営
身体障害者通所授産施設運営

福祉工場運営助成

盲人三療指導所運営助成

授産振興センター運営助成

通所授産施設運営補助

小規模通所授産施設運営補助

小規模通所授産施設整備補助

知的障害者通所授産施設みやこ作業所（仮称）整備

施策名 だれもがいきいきと働けるまちづくり

1124

所管局: 文化市民局　　共管局: なし

概要 勤労者のニーズに合わせた労働に関する情報の提供や学習機会の提供などを通じ，勤労者の福祉の向上を図り，だれもがいきいきと働けるよう支援を行う。

総合評価 D

労働学校の入学者数や勤労者情報システムへのアクセス件数を過去の実績と比較した結果による客観指標評価はCである。また，満足度調査は「どちらとも言えない」，「どちらかというとそう思わない」が多くD評価であったことから，総合評価をDとする。

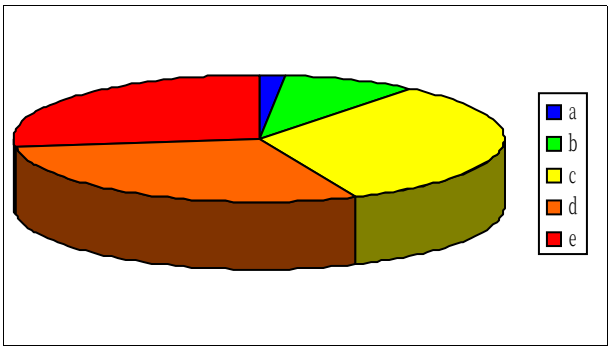
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: C

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
市民満足度評価					D
(準)京都労働学校入学者数(人)	1684	1593			C'
(準)勤労者情報システムアクセス件数(件)	17056	11871			B'

○この施策に関する市民満足度評価

労働についての情報が提供され，いきいきと働ける場を得ていると思う。



答a:そう思う	6	1.6%
答b:どちらかというとそう思う	34	9.0%
答c:どちらとも言えない	125	33.1%
答d:どちらかというとそう思わない	110	29.1%
答e:そう思わない	103	27.2%
有効回答数	378	
満足度評価		D

<参考>この施策実現のための主な事業

事業名
労働学校運営
労働者金融対策（融資制度）
勤労者情報システム整備
労働団体助成

施策名 学校と家庭･地域の連携

1131

所管局: 教育委員会　　共管局: なし

概要 学校･家庭･地域が相互に結ばれた関係をつくることで社会全体の教育力の向上を図り，地域の特性を踏まえた教育活動を推進する。

総合評価 B

自由参観日実施校数について昨年を上回り，ふれあい活動推進事業実施回数，小学校部活動地域指導者数については過去最大の増加幅となっていることから，客観指標評価をAとする。市民満足度評価のBと合わせ，総合評価をBとする。

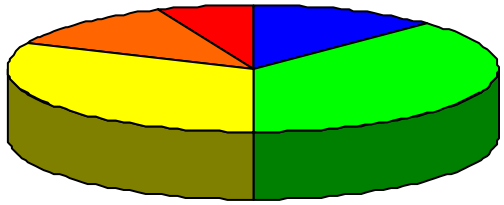
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: A

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
市民満足度評価					B
(準)自由参観実施校数（校）	128	187			B'
(準)ふれあい活動推進事業事業回数（回）	2357	4725			A'
(準)小学校部活動における地域指導者数（人）	410	806			A'

○この施策に関する市民満足度評価

学校でも地域ぐるみの事業が行われ,開かれた学校になっていると思う。



答a:そう思う	45	12.5%
答b:どちらかというとそう思う	135	37.4%
答c:どちらとも言えない	114	31.6%
答d:どちらかというとそう思わない	44	12.2%
答e:そう思わない	23	6.4%
有効回答数	361	
満足度評価		B

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
外部評価を含む「学校評価」システム実施
家庭教育･子育て支援の充実
ＰＴＡ研修･啓発
学校支援ボランティアのネットワーク化
地域生徒指導連絡協議会
地域体験活動推進（ふれあい活動推進事業）
人づくり21世紀委員会

施策名 子どもたちの社会性を高める教育の推進

1132

所管局: 教育委員会　　共管局: なし

概要 生命や人権，社会規範を尊重し，豊かな心を育み社会性を高める教育を推進し，主体的に行動できる子どもたちを育成する。

総合評価 B

生き方探究･チャレンジ体験推進事業が全中学校で実施され，スクールカウンセラー配置校，ボランティア派遣回数も学校のニーズに応えて増加していることから客観評価をBとする。市民満足度評価のCと合わせ，総合評価をBとする。

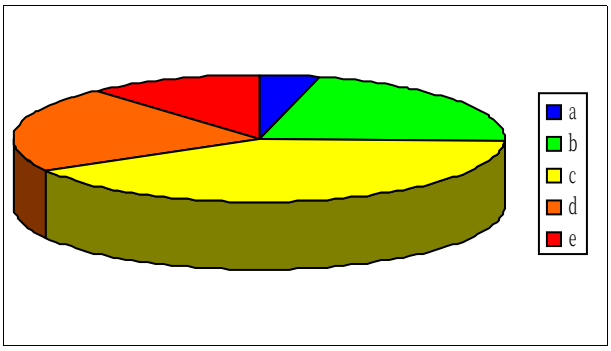
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: B

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
市民満足度評価					C
(準)生き方探究･チャレンジ体験推進事業実施率 (%)	69.2	100			A'
(準)スクールカウンセラー配置校数 (校)	51	62			B'
(準)学校支援ボランティアの派遣回数 (回)	256	326			B'

○この施策に関する市民満足度評価

ボランティア活動などで，子供の社会性が高まっていると思う。



答a:そう思う	14	3.9%
答b:どちらかというとそう思う	78	21.8%
答c:どちらとも言えない	146	40.9%
答d:どちらかというとそう思わない	78	21.8%
答e:そう思わない	41	11.5%
有効回答数	357	
満足度評価	C	

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
小学校1，2年生「35人学級」実施
学力向上対策
生き方探究･チャレンジ体験 (中学生職場体験等)
文化･体験活動推進
国際理解教育･英語教育の充実
道徳教育振興
理科教育振興
読書活動振興
特色ある学校経営
教育相談総合センター運営
スクールカウンセラー等配置

不登校対策

各種健全育成事業

安全教育推進

体力向上推進

中学･高校競技力向上

学校給食の充実

施策名 障害のある子どもの教育の推進

1133

所管局: 教育委員会　　共管局: なし

概要 障害のある児童，生徒ひとりひとりの状態や発達段階に応じた指導の充実や教育内容の改善，地域の学校で学びたいとの保護者や子どもたちの要望にこたえる育成学級等の充実などきめ細かな養護育成教育を推進する。

総合評価 B

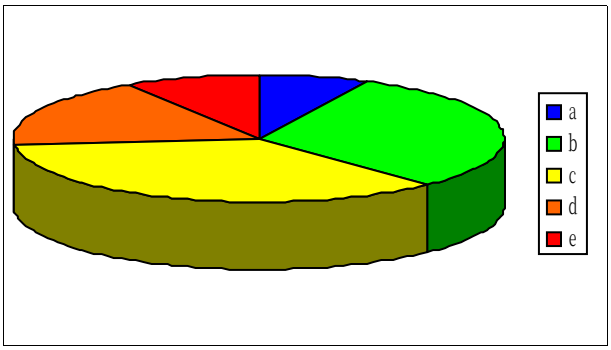
育成学級が必要とされる全ての学校に育成学級を設置するとともに，交流事業「みんなで遊ぼうワイワイ広場」の参加者数が過去最高の伸びとなっていることから，客観指標評価をAとする。市民満足度評価のCと合わせ，総合評価をBとする。

○この施策の客観指標評価　　客観指標総合評価: A

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
(準)育成学級の設置が必要とされる学校への育成学級設置率 (%)	100	100			A'
(準)交流事業「みんなで遊ぼう夏休みワイワイ広場」参加者数 (人)	5712	7136			A'

○この施策に関する市民満足度評価

障害のある子どもの状況に応じた指導･対応がなされ，養護育成教育が充実していると思う。



答a:そう思う	25	7.2%
答b:どちらかというとそう思う	107	30.7%
答c:どちらとも言えない	123	35.3%
答d:どちらかというとそう思わない	62	17.8%
答e:そう思わない	31	8.9%
有効回答数	348	
満足度評価	C	

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
養護学校･育成学級の運営等

施策名 教職員の能力･意識の向上

1134

所管局: 教育委員会　　共管局: なし

概要 今日的な課題に対応し，保護者から信頼される教職員を養成するとともに，教職員の研修，研究を充実することにより能力，意識をさらに高める。

総合評価 B

1校あたりの司書教諭有資格者数が政令市2位となっており，教員のPC操作可能率は政令市2位となっている。また，総合教育センターの利用者も大きく増加していることから客観指標評価をAとする。市民満足度評価のCと合わせ，総合評価をBとする。

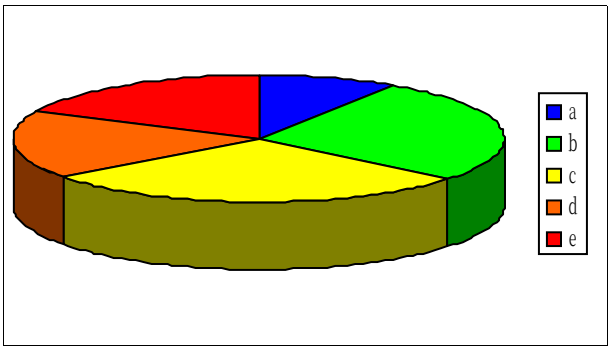
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: A

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
(準)1校あたりの司書教諭資格保有者数（人）	2.86	3.22			A'
(準)教員PC操作可能率（%）	95.9	97			A'
(準)総合教育センター利用者数（人）	122998	139767			B'

○この施策に関する市民満足度評価

何かと苦労が多い中で，学校の先生はよく頑張っており，その働きぶりには満足である。



答a:そう思う	33	9.2%
答b:どちらかというとそう思う	97	27.0%
答c:どちらとも言えない	102	28.4%
答d:どちらかというとそう思わない	62	17.3%
答e:そう思わない	65	18.1%
有効回答数	359	
満足度評価	C	

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
教職員研修の充実

施策名 ゆとりと潤いのある学習環境づくり

1135

所管局: 教育委員会　　共管局: なし

概要 学校施設の高度情報化，安全性の向上を進めるとともに，自然とのふれあいの機会を提供するなど，時代に対応した，ゆとりと潤いのある学習環境を創出する。

総合評価 B

学校施設耐震化，快適トイレ整備が着実に進んでおり，客観指標評価をBとする。市民満足度評価もBであることから総合評価をBとする。

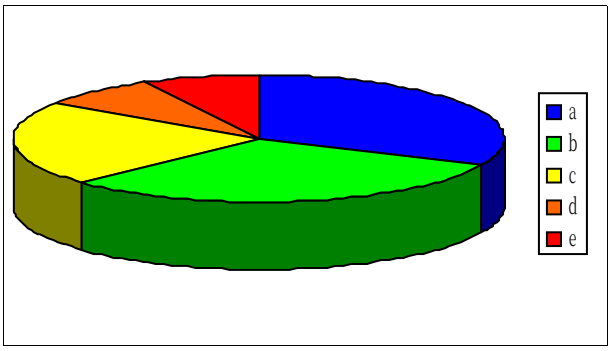
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: B

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
市民満足度評価					B
(準)小･中学校における耐震補強済棟数（棟）	116	138			B'
(準)快適トイレ整備状況（箇所）	407	485			B'

○この施策に関する市民満足度評価

自分たちの子どもの頃と比べると学校の施設･設備が充実しており，学習環境にゆとりを感じる。



答a:そう思う	120	31.9%
答b:どちらかというとそう思う	116	30.9%
答c:どちらとも言えない	81	21.5%
答d:どちらかというとそう思わない	30	8.0%
答e:そう思わない	29	7.7%
有効回答数	376	
満足度評価		B

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
小･中学校増改築
学校維持整備
西京高校全面改築
特色ある高校づくり推進
花背山の家運営
野外教育センター「奥志摩みさきの家」運営
やましなの家運営
日野野外活動施設運営
私学助成

施策名 住み慣れた地域のなかで支え合い安心してくらせるしくみづくり

1211

所管局: 保健福祉局　　共管局: なし

概要 地域社会での相互支援のしくみを再構築するとともに，福祉ボランティアの活動を支援し，地域社会全体で支援の必要なひとの生活を支える社会を構築する。

総合評価 C

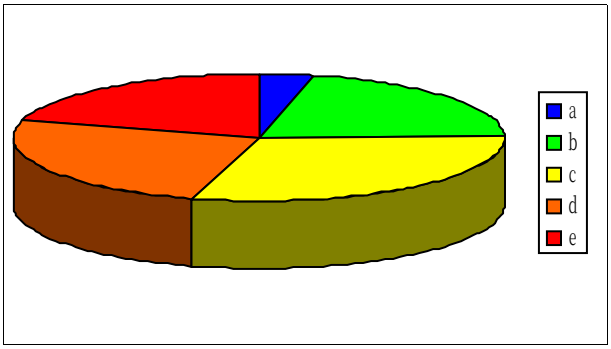
市民満足度評価はDであるが，客観指標評価がCであり，指標中に掲げたファミリーサポート事業を14年度に開始したことを勘案し，総合評価をCとする。

○この施策の客観指標評価　　客観指標総合評価: C

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
市民満足度評価					D
(準)ファミリーサポートの登録者数（人）	0	857			A'

○この施策に関する市民満足度評価

万が一のことがあっても地域で支えあう仕組みがあり，安心である。



答a:そう思う	14	3.6%
答b:どちらかというとそう思う	81	21.1%
答c:どちらとも言えない	114	29.7%
答d:どちらかというとそう思わない	95	24.7%
答e:そう思わない	80	20.8%
有効回答数	384	
満足度評価		D

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
福祉地区対策事業
地域福祉推進事業
ボランティア振興事業
民生委員，児童委員活動推進事業
教育扶助資金給付事業
夏季歳末特別生活資金貸付事業
内職授産事業
生活保護事業
生活保護法外援護事業
ホームレス対策事業
精神保健福祉ボランティア連絡協議会

施策名 高齢者とその家族の生活を支えるサービスの充実

1212

所管局: 保健福祉局　　共管局: なし

概要 高齢者とその家族が安心して生活できるよう，多様なサービスを提供する。

総合評価 B

市民満足度評価はCであるが，客観指標評価がBであり，客観指標のうちサービスの利用状況を示す2指標がA評価であることから，総合評価はBとする。

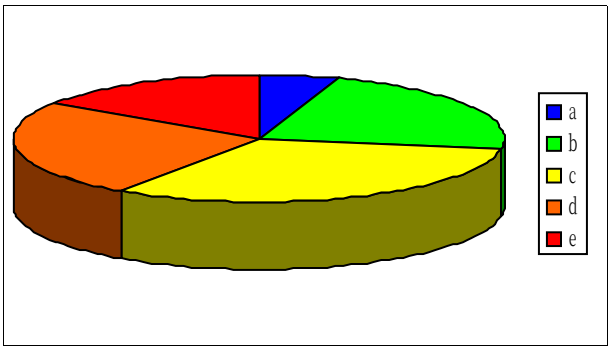
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: B

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
市民満足度評価					C
(準)特別養護老人ホームの利用者数（人）	3305	3434	3634	94.5%	C'
(準)介護保険における居宅介護支援利用者数（人）	22317	27009	21163	127.6%	A'
(準)デイサービス利用者数（回／週）	12050	14473	8790	164.7%	A'
(準)健康すこやか学級の登録者数（人）	3596	4687			B'

○この施策に関する市民満足度評価

高齢者とその家族を支えるサービスが充実していると思う。



答a:そう思う	20	5.3%
答b:どちらかというとそう思う	84	22.4%
答c:どちらとも言えない	119	31.7%
答d:どちらかというとそう思わない	93	24.8%
答e:そう思わない	59	15.7%
有効回答数	375	
満足度評価	C	

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
民間社会福祉施設単費援護
老人医療事務費
老人保健事務費
老人医療費助成費
介護支援専門員等養成支援
高額介護サービス費受領委任払協力交付金
介護支援専門員(ｹｱﾏﾈｰｼﾞｬｰ)支援
介護サービス山間地域提供協力金
介護支援専門員の支援方策（ケアプラン研修）
養護老人ホーム入所措置
軽費老人ホーム事務費補助

ケアハウス事務費補助

老人ホーム入所判定委員会運営

特別日用品費支給

特養利用料軽減

特養つなぎ資金融資

家庭奉仕員派遣事業

委託ヘルパー自立判定者支援

委託ヘルパー低所得者利用料軽減

委託ヘルパー60～64歳高齢者対策

訪問介護つなぎ資金融資

京都福祉サービス協会運転資金借入利子補給

サービス協会体制整備

家族介護者ヘルパー研修受講支援事業

デイ自立判定者支援

デイ60～64歳高齢者対策

短期入所自立判定者支援

短期入所緊急用ベッド確保

短期入所つなぎ資金融資

在宅介護支援センター運営

日常生活用具給付等事業

家族介護用品給付事業

徘徊高齢者あんしんｻｰﾋﾞｽ事業

家族介護慰労金支給事業

入浴サービス助成事業

高齢者いきいき銭湯助成事業

老人福祉員設置事業

老人福祉電話設置事業

緊急通報システム事業

東九条シルバーハウジング生活援助員派遣事業

高齢者サービス総合調整推進事業

在宅福祉サービス推進

老人福祉施設設備整備補助

痴呆性高齢者等措置

京都福祉サービス協会運営補助

配食サービス助成事業

自立者支援･介護予防推進事業 (健康すこやか学級)

公設特養管理運営費補助

外国人高齢者等福祉手当支給

介護保険特別会計繰出金

老人保健特別会計繰出金

五条特養整備助成

清浄華院特養等整備助成

ビハーラ十条特養等整備助成

千本の家特養等整備助成

本能特養等整備

同和園特養等整備助成

ケアハウス椥辻整備助成

仁和老人デイサービスセンター等整備

成逸老人デイサービスセンター等整備

洛東園老人デイサービスセンター整備助成

御池老人デイサービスセンター等整備

崇仁老人デイサービスセンター等整備

重度障害老人健康管理助成費

介護老人保健施設整備助成

施策名 障害のあるひととその家族を支えるサービスの充実

1213

所管局: 保健福祉局　　共管局: なし

概要 障害のあるひととその家族が安心して生活できるよう，多様なサービスを提供する。

総合評価 C

障害者デイサービスセンターの設置数は概ね目標を達しているが，ショートステイ利用可能数等が目標に及んでいないため，客観指標評価はCである。市民満足度評価もCであるため，総合評価をCとする。

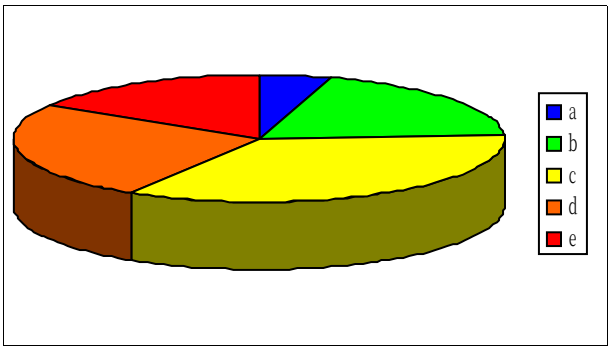
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: C

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
市民満足度評価					C
(準)ショートステイの利用可能数（人分）		26	40	65.0%	C'
(準)障害者デイサービスセンターの設置数（箇所）		14	15	93.0%	B'
(準)グループホームの定員数（人分）		171	238	72.0%	C'

○この施策に関する市民満足度評価

障害のあるひとやその家族を支えるサービスが充実していると思う。



答a:そう思う	17	4.7%
答b:どちらかというとそう思う	71	19.6%
答c:どちらとも言えない	125	34.4%
答d:どちらかというとそう思わない	92	25.3%
答e:そう思わない	58	16.0%
有効回答数	363	
満足度評価		C

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
京都国際社会福祉センター運営補助
民営児童福祉施設措置費
身体障害児補装具交付修理
在宅心身障害児訪問療育
在宅心身障害児日常生活用具給付
心身障害児（者）施設地域療育事業支援費
生活能力訓練事業等
心臓障害児母子通園療育事業助成「パンダ園」
児童デイサービス事業
心身障害児福祉会館管理運営委託
重症心身障害児(者)通園事業

元気家族リフレッシュサポート（ﾚｽﾊﾟｲﾄｻｰﾋﾞｽ）

いきいき地域療育支援事業

児童療育センター運営

支援費支給制度施行事務

支援費制度つなぎ資金貸付事業

サービス協会運転資金借入利子補給

大亀谷福祉センター整備調査･基本構想策定

知的障害者更生施設運営費補助

知的障害者グループホーム運営

グループホーム入居訓練事業補助

知的障害者福祉ホーム運営

知的障害者更生相談所運営

知的障害者相談員設置

知的障害者短期入所事業支援費

身体障害者施設支援費

筋ジストロフィー療養給付

更生訓練費支給

訪問入浴利用助成

身体障害者療護施設運営

聴覚言語障害センター運営

京都ライトハウス運営補助

身体障害者福祉ホーム管理運営

身体障害者福祉電話設置維持

更生医療給付

日常生活用具給付

補装具の交付･修理

身体障害者家庭奉仕員派遣

障害者ホームヘルプサービス

全身性障害者介護人派遣事業

在宅重度障害者短期入所

緊急通報システム整備

外国籍市民重度障害者特別給付金支給

重度障害者自立支援事業

いきいきライフ支援センター運営

盲人日常生活用具購入資金貸付

盲人ホーム「美鈴寮」運営助成

中途失明者巡回生活指導職員派遣

点字シール作成

点字図書購入

吃音矯正訓練事業助成

福祉ホーム運営補助

グループホーム運営補助

地域生活支援センター運営補助

精神保健福祉審議会運営

精神障害者ホームヘルプサービス事業

特別障害者手当等支給

心身扶養共済事業

障害者医療費支給

醍醐和光寮運営

若杉学園運営

身体障害者リハビリテーションセンター運営

精神障害者保健福祉対策

京都ライトハウス改築整備補助

知的障害者施設支援費

施策名 母と子のいのち･健康を守る保健医療の充実

1221

所管局: 保健福祉局　　共管局: なし

概要 妊産婦の心身の健康の保持，増進を図るとともに，子ども特有の事故，病気などへの対応など母親と子どもの総合的な保健医療を充実する。

総合評価 C

市民満足度評価はBであるが，客観指標評価がCであり，本施策に関し重要な指標である周産期死亡率の評価がCであることから，総合評価をCとする。

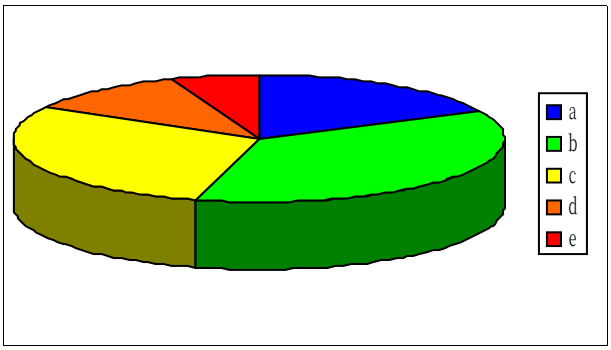
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: C

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
周産期死亡率（出生数千対）＊	5.2	5.9			C
(準)1歳6ヶ月児健康診査受診率（%）＊	90.2	91.2			B'
(準)3歳児健康診査受診率（%）＊	84.4	85.1			C'

○この施策に関する市民満足度評価

子どもを産み育てるときに，気兼ねなく健康相談を受けたり，病院にも行け，安心である。



答a:そう思う	57	17.6%
答b:どちらかというとそう思う	118	36.5%
答c:どちらとも言えない	94	29.1%
答d:どちらかというとそう思わない	35	10.8%
答e:そう思わない	19	5.9%
有効回答数	323	
満足度評価		B

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
乳幼児医療費支給
母子健康手帳交付
母親教室
母子栄養管理事業
第一日赤「総合周産期母子医療センター」運営補助
妊婦健康診査
B型肝炎母子感染防止事業
妊娠中毒症対策
先天性代謝異常等検査
新生児訪問指導
未熟児養育指導

不妊治療費助成

京(みやこ)･子どもいきいきプラン･プラスワン

乳児健康診査

1歳6か月児健康診査

3歳児健康診査

乳児保健教室

身体障害児育成医療給付

結核児童療育給付

未熟児養育医療給付

小児慢性特定疾患治療研究

筋ジストロフィー症等療育相談，指導

施策名 安心して子育てができる保育サービス等の提供

1222

所管局: 保健福祉局　　共管局: なし

概要 様々な保育ニーズに対応した多様なサービスを提供し，安心して子育てのできる環境を構築する。

総合評価 B

市民満足度評価はCであるが，客観指標評価がBであり，とりわけ重要な指標である待機児童数に関する客観指標評価がBであることから，総合評価をBとする。

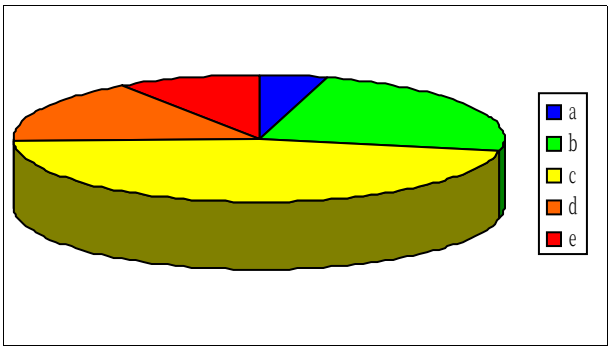
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: B

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
保育所の待機児童数（人）	532	436			B
(準)ファミリーサポートの登録者数（人）	0	857			A'
(準)合計特殊出生率（人）＊	1.21	1.16			E'
(準)延長保育実施箇所数（箇所）	112	117			B'
(準)一時保育実施箇所数（箇所）	19	22			B'

○この施策に関する市民満足度評価

子育て家庭のニーズに応じた保育サービスは，近隣市町村と比べて充実していると思う。



答a:そう思う	14	4.4%
答b:どちらかというとそう思う	75	23.8%
答c:どちらとも言えない	145	46.0%
答d:どちらかというとそう思わない	51	16.2%
答e:そう思わない	30	9.5%
有効回答数	315	
満足度評価	C	

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
私立幼稚園運営助成
私立幼稚園研修事業等助成
私立幼稚園保護者助成（就園奨励費・教材費補助）
京都社会福祉協会助成
民間社会福祉施設単費援護
保育料徴収対策
民間保育所運営費支弁事業
民間保育所延長保育事業
民間保育所一時保育事業
民間保育所休日保育試行事業
昼間里親委託

保育所産休代替職員費補助

保育士養成所補助

保育所入所児歯科衛生指導

保育園連盟事業助成

ファミリーサポート事業

公営保育所運営

公営保育所延長保育事業

公営保育所一時保育事業

公営保育所休日保育試行事業

桂川保育園(仮称)整備補助

西陣和楽園老朽改築補助

京都御池中学校(仮称)等整備

乳幼児健康支援デイサービス事業

施策名 障害のある子どもや養護に欠ける子どもの子育て支援

1223

所管局: 保健福祉局　　共管局: なし

概要 障害のある子どもの保育環境の向上や学童クラブ事業における障害のある子どもの受け入れ態勢の充実を図るとともに，養護に欠ける子どもの子育て支援を充実する。

総合評価 B

人口1万人あたりの障害児保育実施児童数，箇所数とも全国でトップレベルであり，客観指標評価はAであるが，市民満足度評価がCであることから，総合評価はBとする。

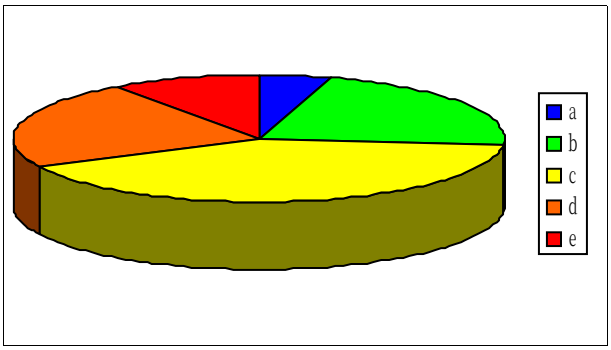
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: A

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
障害児保育実施児童数（人）	635	637			A
障害児保育実施箇所数（箇所）	181	182			A
学童クラブ事業における障害のある児童の利用者数（人）	141	174			B

○この施策に関する市民満足度評価

障害のある子どもや養護に欠ける子どもに対する子育て支援が積極的に行われていると感じる。



答a:そう思う	15	4.7%
答b:どちらかというとそう思う	68	21.5%
答c:どちらとも言えない	130	41.1%
答d:どちらかというとそう思わない	72	22.8%
答e:そう思わない	31	9.8%
有効回答数	316	
満足度評価	C	

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
身体障害児補装具交付･修理
民営児童福祉施設措置費
子育て支援短期利用事業
障害児保育対策
重症心身障害児早期療育助成金
在宅心身障害児育成事業
歯科治療助成（歯科医師会助成）
心身障害児グループ訓練事業助成
在宅心身障害児（者）療育キャンプ開催
児童福祉施設単費援護事業
養護施設･母子生活支援施設育成事業

児童自立支援施設負担金（府立　淇陽学校）

自立援助ホーム運営補助

総合療育所総合診療管理部門運営

特別児童扶養手当判定

総合療育所運営

知的障害児通園施設「こぐま」運営

難聴児通園施設「うさぎ」運営

総合療育通園施設「カンガルー」「こうさぎ」「ライオン」運営

青葉寮運営

児童療育センター療育相談部門(公営)運営

醍醐和光寮運営

施策名 子育ての支援を求める家庭への応援体制の構築

1224

所管局: 保健福祉局　　共管局: なし

概要 子育てに関する情報提供や相談，また，地域全体の重層的な子育て支援のネットワークの充実など，子育て支援を求める家庭を社会全体で応援する体制を構築する。

総合評価 C

地域子育て支援ステーションの相談件数に対する評価はAであるが，子ども支援センターの相談件数に対する評価がCであるため，客観指標評価はBである。市民満足度評価がCであるため，総合評価をCとする。

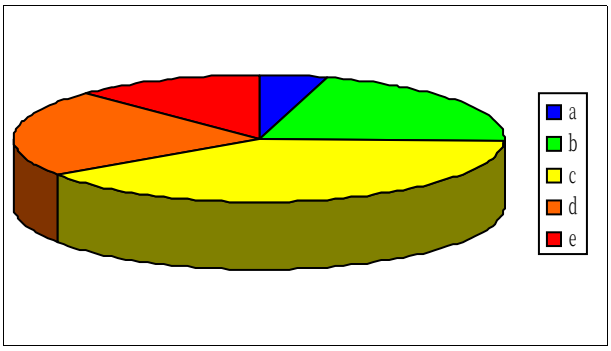
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: B

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
市民満足度評価					C
(準)地域子育て支援ステーションの相談件数（件）＊	3765	4835			A'
(準)子ども支援センターの相談件数（件）	990	988			C'

○この施策に関する市民満足度評価

子育てに不安を感じたときに気軽に相談できるところがあり，心強い。



答a:そう思う	14	4.5%
答b:どちらかというとそう思う	66	21.1%
答c:どちらとも言えない	124	39.6%
答d:どちらかというとそう思わない	70	22.4%
答e:そう思わない	39	12.5%
有効回答数	313	
満足度評価		C

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
子育て支援総合センターこどもみらい館運営
小･中学生就学援助
母子家庭等医療費支給
児童手当給付
児童扶養手当給付
民間保育所地域活動事業
公営保育所地域活動事業
子どもネットワーク
地域子育て支援ステーション事業
京(みやこ)･子どもいきいきプラン･プラスワン事業
母子家庭自立促進事業

母子･寡婦･父子家庭介護人派遣事業

母子･寡婦福祉連合会補助

母子家庭つなぎ資金貸付

母子福祉センター運営

母子家庭等新入学春のつどい事業

母子寡婦福祉資金貸付事業特別会計繰出

施策名 子どもたちがのびのびと健やかに成長できるしくみづくり

1225

所管局: 保健福祉局　　共管局: なし

概要 児童館･学童クラブ事業を充実し，児童の健全育成や保護者同士の交流を図る。また，昼間留守家庭児童等に放課後の適切な遊びや生活の場を与え，健全育成を図る。

総合評価 C

子どもがいきいきとしていると思うかを問うた市民満足度評価はDであるが，児童館の設置数，利用児童数は伸びており，客観指標評価全体の評価はBであるため，総合評価はCとする。

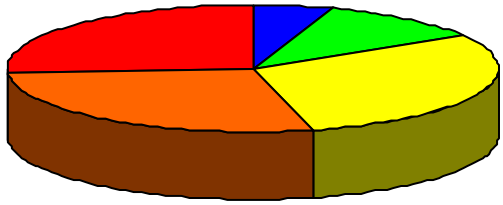
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: B

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
学童クラブ事業の利用児童数（人）	5950	5745			C
児童館の利用児童数（人）	512716	536138			B
児童館設置数（箇所）	96	99			B

○この施策に関する市民満足度評価

子どもの居場所や遊び場所，様々な体験の機会が確保され，最近の子どもはいきいきとしていると思う。



答a:そう思う	18	5.2%
答b:どちらかというとそう思う	39	11.3%
答c:どちらとも言えない	103	29.8%
答d:どちらかというとそう思わない	96	27.7%
答e:そう思わない	90	26.0%
有効回答数	346	
満足度評価		D

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
交通遺児入学祝金支給
保育フェスタ開催
八瀬野外保育センター運営補助
桂坂野鳥園運営補助
児童館等運営
児童館学童連盟助成
京都こども文化会館補助
やんちゃフェスタ開催
ひきこもり不登校児福祉対策事業
御池児童館(仮称)整備補助
衣笠児童館(仮称)整備補助

上里児童館(仮称)設計

葛野児童館(仮称)設計

施策名 市民ひとりひとりの健康の増進

1231

所管局: 保健福祉局　　共管局: なし

概要 市民ひとりひとりの心身の健康づくりへの意識を高めるとともに，各世代に応じた健康教育や保健サービスなど，保健所を中心とした健康づくりを進める。

総合評価

C

市民満足度評価がAであり市民の健康への意識は高い一方，客観指標評価がCであり，市民の受診行動をさらに高めていく必要があり，また，主要死亡率の増加を一層抑制する必要がある。よって，両評価をあわせ，総合評価をCとする。

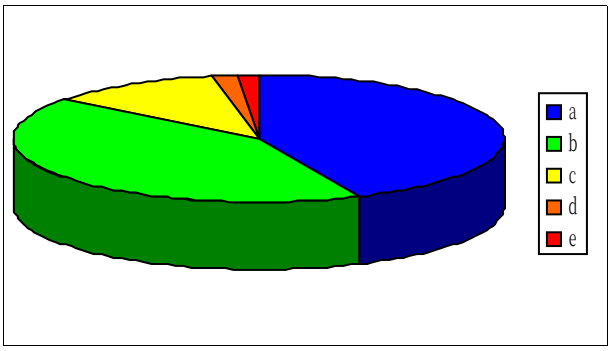
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: C

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
生活習慣病による死亡率(がん)（人口10万対）＊	254.9	248.2			A
生活習慣病による死亡率(心疾患)（人口10万対）＊	121.5	120.2			C
生活習慣病による死亡率(脳血管疾患)（人口10万対）＊	89.8	90.3			E
(準)基本健康診査の受診率（%）＊	32.8	34			B'

○この施策に関する市民満足度評価

健康への意識は高まっていると思う。



答a:そう思う	163	43.2%
答b:どちらかというとそう思う	158	41.9%
答c:どちらとも言えない	44	11.7%
答d:どちらかというとそう思わない	7	1.9%
答e:そう思わない	5	1.3%
有効回答数	377	
満足度評価	A	

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
衛生教育
栄養改善事業
健康づくり対策
高齢者健康対策等
健康づくりゼミナール
健康増進センター運営
健康運動指導者育成
健康づくり研究助成(健康づくり基金充当事業)
健康手帳交付
集団健康教育
いきいき健康サポート事業

個別健康教育

健康相談

基本健康診査

胃がん検診

子宮がん検診

乳がん検診

肺がん検診

大腸がん検診

がん管理評価

受診率向上対策

機能訓練

女性健康診査

骨粗しょう症予防健康診査

施策名 市民の健康をしっかりと守る取組の推進

1232

所管局: 保健福祉局　　共管局: なし

概要 毒物や食中毒など，市民の生命や健康を脅かす事態に対する危機管理体制の整備を進める。また，難病患者等に対する支援や結核をはじめとした感染症対策，歯科保健対策を推進する。

総合評価 C

客観指標に用いた数値が概ね改善する等により，客観指標評価はBであるが，市民満足度評価がCであり，市民の情報の入手に関する満足度を重視して，総合評価をCとする。

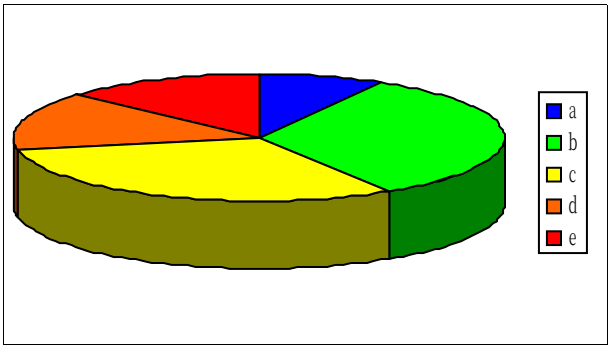
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: B

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
市民満足度評価					C
(準)難病対策支援サービス利用者数（人）＊	578	568			C'
(準)3歳児歯科健康診査における罹患者率（%）＊	33	25.3			A'
(準)結核定期検診の受診者数（人）＊	239955	253695			A'

○この施策に関する市民満足度評価

医薬品の副作用や食中毒，感染症など健康に関する情報が手に入れやすい。



答a:そう思う	31	8.4%
答b:どちらかというとそう思う	121	32.7%
答c:どちらとも言えない	114	30.8%
答d:どちらかというとそう思わない	55	14.9%
答e:そう思わない	49	13.2%
有効回答数	370	
満足度評価		C

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
小学生むし歯治療費無料化事業
入院患者福祉事業委託
幼児う歯予防対策(フッ素塗布)
在宅要介護者歯科保健事業
歯周疾患予防健診
成人・妊婦歯科健診相談指導
難病患者等居宅生活支援事業
難病患者地域支援対策推進事業
骨髄提供希望者登録推進事業
医務関連事務
薬務関連事務

薬物乱用防止啓発事業

衛生検査所関連事務

桃陽病院管理経費

桃陽病院診療経費

ジフテリア･破傷風２期予防接種

急性灰白髄炎(ポリオ)予防接種

風しん予防接種

麻しん予防接種

日本脳炎予防接種

三種混合(百日ぜき，ジフテリア，破傷風) 予防接種

インフルエンザ予防接種

感染症予防

各種調査(日本脳炎,ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ等調査分析)

予防対策

防疫業務

結核感染症サーベイランス事業

感染症診査協議会

感染症患者治療公費負担

性病健康診断

性病予防普及啓発その他

Ｏ１５７等腸管出血性大腸菌対策

エイズ対策

結核医療費公費負担

定期結核健康診断

定期外結核健康診断

受託結核健康診断

結核対策特別促進事業

結核診査協議会

毒物劇物取締法関連業務

地域献血会事業

１歳６か月児歯科健康診査

３歳児歯科健康診査

施策名 保健医療サービスを支える体制の整備

1233

所管局: 保健福祉局　　共管局: なし

概要 保健所や市立病院をはじめとする保健医療施設などハード機能強化を図るとともに，市民の健康を取り巻く状況の変化に的確に対応できる看護師の育成などソフト基盤の整備を行う。

総合評価 C

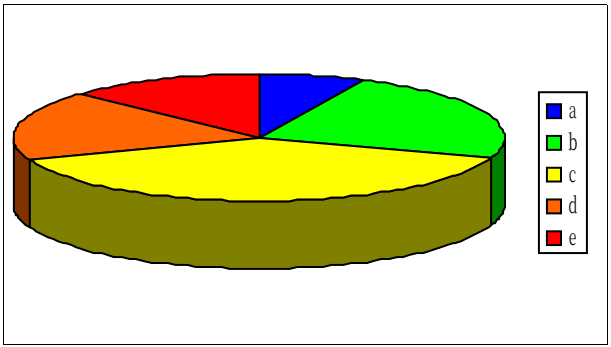
サービスの満足度について問うた市民満足度評価を客観指標評価として採用しており，市民満足度評価がCであるため，総合評価をCとする。

○この施策の客観指標評価　　客観指標総合評価: C

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度	評価
市民満足度評価	C

○この施策に関する市民満足度評価

保健所や市立病院は利用しやすく，そのサービスに満足である。



答a:そう思う	25	6.9%
答b:どちらかというとそう思う	85	23.4%
答c:どちらとも言えない	141	38.8%
答d:どちらかというとそう思わない	66	18.2%
答e:そう思わない	46	12.7%
有効回答数	363	
満足度評価	C	

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
国保療養取扱機関交付金交付
国保組合補助
歯科サービスセンター補助
国民健康保険事業特別会計繰出金
病院事業特別会計繰出金
看護関係(保健師活動)
休日急病診療所運営等
病院群輪番制病院運営
救急医療機関謝金交付
看護の日記念事業
京都第一赤十字病院利子補給

診療所等運営

中央看護専門学校運営負担金交付

看護師等養成所助成

保健所一般運営

保健所運営協議会運営

保健所医師等調査研究

衛生公害研究所運営

看護短期大学運営

施策名 精神保健･医療･福祉サービスを支える体制の整備

1234

所管局: 保健福祉局　　共管局: なし

概要 市民のこころの健康の保持増進を図るとともに，精神障害の予防や治療，精神保健福祉体制を整備する。

総合評価 C

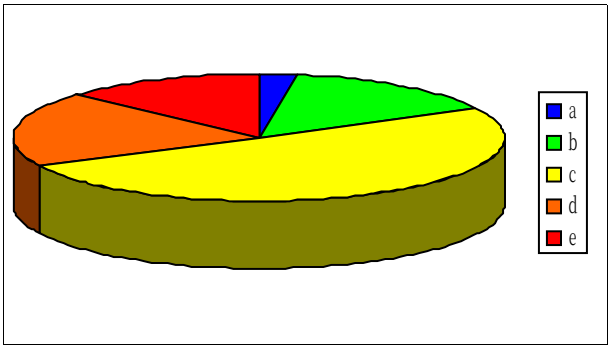
サービスの充実について問うた市民満足度評価を客観指標評価として採用しており，市民満足度評価がCであるため，総合評価をCとする。

○この施策の客観指標評価　　客観指標総合評価: C

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
市民満足度評価					C

○この施策に関する市民満足度評価

精神に障害のある人への保健，医療，福祉サービスが充実していると思う。



答a:そう思う	8	2.4%
答b:どちらかというとそう思う	50	14.9%
答c:どちらとも言えない	169	50.3%
答d:どちらかというとそう思わない	64	19.0%
答e:そう思わない	45	13.4%
有効回答数	336	
満足度評価		C

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
精神科救急医療システム
精神医療実地審査
地域精神保健福祉対策
精神保健福祉連絡協議会運営
こころの健康増進センター管理運営
職員研修委託
精神保健医療費公費負担
精神医療対策事業
精神医療審査会運営

施策名 生活衛生の推進

1235

所管局: 保健福祉局　　共管局: なし

概要 食品衛生，居住衛生，動物愛護等市民に身近な生活衛生対策を推進する。

総合評価 C

市内の食中毒発生件数は全国の発生件数より減少しているものの,大幅な減少ではないことから,客観指標評価をBとする。しかし,市民の満足度評価はCであり，食中毒発生防止に万全を期すことが求められていることが伺われ，総合評価をCとする。

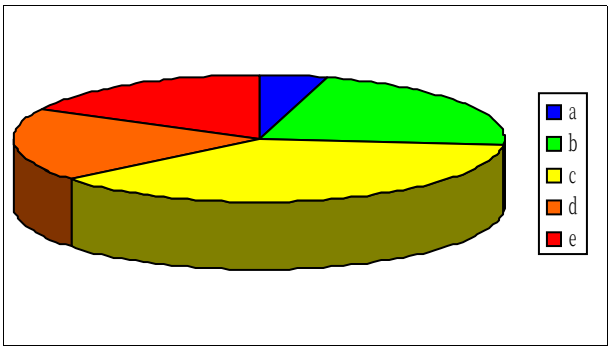
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: B

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
市内の食中毒発生件数（件）	24	19			B

○この施策に関する市民満足度評価

保健所などによる食品業者への監視や指導があるので，安心して食品を購入し，食べることができる。



答a:そう思う	16	4.4%
答b:どちらかというとそう思う	81	22.1%
答c:どちらとも言えない	137	37.4%
答d:どちらかというとそう思わない	69	18.9%
答e:そう思わない	63	17.2%
有効回答数	366	
満足度評価	C	

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
環境衛生関係営業施設許可，監視指導
ビル衛生管理
飲用水衛生管理指導
家庭用品衛生対策
そ族昆虫駆除対策
食品営業許可，監視指導
食品衛生週間での市民啓発事業
食鳥検査
牛海綿状脳症対策
狂犬病予防
犬･猫の不妊手術

施策名 保健医療施策の計画的な推進

1236

所管局: 保健福祉局　　共管局: なし

概要 保健，医療，福祉の環境を取り巻く状況が大きく変化する中で，総合的，計画的に保健医療を推進し，市民の健康づくりを進める。

総合評価 C

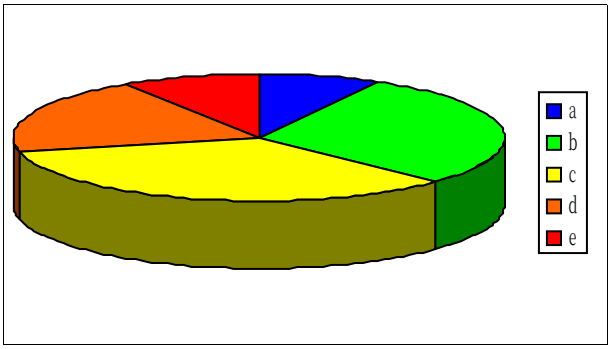
がんの死亡率は下がっているものの，脳血管疾患による死亡率が増加しており，客観指標評価全体としてはCとする。市民満足度評価もCであることから，総合評価をCとする。

○この施策の客観指標評価　　客観指標総合評価: C

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
生活習慣病による死亡率(がん)（人口10万対）＊	254.9	248.2			A
生活習慣病による死亡率(心疾患)（人口10万対）＊	121.5	120.2			C
生活習慣病による死亡率(脳血管疾患)（人口10万対）＊	89.8	90.3			E

○この施策に関する市民満足度評価

日常生活の中で健康に関する正しい情報が手に入り，役に立つと思う。



答a:そう思う	29	8.0%
答b:どちらかというとそう思う	106	29.2%
答c:どちらとも言えない	123	33.9%
答d:どちらかというとそう思わない	72	19.8%
答e:そう思わない	33	9.1%
有効回答数	363	
満足度評価	C	

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
市民健康づくりプラン普及及び推進事業

施策名 スポーツ活動の機会や施設に恵まれたまちづくり

1237

所管局: 文化市民局　　共管局: なし

概要 生涯を通してスポーツに親しむことができる豊かな暮らしの実現に向け，市民やスポーツ振興団体等との連携の下，スポーツに親しむ機会と場の提供に努める。

総合評価 B

市民スポーツ活動の機会に関して問うた市民満足度評価はCであるものの，客観指標であるスポーツ施設の利用件数については，過去3年間で最も多く，客観指標評価はAであり，よって総合評価をBとする。

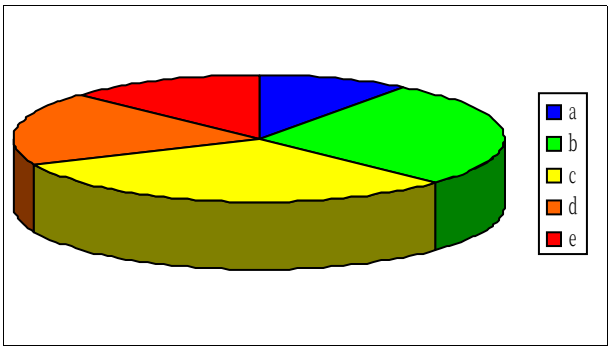
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: A

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
スポーツ施設の利用件数（件）	9098	9175			A

○この施策に関する市民満足度評価

地域において，気軽にスポーツに参加し，スポーツを楽しむ機会がある。



答a:そう思う	36	9.9%
答b:どちらかというとそう思う	99	27.3%
答c:どちらとも言えない	113	31.1%
答d:どちらかというとそう思わない	69	19.0%
答e:そう思わない	46	12.7%
有効回答数	363	
満足度評価		C

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
シティーハーフマラソンの開催
市民スポーツフェスティバルの開催
市民スポーツ教室の開催
ニュースポーツ普及振興
夜間校庭開放事業の実施
日曜スポーツ振興対策
校庭開放活用事業の実施
スポーツ表彰制度
夏季スポーツ振興対策
市民総合体育大会の開催
府民総合体育大会選手派遣補助

大学野球トーナメントの開催

京都・パリ姉妹都市交流柔道大会の開催

島津全日本室内テニス選手権大会の開催運営補助

体育振興会助成

財団法人京都市体育協会補助

体育指導委員経費

各種大会共催補助

ビッグゲーム誘致

スポーツウェブ京都の創設

京都市体育館の運営

武道センターの運営

横大路運動公園体育館の運営

西京極総合運動公園陸上競技場兼球技場（補助競技場を含む）の運営

西京極総合運動公園野球場の運営

西京極総合運動公園プール施設(京都アクアリーナ)の運営

宝が池公園運動施設の運営

有料運動公園の運営

地域体育館の運営

市民スポーツ会館の運営

施策名 「京（みやこ）のアジェンダ21フォーラム」を核とした環境問題への取組

1311

所管局: 環境局　　共管局: なし

概要 地球温暖化防止のための二酸化炭素排出量削減を柱として策定した行動計画「京のアジェンダ」を推進する「京のアジェンダ21フォーラム」を核として，市民･事業者･行政がパートナーシップの下に環境問題への取組を行う。

総合評価 C

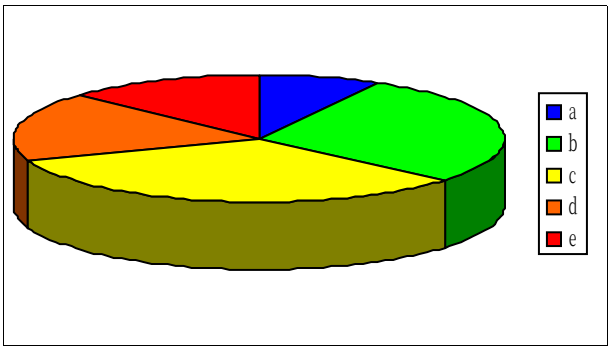
市民満足度評価では，省エネ･省資源に取り組んでいる人々が現時点では多くないと実感されていることからCとなっている。また，客観指標である二酸化炭素排出量は，基準年である平成2年からほぼ横ばいの状況で推移しているため，客観指標評価はCであり，総合評価をCとする。

○この施策の客観指標評価　　客観指標総合評価: C

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
二酸化炭素排出量(万t)	769	767			C

○この施策に関する市民満足度評価

省エネや省資源に取り組むお店や買物客，公共交通機関を利用する人が増えていると思う。



答a:そう思う	28	8.1%
答b:どちらかというとそう思う	98	28.2%
答c:どちらとも言えない	115	33.1%
答d:どちらかというとそう思わない	61	17.6%
答e:そう思わない	45	13.0%
有効回答数	347	
満足度評価	C	

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
京のアジェンダ21推進事業

施策名 環境と共生するくらしの実現

1312

所管局: 環境局　　共管局: 上下水道局

概要 生活環境の汚染防止や新エネルギーの利用など，良好な自然環境の保全に努めるとともに，環境問題に関する理解を深め，市民ひとりひとりがくらしに節度を持つ，環境と共生するくらしを実現する。

総合評価 B

客観指標評価については，準ずる指標において一部の目標が未達成であり，また，主たる指標である環境保全基準達成率は大気においてC評価であるが，水質や騒音については概ね達成している。そこで，それぞれの客観指標を総合的に判断して，A評価とする。しかし，市民満足度評価では，居住地域の状況や特性に違いがあるものの，総体的に実感が伴っていないことからC評価となっている。これらを踏まえて，総合評価をBとする。

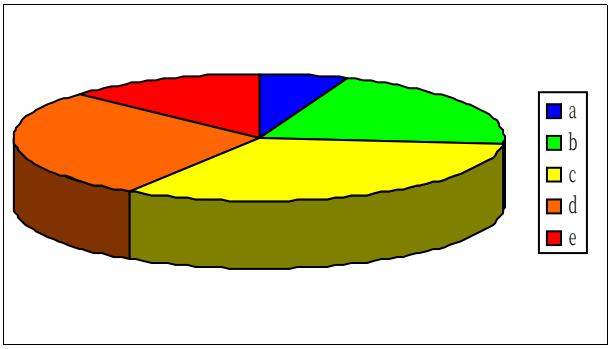
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: A

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
環境保全基準達成率（水質）（%）	94.3	94.3			A
(準)公共下水道普及率（%）		99.2	99.2	100.0%	B'
(準)下水道高度処理対応率（%）		14.2	12.5	113.6%	A'
(準)合流式下水道改善率（%）		11.5	13.5	85.2%	C'
環境保全基準達成率（大気）（%）	54.4	49.1			C
環境保全基準達成率（騒音）（%）	85.7	89.7			A

○この施策に関する市民満足度評価

「きれいな空気，清らかな川，静かなまち」など，よい環境が保たれていると感じる。



答a:そう思う	20	5.7%
答b:どちらかというとそう思う	73	20.9%
答c:どちらとも言えない	113	32.3%
答d:どちらかというとそう思わない	98	28.0%
答e:そう思わない	46	13.1%
有効回答数	350	
満足度評価	C	

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
ISO14001認証取得推進事業
水道事業（公営企業会計）
公共下水道事業（公営企業会計）
ダイオキシンモニタリング調査
大気汚染対策
水質汚濁対策
騒音・振動対策
苦情処理及び事前相談
環境会計の導入
環境影響評価
グリーン配送モデル事業

自動車公害対策

ＩＳＯ１４０００認証取得(市役所本庁舎)

環境保全融資

環境保全活動センター運営(京エコロジーセンター)

太陽光発電普及促進事業

京都環境賞（仮称）の創設

普及啓発事業

クリーンセンター･ダイオキシン類削減恒久対策

施策名 廃棄物を出さない循環型社会の構築

1313

所管局: 環境局　　共管局: なし

概要 市民･事業者とともに，ごみの発生抑制とリサイクル，適正な処理等を進め，廃棄物を出さない循環型社会を構築する。

総合評価

B

ごみ減量やリサイクルに市民を挙げて取り組むという気風の醸成や，それを支援する仕組みの整備は，まだ十分に行われたとは言えず，市民満足度評価はCとなっている。しかし，平成14年度のごみ処理量は，一般廃棄物（ごみ）処理基本計画を策定した平成11年度以降の平均値を上回る減少幅となっているため，客観指標評価はAである。したがって，総合評価をBとする。

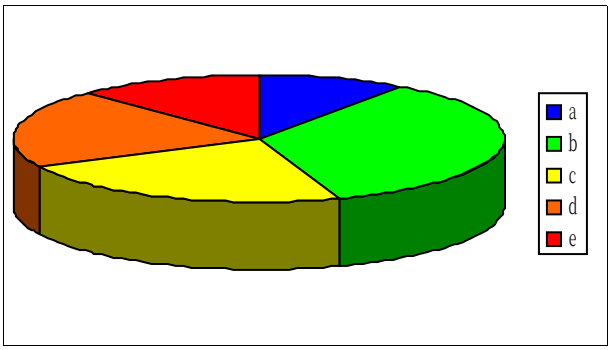
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: A

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
ごみ処理量 (t)	763247	698149			A

○この施策に関する市民満足度評価

環境問題への意識が高まり，ごみの減量，分別収集や集団回収などに取り組む人が周りで増えていると思う。



答a:そう思う	34	9.7%
答b:どちらかというとそう思う	123	35.1%
答c:どちらとも言えない	79	22.6%
答d:どちらかというとそう思わない	71	20.3%
答e:そう思わない	43	12.3%
有効回答数	350	
満足度評価		C

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
建設リサイクル法施行に関する事務
建設副産物対策
京都市産業廃棄物処理指導計画推進
京都環境保全公社への府市協調支援
大岩街道周辺地域対策
廃棄物排出事業者指導業務
南部資源リサイクルセンター啓発展示施設保守管理
ごみ減量･リサイクル行動計画推進
南部資源リサイクルセンター運営
廃食用油燃料化事業
使用済乾電池処理適正化事業

秘密書類リサイクル事業

不用品リサイクル情報案内システム運用

ごみ減量･リサイクル推進店「めぐるくんの店」推奨制度

ごみ減量推進員制度

古紙回収促進事業

魚腸骨再生対策

南部クリーンセンター第一工場大規模改修

次期クリーンセンター整備計画調査

北部クリーンセンター整備

埋立処分地整備

廃棄物対策研究調査委託

施策名 京都のまちの特色に配慮した災害に強いまちづくり

1321

所管局: 建設局　　共管局: 消防局･上下水道局･都市計画局

概要 都市空間や建築物，上下水道施設の防災対策や治山，治水対策を推進するとともに，防災水利構想に基づく事業の推進により，災害に強いまちづくりに取り組む。

総合評価 C

客観指標である「河川整備率」及び「緊急時における飲料水等の確保日数」の評価についてはAという高い評価であるが，「１０年確率対応雨水整備率」及び「人口一万人当たりの火災件数」の評価についてはC及びBとなっているため，客観指標総合評価をBとする。市民満足度評価については，平成11年度以降，顕著な集中豪雨（災害）が発生していないなど大きな災害が発生していないこともあり，評価はCである。よって，これらを総合的に判断し，総合評価をCとする。

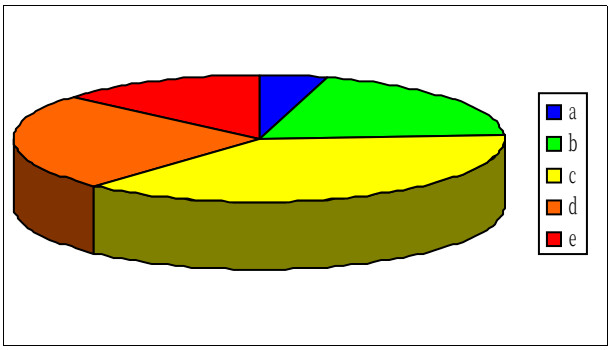
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: B

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
河川整備率（%）＊	46.6	48.2			A
人口1万人当たりの火災件数（件）	2.2	2.3			B
(準)緊急時における飲料水等の確保日数（日）	71	71			A'
(準)１０年確率対応下水道雨水整備率（%）		3	3.6	83.3%	C'

○この施策に関する市民満足度評価

建物の耐震対策や防火水槽の設置など，まち全体の防災機能が高まりつつあると思う。



答a:そう思う	15	4.3%
答b:どちらかというとそう思う	69	19.9%
答c:どちらとも言えない	130	37.5%
答d:どちらかというとそう思わない	86	24.8%
答e:そう思わない	47	13.5%
有効回答数	347	
満足度評価		C

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
消防防災支援要員
消防用設備等設置資金融資
防災対策
公共事業耐震診断調査
消防水利整備
既成宅地防災工事資金融資
急傾斜地崩壊防止対策
建築物の防災に対する事務
建築物の耐震対策
排水機場維持補修
幹線排水路改良

水防事業

一般排水路改良補修

排水機場維持管理

河川維持補修

疏水等維持管理

都市基盤河川改修（維持）

都市下水路維持補修

治水計画基本調査

山科耐震改修

水道事業（公営企業会計）

公共下水道事業（公営企業会計）

西羽束師川改修

西高瀬川改修

新川改修

善峰川改修

岩倉川改修

白川改修

七瀬川改修

西野山川改修

施策名 災害から身を守る知恵や力をつける災害に強いひとづくり

1322

所管局: 消防局　　共管局: なし

概要 災害発生時に歴史的な町並みを守り，市民の安全を確保するため，市民防災センターでの体験研修や種々の防火防災指導を通じ，市民の応急手当能力の向上をはじめ市民ひとりひとりの防災意識や災害対応力の向上を図る。

総合評価 B

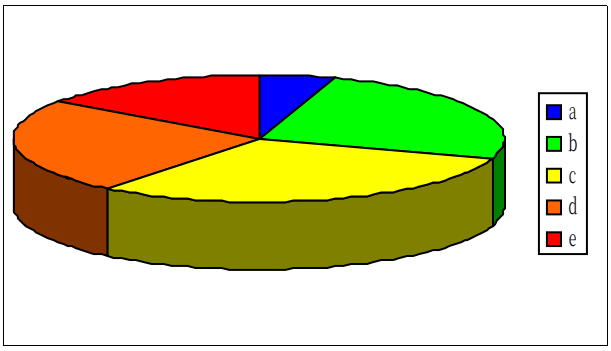
市民満足度評価はC評価であった。また，客観指標評価は，本年度の目標値を超えているためA評価であった。以上のことと，この施策全体の中長期の目標に対する進捗状況とを総合して判断すると，あらゆる機会を通じて市民の防火･防災意識や災害発生時における対応力の向上を図っているが，市民は，今もなお，災害時に自ら自分自身を守りきるという自信を持っているとは言い難い状況であることから総合評価をBとする。

○この施策の客観指標評価　　客観指標総合評価: A

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度				評価
救命講習受講者数（人）	13035	12000	108.6%	A

○この施策に関する市民満足度評価

提供された防災情報，応急手当の講習会や防災訓練などに参加する機会を通じて，災害から身を守る知識が備わってきたと思う。



答a:そう思う	18	5.1%
答b:どちらかというとそう思う	88	25.0%
答c:どちらとも言えない	107	30.4%
答d:どちらかというとそう思わない	85	24.1%
答e:そう思わない	54	15.3%
有効回答数	352	
満足度評価	C	

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
救急高度化事業
市民防災センター運営

施策名 市民のくらしと豊かな文化･歴史の蓄積を守る災害に強い組織づくり

1323

所管局: 消防局　　共管局: なし

概要 消防･救急体制の充実や地域における防火･防災の中心となる消防団の充実を図る。また，自主防災組織等の活動や防災ネットワークの強化を図ることなどにより，地域ぐるみの防火･防災体制を確立する。

総合評価 B

市民満足度評価はD評価であった。また，客観指標評価は，本年度の目標値を超えているためA評価であった。以上のことと，この施策全体の中長期の目標に対する進捗状況とを総合して判断すると，消防･救急体制や消防団は着々と充実しているものの，まだ十分とはいえず，地域ぐるみでの防火･防災体制についても，市民に「自らのまちは，自らで守る」活動力が確立したといえるに至っていないことから総合評価をBとする。

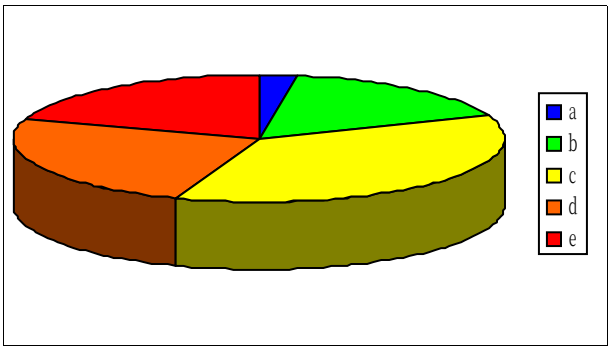
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: A

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度				評価
市民防災行動計画数（件）	230	221	104.1%	A
(準)文化財市民レスキュー体制確立数（件）	42	40	105.0%	A'

○この施策に関する市民満足度評価

地域の自主防災組織は，地震などの災害が発生したときに効果的な活動ができるようになってきたと思う。



答a:そう思う	9	2.6%
答b:どちらかというとそう思う	58	16.6%
答c:どちらとも言えない	127	36.3%
答d:どちらかというとそう思わない	86	24.6%
答e:そう思わない	70	20.0%
有効回答数	350	
満足度評価		D

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
消防自動車等維持補修
警防活動対策
予防活動対策
文化財防火対策
消防防災通信維持管理
庁舎施設等維持管理
消防団管理
消防団活動
消防団運営
消防団施設補助
自主防災組織指導

消防自動車整備

消防機材等整備

庁舎施設等整備

消防団活動連絡体制

消防防災ヘリコプター整備

施策名 犯罪や事故のない安全なまちづくり

1331

所管局: 文化市民局　　共管局: なし

概要 京都市生活安全条例に基づき，市民，事業者，行政及び関係機関が連携し，誰もが安心してくらせるまちづくりを推進する。

総合評価 C

客観指標である交通事故死亡者数は減少しているものの，刑法犯の認知件数は前年度並みであり，客観指標評価と市民満足度評価の結果を踏まえ，総合評価をCとする。

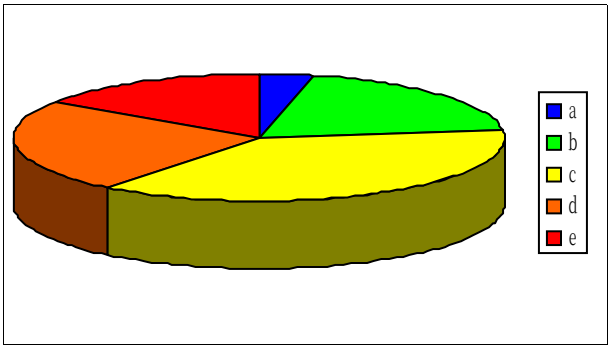
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: C

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
市民満足度評価					C
(準)交通事故死者件数（件）	69	58			B'
(準)刑法犯の犯罪認知件数（件）	40203	40243			C'

○この施策に関する市民満足度評価

自治会などによる生活安全の活動が展開され，安心して暮らせるまちであると思う。



答a:そう思う	13	3.7%
答b:どちらかというとそう思う	68	19.3%
答c:どちらとも言えない	132	37.5%
答d:どちらかというとそう思わない	84	23.9%
答e:そう思わない	55	15.6%
有効回答数	352	
満足度評価		C

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
違法駐車等防止対策
違法駐車防止対策（緊急雇用対策）
交通安全啓発
地域交通安全運動補助
防犯推進委員連絡協議会助成
生活安全条例に基づく施策の推進
交通対策協議会負担金等
交通安全対策会議運営等

施策名 消費者が自立し安心してくらせるまちづくり

1332

所管局: 文化市民局　　共管局: なし

概要 消費者団体や事業者団体と連携し，消費者が自立し安心してくらせるまちづくりを推進する。

総合評価 B

市民満足度評価はCであるが，出前講座受講者数は飛躍的に伸びており客観指標評価はBであることから，総合評価もBとする。

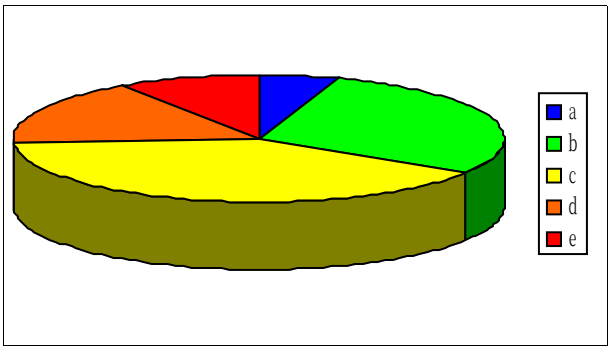
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: B

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
市民満足度評価					C
(準)出前講座等消費者啓発事業への参加状況（人）	518	2808			A'

○この施策に関する市民満足度評価

消費者被害に遭わないための知識が備わってきたと思う。



答a:そう思う	18	5.2%
答b:どちらかというとそう思う	101	28.9%
答c:どちらとも言えない	139	39.8%
答d:どちらかというとそう思わない	58	16.6%
答e:そう思わない	33	9.5%
有効回答数	349	
満足度評価	C	

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
消費者啓発
消費者月間事業
消費者相談の実施
物価調査
消費者保護審議会の運営

施策名 歩く魅力のあるまちづくり

1341

所管局: 建設局　　共管局: 都市計画局･産業観光局･環境局

概要 まちの美化，自然･歴史的な景観の保全，市街地の町並み整備，道路のバリアフリー化に取り組み，安全快適で歩く魅力のあるまちづくりを推進する。

総合評価 B

歩いて暮らせるまちづくり構想を策定し諸事業を推進しているところであり，客観指標である「放置自転車の台数」については，平成7年調査以降減少を続けており，評価がBとなっている。市民満足度評価であるBとこれらを総合的に勘案し，総合評価をBとする。

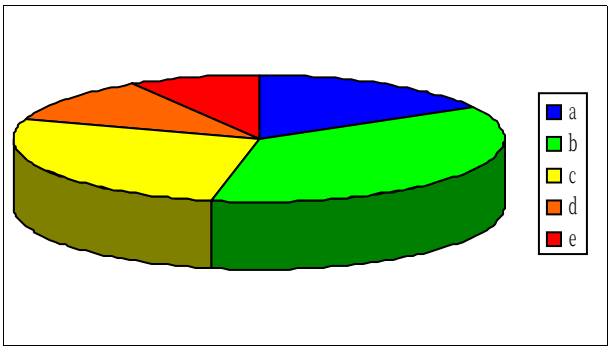
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: B

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
歩行空間ネットワーク実施計画の全体地区数に対する実施済み地区数の割合					
放置自転車等の台数（台）	12109	9994			B

○この施策に関する市民満足度評価

京都市は，まちが美しく，観光地や商店は賑わっており，歩いて楽しいまちだと感じる。



答a:そう思う	60	17.0%
答b:どちらかというとそう思う	127	36.0%
答c:どちらとも言えない	95	26.9%
答d:どちらかというとそう思わない	41	11.6%
答e:そう思わない	30	8.5%
有効回答数	353	
満足度評価		B

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
御池沿道まちづくり方策の検討
歴史街道計画の推進
交通施設バリアフリー化施設整備費補助金
交通バリアフリー基本構想策定業務
御池通シンボルロードアート維持管理
通行支障柱移設事業
路上物件適正化
道路維持補修
交通安全施設等整備
電線類地中化
企業者掘削跡路面復旧受託工事

伏見南浜地区まちづくり総合支援事業

公衆便所整備

快適トイレのモデル導入

施策名 歩くまちの歩行空間の形成と自転車利用の促進

1342

所管局: 建設局　　共管局: なし

概要 高齢者や車椅子利用者をはじめとして，だれもが安全で快適に利用できる歩行空間を整備する。また，自転車利用環境を整備し，自転車の利用を促進する。

総合評価 C

市民満足度評価においては，評価Dと満足度は十分とは言えないが，客観指標である「本市における都市型レンタサイクル整備箇所数」が過去最大の増加をしたこと，また，他の指標についても例年を上回る成果を挙げていることなどから，客観指標評価をBとする。こうしたことから，総合評価をCとする。

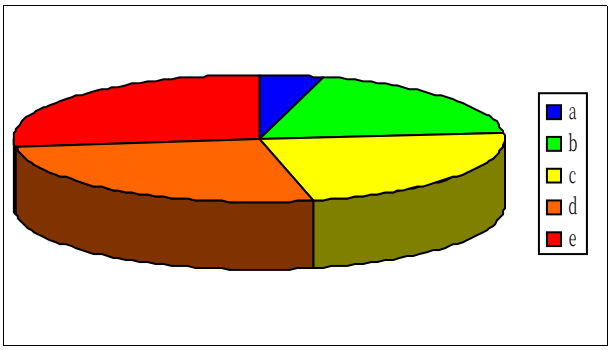
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: B

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
都市型レンタサイクルの設置台数（台）	360	610			B
都市型レンタサイクルの設置箇所数（箇所）	2	4			A
自転車等駐車場の収容台数（台）	33883	35621			B
自転車等駐車場の設置箇所数（箇所）	58	62			B
歩行空間ネットワーク実施計画の全体地区数に対する実施済み地区数の割合					
新電線類地中化計画の整備計画延長に対する整備実施延長（km）	2.72	2.62			C

○この施策に関する市民満足度評価

歩道の電柱や段差がなくなり快適になった。



答a:そう思う	15	4.2%
答b:どちらかというとそう思う	69	19.4%
答c:どちらとも言えない	81	22.8%
答d:どちらかというとそう思わない	94	26.4%
答e:そう思わない	97	27.2%
有効回答数	356	
満足度評価		D

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
御池地下街･地下駐車場建設事業等
放置自転車等対策
放置自転車対策（緊急雇用）
自転車放置防止条例関連
自転車駐車場維持管理
新設駅自転車等駐輪場整備

施策名 歩くまちを支える公共交通の充実

1343

所管局: 交通局　　共管局: 都市計画局

概要 歩くまちの実現のため，公共交通輸送サービス網を充実するとともに，公共交通のバリアフリー化などについても推進，支援する。

総合評価

C

客観指標評価については，日常的な交通に自家用車が利用され，全国の公共交通機関利用者数が減少傾向にあるなかで，平成13年の本市の市バス･地下鉄の利用分担率は，25.4%であり，前年より0.1%減少しているものの，過去10年間平均増減幅(0.29%)の範囲内であるため，客観指標評価をCとする。市民満足度評価については，「そう思う」「どちらかというとそう思う」を合わせると50%を超え，Bの評価であり，この両評価を合わせ考え，総合評価をCとする。

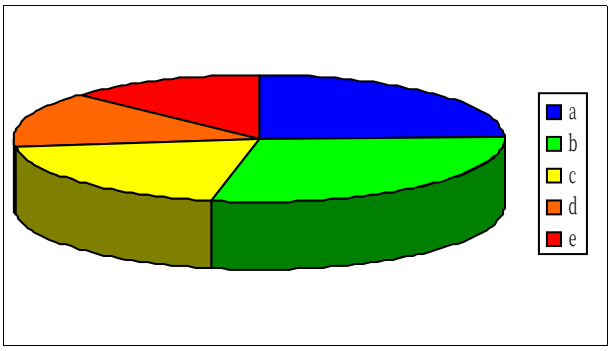
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: C

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
市域内の人の移動における市バス･地下鉄ネットワークの利用分担率 (%)	25.5	25.4			C

○この施策に関する市民満足度評価

市内の移動には市バスや地下鉄が便利である。



答a:そう思う	88	24.6%
答b:どちらかというとそう思う	101	28.3%
答c:どちらとも言えない	71	19.9%
答d:どちらかというとそう思わない	51	14.3%
答e:そう思わない	46	12.9%
有効回答数	357	
満足度評価		B

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
自動車運送事業
高速鉄道事業

施策名 歩くまちにふさわしい道路網の整備

1344

所管局: 建設局　　共管局: 都市計画局

概要 公共交通機関や自転車が利用しやすく，安全･快適な歩行空間を確保した，歩くまちにふさわしい道路網を整備する。

総合評価 C

昨今の本市の財政状態が厳しいこともあり,客観指標の1つである道路規格改良済延長の数字は過去6年の平均と比較しても低いが,自転車利用環境に関する客観指標評価は高く，客観指標総合評価はBである。また,市民満足度評価についてはCである。これらを総合的に判断し,総合評価をCとする。

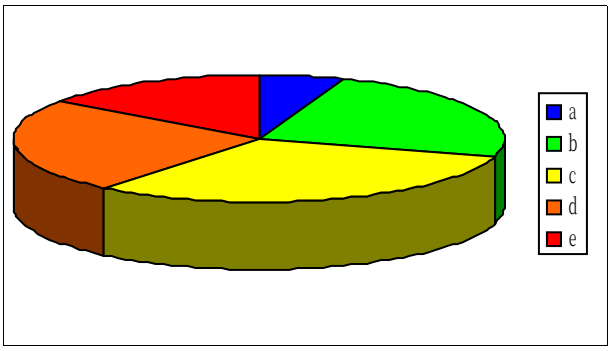
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: B

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
道路規格改良済延長（単年度延長）（m）＊	7776	6781			D
自転車等駐車場の収容台数（台）	33883	35621			B
自転車等駐車場の設置箇所数（箇所）	58	62			B
都市型レンタサイクルの設置台数（台）	360	610			B
都市型レンタサイクルの設置箇所数（箇所）	2	4			A

○この施策に関する市民満足度評価

安心して歩ける道が増えてきている。



答a:そう思う	20	5.6%
答b:どちらかというとそう思う	85	23.9%
答c:どちらとも言えない	111	31.3%
答d:どちらかというとそう思わない	86	24.2%
答e:そう思わない	53	14.9%
有効回答数	355	
満足度評価	C	

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
道路管理運営事務

施策名 歩くまちをつくる新しい交通政策の推進

1345

所管局: 都市計画局　　共管局: なし

概要 歩くまちの実現のため，地域の住民や事業，その他の関係機関が一体となって，自動車交通に過度に依存しない歩くまちにふさわしい交通体系の確立を目指す。

総合評価 B

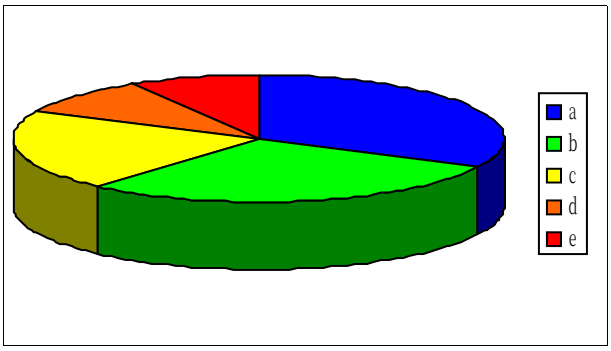
平成13及び14年度に実施した嵐山交通社会実験のアンケート調査結果から評価した客観指標評価はAであるが，市民満足度評価はBであるため，総合評価をBとする。

○この施策の客観指標評価　　客観指標総合評価: A

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
(準)公共交通の利用割合の増加度 (%)	79.7	86.5			B'
(準)トランジットモール交通社会実験の歩行者満足度 (%)		95.6			A'
(準)パーク＆ライド交通社会実験の利用者満足度 (%)		95.4			A'

○この施策に関する市民満足度評価

環境問題や道路事情のことを考えると，自家用車を控えてなるべくバスを使おうと思う。



答a:そう思う	115	32.4%
答b:どちらかというとそう思う	103	29.0%
答c:どちらとも言えない	73	20.6%
答d:どちらかというとそう思わない	33	9.3%
答e:そう思わない	31	8.7%
有効回答数	355	
満足度評価		B

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名

施策名 市民，事業者と一体となったまちの美化の推進

2111

所管局: 環境局　　共管局: 建設局

概要 ひとりひとりがごみを捨てない，また，捨てさせないという市民意識を醸成し，監視･指導の強化や公園･河川等の美化活動を促進する等により，まちの美化の推進に取り組み「世界一美しいまち･京都」を実現する。

総合評価 B

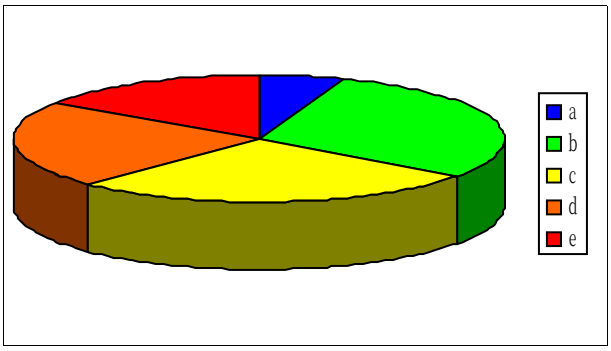
市民満足度評価はCであるが，客観指標である「まちの美化住民協定締結数」は増加しており，市民や事業者と一体となった「ごみを捨てない意識づくり，捨てにくい環境づくり，捨てさせない仕組づくり」を通じたまちの美化の推進が図られていること，また，放置自転車の台数についても，平成7年調査以降減少を続けており，絶対量が減少していることから，客観指標評価はBであり，総合評価をBとする。

○この施策の客観指標評価　　客観指標総合評価: B

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
まちの美化住民協定の締結数	154	167			B
放置自転車等の台数（台）	12109	9994			B

○この施策に関する市民満足度評価

散乱ごみが少なく，美しいまちだと思う。



答a:そう思う	20	5.7%
答b:どちらかというとそう思う	104	29.5%
答c:どちらとも言えない	96	27.2%
答d:どちらかというとそう思わない	78	22.1%
答e:そう思わない	55	15.6%
有効回答数	353	
満足度評価	C	

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
放置自動車対策
愛護協力会公園除草･清掃
河川美化推進
「世界一美しいまち･京都」の推進

施策名 個性的で美しい景観の形成

2112

所管局: 都市計画局　　共管局: なし

概要 自然･歴史的な景観の保全，市街地のきめ細かな景観づくりを推進し，個性的で美しい景観を形成する。

総合評価 C

本件の市民満足度評価の結果はBであるが，客観指標である景観地区指定数等での前年度比較においては，同水準であり,景観行政の取組の結果に大きな変化が見られないことから客観指標評価はCであり,これらの事情を総合的に考慮し,総合評価をCとする。

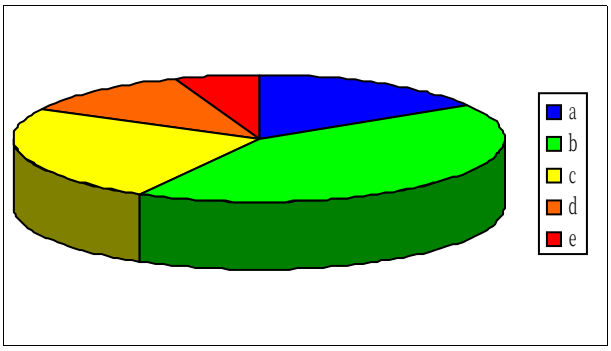
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: C

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
(準)景観保全や整備に関する地区の指定数(数値は別掲)					C'
(準)歴史的意匠建造物件数（件）	108	107			C'

○この施策に関する市民満足度評価

京都市のまちなみは個性的で美しいと思う。



答a:そう思う	56	16.0%
答b:どちらかというとそう思う	147	42.0%
答c:どちらとも言えない	87	24.9%
答d:どちらかというとそう思わない	41	11.7%
答e:そう思わない	19	5.4%
有効回答数	350	
満足度評価		B

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
美観地区等規制指導事務
界わい景観整備地区等助成事業
伝統的建造物群保存等事業
屋外広告物等の規制･啓発等事業
風致地区規制指導等事務
違法開発監察事務
自然風景保全地区規制指導等事業
古都保存区域内の施設整備･維持管理
洛西中央緑地維持管理
近郊緑地保全区域内の規制指導事務

施策名 水と緑を生かしたまちづくり

2113

所管局: 建設局　　共管局: なし

概要 自然や歴史環境を生かした公園や水辺環境の整備などを推進し，水と緑を生かしたまちづくりを進める。

総合評価 B

市民満足度評価はAと極めて高い評価を受けている。客観指標については，「都市空間形成河川整備率」の評価がAであるが，市民一人当たりの公園面積はCの評価であり，客観指標評価全体としてはBと評価する。このことから，総合評価をBとする。

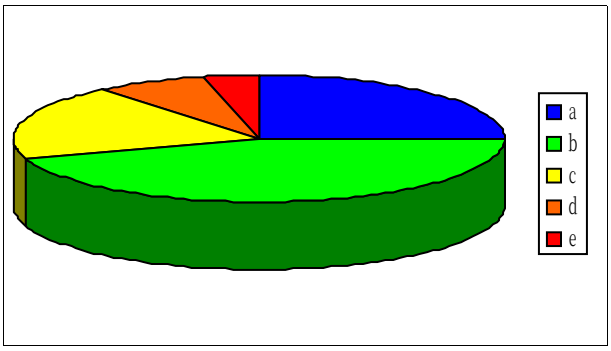
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: B

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
緑被率 (%)	24.4				
市民一人当たりの公園面積 (㎡)	4.49	4.51			C
(準)公園面積 (㎡)	6545397	6593644			B'
(準)公園箇所数 (箇所)	759	772			B'
都市空間形成河川整備率 (%)	5	8			A

○この施策に関する市民満足度評価

水と緑豊かな環境に恵まれていると思う。



答a:そう思う	89	25.3%
答b:どちらかというとそう思う	157	44.6%
答c:どちらとも言えない	67	19.0%
答d:どちらかというとそう思わない	26	7.4%
答e:そう思わない	13	3.7%
有効回答数	352	
満足度評価		A

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
岩倉東公園整備
細谷公園整備
火打形公園整備
二条公園整備
玄武公園整備
公園予定地維持
宝が池公園「新･子どもの楽園」整備
桂川緑地整備
淀城跡公園再整備
大見公園整備
京都市都市緑化協会運営

緑化フェア参加負担金

緑の基本計画に基づく緑化推進

大都市公園機能実態調査

都市公園整備計画

梅屋公園整備

六躰第一第二公園整備

椥辻中在家公園整備

公園維持管理

街路樹等の維持管理

既設公園整備

大宮交通公園運営

公園内ちびっこプール運営

河川改良

堀川水辺環境整備

施策名 木の文化が息づくまちづくり

2114

所管局: 都市計画局　　共管局: 産業観光局

概要 町家や社寺などの伝統的な木造建築物や，漆器や木工品などの木の文化を守り育てるため，木造建築物の建設の誘導，技能の継承支援などを進める。

総合評価 B

客観指標評価については，住宅の着工件数が減少する中にあって，木造住宅の占める割合は増加しており，木造住宅の建設が適切に誘導されていることが伺え，Bと評価する。市民満足度評価においてもBであることから総合評価をBとする。

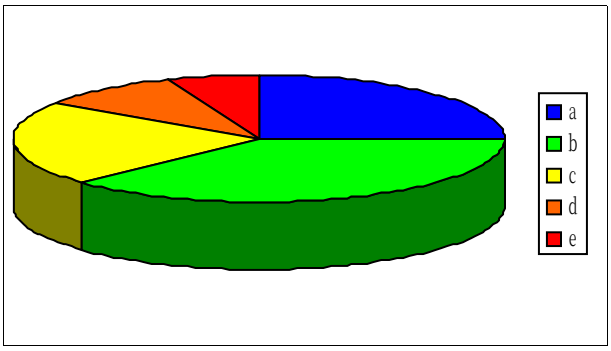
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: B

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
構造別着工件数に占める木造建築物の割合（%）＊	37.18	40.69			B

○この施策に関する市民満足度評価

まちなかには文化を感じさせる木造建築が多く残っていて，なかなか良いと思う。



答a:そう思う	88	25.1%
答b:どちらかというとそう思う	132	37.7%
答c:どちらとも言えない	76	21.7%
答d:どちらかというとそう思わない	33	9.4%
答e:そう思わない	21	6.0%
有効回答数	350	
満足度評価		B

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名

施策名 文化の創造･発信に向けた総合的な取組の推進

2121

所管局: 文化市民局　　共管局: なし

概要 「京都芸術センター」を中心として，芸術活動の支援，情報発信，芸術家と市民との交流など，芸術文化を総合的に振興する。

総合評価 A

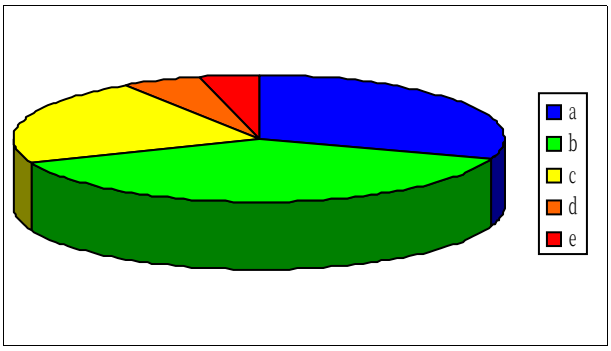
芸術文化の振興については，その性格上，市民満足度評価の結果を客観指標評価として活用することとしており，市民満足度評価がAであることから，総合評価もAとする。

○この施策の客観指標評価　　客観指標総合評価: A

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度	評価
市民満足度評価	A

○この施策に関する市民満足度評価

文化･芸術の創造･発信の取組が充実しており，日本を代表する芸術文化の都であると思う。



答a:そう思う	107	30.4%
答b:どちらかというとそう思う	135	38.4%
答c:どちらとも言えない	78	22.2%
答d:どちらかというとそう思わない	18	5.1%
答e:そう思わない	14	4.0%
有効回答数	352	
満足度評価	A	

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
フィールドミュージアム情報提供システム構築
歴史博物館の整備
平安京模型の管理
京都ビエンナーレの開催
芸術文化協会交付金
文化事業基金繰入事業
文化功労者表彰記録
芸術文化委員会
京都芸術センターの運営

施策名 市民文化の振興

2122

所管局: 文化市民局　　共管局: なし

概要 市民の文化力の向上を図るとともに，市民文化活動の支援や情報提供を行うなど，市民が芸術文化を支え，実践し，楽しさを享受できる取組を進める。

総合評価 C

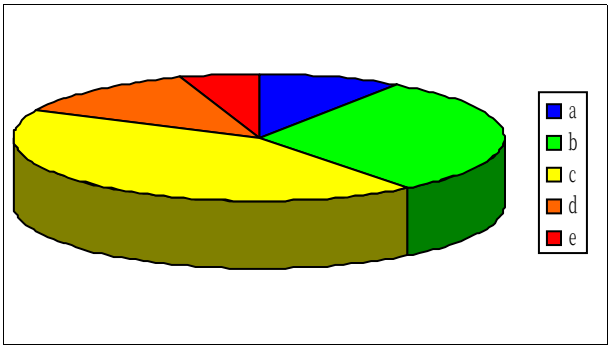
市民文化の振興については，その性格上，市民満足度評価の結果を客観指標評価として活用することとしており，市民満足度評価がCであることから，総合評価もCとする。

○この施策の客観指標評価　　客観指標総合評価: C

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度	評価
市民満足度評価	C

○この施策に関する市民満足度評価

自ら文化活動を行う場があり，市民の文化活動が盛んに行われていると思う。



答a:そう思う	33	9.5%
答b:どちらかというとそう思う	105	30.3%
答c:どちらとも言えない	146	42.1%
答d:どちらかというとそう思わない	45	13.0%
答e:そう思わない	18	5.2%
有効回答数	347	
満足度評価	C	

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
京都まつりの開催
地域創造負担金
サマーナイトコンサートの開催
各種団体助成（文化事業）
市民狂言会の開催
市民芸術広場の開催
ひとまちロマン文化ボランティアで創る21世紀京都
アートフレンド事業
ふれあいコンサートの開催
大茶会の開催

施策名 多彩な芸術文化交流の推進

2123

所管局: 文化市民局　　共管局: なし

概要 国内外の芸術家を受け入れ，その芸術活動を支援するとともに，様々な都市との芸術文化交流を行い，世界の芸術文化交流の拠点となることを目指す。

総合評価 B

文化の交流については，その性格上，市民満足度評価の結果を客観指標評価として活用することとしており，市民満足度評価がBであることから，総合評価もBとする。

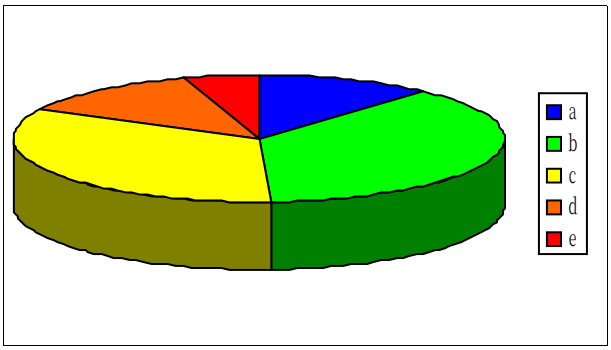
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: B

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度	評価
市民満足度評価	B

○この施策に関する市民満足度評価

京都では様々な国，ジャンルの芸術に触れ親しむことができると思う。



答a:そう思う	40	11.7%
答b:どちらかというとそう思う	128	37.4%
答c:どちらとも言えない	114	33.3%
答d:どちらかというとそう思わない	43	12.6%
答e:そう思わない	17	5.0%
有効回答数	342	
満足度評価	B	

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
京都の秋音楽祭の開催
日露交歓コンサートの開催

施策名 芸術文化の新たな担い手の育成

2124

所管局: 文化市民局　　共管局: 総務局

概要 研究活動費の助成，発表の場の提供などを通じて芸術文化の新たな担い手を育成する。

総合評価 C

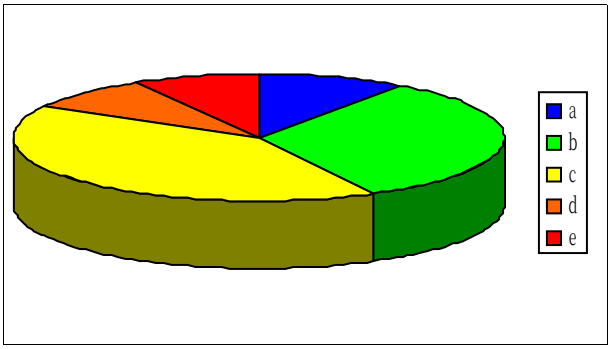
芸術文化については，その性格上，市民満足度評価の結果を客観指標評価として活用することとしており，市民満足度評価がCであることから，総合評価もCとする。

○この施策の客観指標評価　　客観指標総合評価: C

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度	評価
市民満足度評価	C

○この施策に関する市民満足度評価

活動の場に恵まれているので，京都が生み育てたアーティストは多いと思う。



答a:そう思う	33	9.7%
答b:どちらかというとそう思う	111	32.6%
答c:どちらとも言えない	138	40.6%
答d:どちらかというとそう思わない	30	8.8%
答e:そう思わない	28	8.2%
有効回答数	340	
満足度評価	C	

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
芸術大学学生教育
芸術教育振興協会補助
芸術文化特別奨励制度
日展の開催
京展の開催

施策名 豊かな文化資源を生かした芸術文化の振興

2125

所管局: 文化市民局　　共管局: なし

概要 伝統芸術，映画，音楽など京都の豊かな文化資源を生かした芸術文化の振興を図る。

総合評価 B

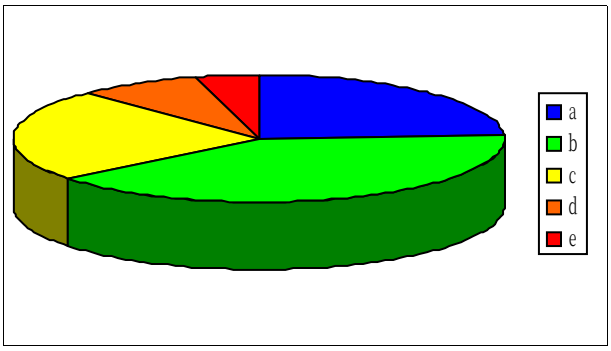
芸術文化の振興については，その性格上，市民満足度評価の結果を客観指標評価として活用することとしており，市民満足度評価がBであることから，総合評価もBとする。

○この施策の客観指標評価　　客観指標総合評価: B

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度	評価
市民満足度評価	B

○この施策に関する市民満足度評価

京都ならではの文化資源を生かした文化･芸術に接する機会に恵まれていると思う。



答a:そう思う	82	24.0%
答b:どちらかというとそう思う	137	40.2%
答c:どちらとも言えない	80	23.5%
答d:どちらかというとそう思わない	28	8.2%
答e:そう思わない	14	4.1%
有効回答数	341	
満足度評価	B	

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
京都映画祭の開催
無鄰菴の運営
京都会館の運営
円山公園音楽堂の運営
コンサートホールの運営
北文化会館の運営
西文化会館の運営
右京ふれあい文化会館の運営
呉竹文化センターの運営
東部文化会館の運営
アバンティホールの運営

文化事業基金積立（シネメセナ）

久世ふれあいセンターの運営

美術館の運営

常設展の開催

特別展の開催

動物園の運営

野生鳥獣救護事業

動物園事業

定期演奏会の開催

依頼演奏会の開催

特別演奏会の開催

特別演奏会（こども演奏会）の開催

オペラ公演の開催

東京公演の開催

元離宮二条城の運営

文化事業基金積立

施策名 文化財保護の推進

2126

所管局: 文化市民局　　共管局: なし

概要 未指定文化財を調査し，その結果に基づく文化財への指定及び登録を行うともに，指定･登録文化財の保存，活用を行い，文化財保護の推進を図る。

総合評価 B

市民満足度調査では中間値が高く，それより満足側に重心があることから，十分とはいえないまでも，文化財への認知度の高さとそれを肯定的に評価していることがわかる。また，客観指標である市指定･登録文化財の件数も順調に増加しており，客観指標評価をBとする。以上を勘案して，総合評価をBとする。

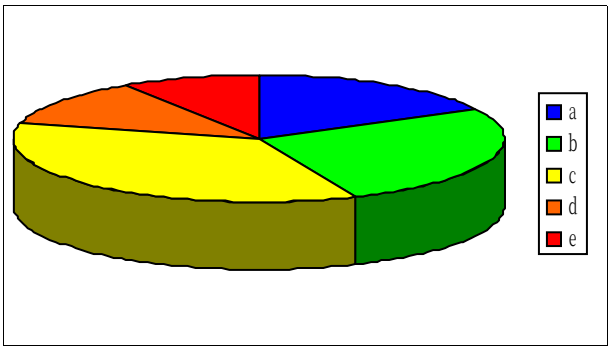
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: B

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
市民満足度評価					B
(準)市指定･登録文化財の数（件）	389	399			B'

○この施策に関する市民満足度評価

文化財に親しむことができて，暮らしが豊かになったと感じる。



答a:そう思う	60	17.3%
答b:どちらかというとそう思う	91	26.2%
答c:どちらとも言えない	123	35.4%
答d:どちらかというとそう思わない	41	11.8%
答e:そう思わない	32	9.2%
有効回答数	347	
満足度評価		B

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
市指定文化財等助成
伝統行事助成
国指定文化財等助成
文化財保護法改正(国登録文化財制度)に伴う事務
文化財普及啓発事業
指定文化財等説明板設置
民俗文化財記録映画制作
文化財保護事業資金融資事業
深泥池保全活用基本計画の策定等
文化財保護条例関連実態調査
文化財保護審議会

市所有史跡等管理

祇園祭山鉾館管理

文化観光資源保護財団助成

ＪＲ山陰線高架下収蔵施設整備

市域内発掘調査

出土遺物保管管理業務

出土遺物整理

埋蔵文化財普及啓発事業助成

埋蔵文化財研究所貸付金

埋蔵文化財研究所事業補助

施策名 文化と観光･産業の連携

2127

所管局: 産業観光局　　共管局: 文化市民局

概要 文化学術施設や社寺，伝統的行事など，豊かな文化資源を生かし観光集客力の向上，産業振興を図る。

総合評価 B

準客観指標である主な文化施設の入場者数については，過去10年間との比較でD評価となったものの，主要な指標である入洛観光客数が2年連続で過去最高を記録したことから客観指標評価をBとする。また，市民の意識においても，「そう思う」，「どちらかというとそう思う」の回答が，7割弱もあるなど，施策効果が認知されていることが示されており，市民満足度評価はAである。この両評価を合わせて考え，総合評価をBとする。

○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: B

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
1年間に京都を訪れた観光客数（千人）	41322	42174			A
(準)文化施設の年間入場者数（人）	2856716	2788960			D'

○この施策に関する市民満足度評価

二条城などの文化資源を活用したイベントが実施されていて，観光客に京都の魅力をアピールしていると思う。

答a:そう思う	92	26.6%
答b:どちらかというとそう思う	143	41.3%
答c:どちらとも言えない	76	22.0%
答d:どちらかというとそう思わない	24	6.9%
答e:そう思わない	11	3.2%
有効回答数	346	
満足度評価		A

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
本丸御殿特別公開
二条城ライトアップ
デジタルアーカイブ事業

施策名 多彩な国際交流の推進

2131

所管局: 総務局　　共管局: なし

概要 姉妹都市交流や留学生交流など市民ひとりひとりが主役として活躍する多彩な国際交流活動やそれを支えるまちづくりを進める。

総合評価 B

京都市国際交流会館の来館者数及び京都市国際交流協会のイベント等への参加者数は減少しているが，同協会のホームページへのアクセス件数が増加し，市内における留学生数も過去5年間で最大であるため，客観指標評価をBとする。また，市民満足度評価もBであることから総合評価をBとする。

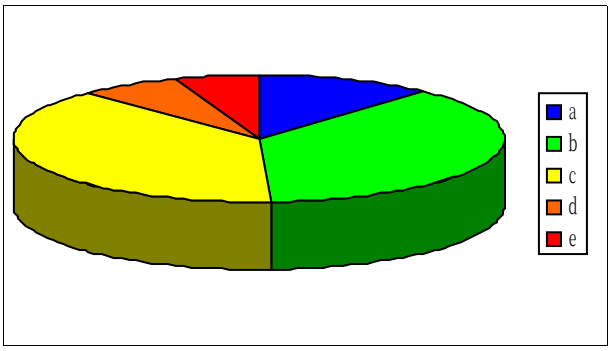
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: B

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
(財) 京都市国際交流協会のイベント･講座への参加者数 (人)		11088	18000	61.6%	D
(準) (財) 京都市国際交流協会ホームページアクセス件数 (件)		133411	70000	190.6%	A'
京都市国際交流会館来館者数 (人)		197881	218000	90.8%	C
留学生数 (人)	3145	3553			A

○この施策に関する市民満足度評価

京都は留学生を大切にしていて，市民レベルでも国際交流が行われていると思う。



答a:そう思う	39	11.6%
答b:どちらかというとそう思う	127	37.7%
答c:どちらとも言えない	130	38.6%
答d:どちらかというとそう思わない	22	6.5%
答e:そう思わない	19	5.6%
有効回答数	337	
満足度評価	B	

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
姉妹都市交流事業
留学生対策事業
外国青年招致事業
国際交流会館運営事務
多彩な国際交流の推進事業
国立京都迎賓館建設促進

施策名 京都の特性を生かした国際協力の推進

2132

所管局: 総務局　　共管局: なし

概要 地球規模の問題や歴史都市としての共通の課題の解決のため，京都の特性を生かした国際協力を促進する。

総合評価 B

世界歴史都市連盟加盟都市数は昨年度と同数であるが，市民レベルの国際交流活動の振興等を目的に設立された「京都国際交流団体連絡協議会」の加入団体数は増加している。また，市民満足度評価もBであることから，総合評価をBとする。

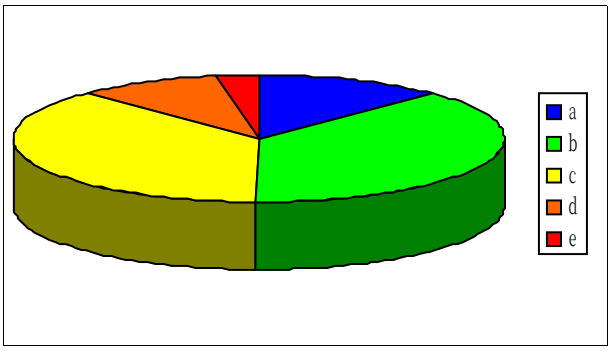
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: B

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
世界歴史都市連盟加盟都市数（都市）	61	61			C
京都国際交流団体連絡協議会(A.I.E.K)加入団体数（団体）	155	157			B

○この施策に関する市民満足度評価

歴史，文化，環境問題など京都らしい国際協力が充実していると思う。



答a:そう思う	42	12.6%
答b:どちらかというとそう思う	125	37.5%
答c:どちらとも言えない	125	37.5%
答d:どちらかというとそう思わない	32	9.6%
答e:そう思わない	9	2.7%
有効回答数	333	
満足度評価	B	

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
世界歴史都市連盟事務局運営事務
イタリア･シエナ大学との国際シンポジウム

施策名 都市の活力を生む多様な交流の推進

2133

所管局: 総合企画局　　共管局: なし

概要 近隣自治体などとの地域間交流を進めることにより，市域を越えた連携による都市活力の増進を図る。

総合評価 C

客観指標の各数値は比較的良好に推移しているものの，市民満足度調査の結果からは他都市との連携や交流によって京都のまちに活気が生まれていると受け止められておらず，総合評価をCとする。

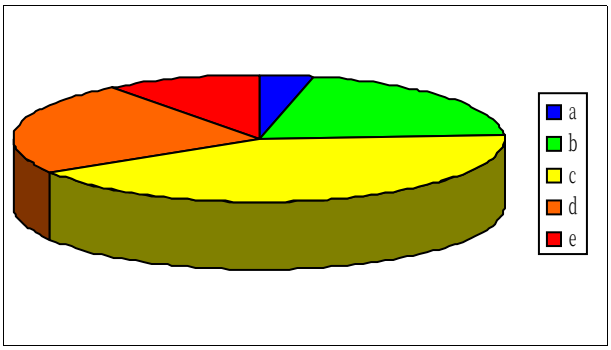
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: B

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
関西ベンチマークの主な指標の改善率（%）＊	43.5	54.2			B
京都都市圏域人口（人）	3407581	3414592			B
ＪＲ京都駅乗客数（千人）＊	60120	61107			B

○この施策に関する市民満足度評価

関西圏での連携や周りの都市との交流が行われ，京都のまちに活気が生まれていると思う。



答a:そう思う	12	3.6%
答b:どちらかというとそう思う	70	20.7%
答c:どちらとも言えない	141	41.7%
答d:どちらかというとそう思わない	80	23.7%
答e:そう思わない	35	10.4%
有効回答数	338	
満足度評価		C

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
指定都市等都市間協議･調整事務
広域連携関連事務の推進等
国際特別都市建設連盟

施策名 多彩な学習機会の確保･提供

2141

所管局: 教育委員会　　共管局: なし

概要 神社仏閣，大学･研究機関，伝統文化･伝統美術など恵まれた生涯学習資源を活用した京都ならではの学習機会を確保･提供するとともに，人権文化の構築，環境の保全など，様々な社会的課題についての学習機会を確保･提供する。

総合評価 B

アスニー，学校歴史博物館における入館者数が増えていることから客観指標評価をAとする。市民満足度評価のBとあわせ，総合評価をBとする。

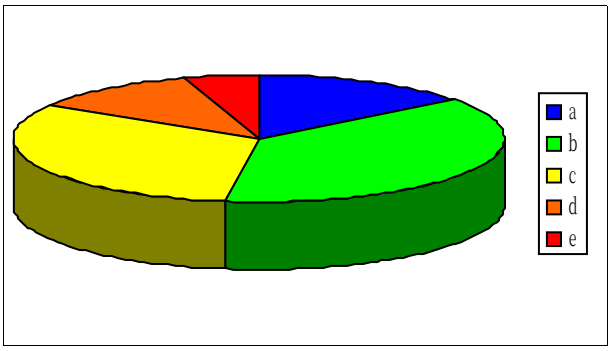
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: A

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
市民満足度評価					B
(準)京都アスニー･山科アスニー施設入館者数（人）	777585	784458			B'
(準)学校歴史博物館入館者数（人）	7157	11370			A'

○この施策に関する市民満足度評価

伝統文化や環境学習など京都ならではの色々な学習機会に恵まれていると思う。



答a:そう思う	50	14.7%
答b:どちらかというとそう思う	128	37.6%
答c:どちらとも言えない	107	31.5%
答d:どちらかというとそう思わない	38	11.2%
答e:そう思わない	17	5.0%
有効回答数	340	
満足度評価		B

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
久我の杜生涯学習プラザ運営経費
障害のある市民の講座など
熟年市民の連続講座（ゴールデン･エイジ･アカデミー）
女性教育事業
生涯学習情報提供システム
各種生涯学習事業
歴史資料館事業運営
図書館事業運営
考古資料館運営

施策名 時代に応じた学習関連施設の充実

2142

所管局: 教育委員会　　共管局: なし

概要 図書の検索機能の向上をはじめ，市民に役立つ使いやすい図書館機能の充実を図るとともに，生涯学習関連施設において時代の進展に応じた整備を行う。

総合評価 B

図書館においては貸出冊数が増加しており，青少年科学センターにおいても入館者数が増加していることから客観指標評価をBとする。市民満足度評価もBであることから総合評価をBとする。

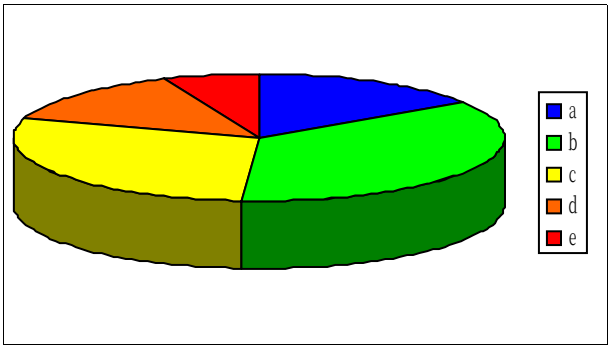
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: B

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
市民満足度評価					B
(準)図書貸出冊数（冊）	5197639	5477908			B'
(準)青少年科学センター利用者数（人）	132230	146430			B'

○この施策に関する市民満足度評価

学ぼうという気があればいつでも学べる環境が整っていて，多彩な学習が楽しめる。



答a:そう思う	53	15.5%
答b:どちらかというとそう思う	121	35.5%
答c:どちらとも言えない	98	28.7%
答d:どちらかというとそう思わない	47	13.8%
答e:そう思わない	22	6.5%
有効回答数	341	
満足度評価		B

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
青少年科学センター運営
学校歴史博物館運営
生涯学習総合センター運営
生涯学習総合センター山科運営
市立図書館20館運営

施策名 新たな学習支援のしくみづくり

2143

所管局: 教育委員会　　共管局: なし

概要 民間事業者等の豊富な学習資源や学習プログラムを段階的，系統的に活用できるようにするなど，市民の自主的な学習活動を支援する新たなしくみづくりを進める。また，京都の豊富な学習資源を生かし，市民はもとより国内外の生涯学習ニーズにもこたえる創造的な学びの機会・場・しくみづくりを進める。

総合評価 B

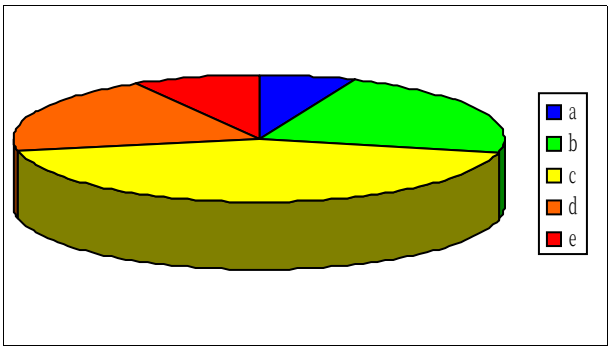
博物館ふれあいボランティアについて，延べ活動者数が過去最大の増加となっているため，客観指標評価をBとする。市民満足度評価のCと合わせ，総合評価をBとする。

○この施策の客観指標評価　　客観指標総合評価: B

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
市民満足度評価					C
(準)博物館ふれあいボランティア延べ活動者数（人）	488	772			A'

○この施策に関する市民満足度評価

自分に合った学習ができるようになっており，学ぶ意欲がわく。



答a:そう思う	21	6.3%
答b:どちらかというとそう思う	74	22.3%
答c:どちらとも言えない	144	43.4%
答d:どちらかというとそう思わない	65	19.6%
答e:そう思わない	28	8.4%
有効回答数	332	
満足度評価	C	

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
市民との連携による生涯学習社会づくり（生涯学習市民フォーラム運営）

施策名 世代を越えてともに学ぶ地域づくり

2144

所管局: 教育委員会　　共管局: なし

概要 地域での学びを支える人材を育成するとともに，地域の学びの場･機会を充実することにより，地域のなかで世代を越えてともに楽しみながら学び，学習の成果を分かち合い，学習の輪を広げる。

総合評価 B

コミュニティプラザ，ふれあいサロンについて，ともに利用者数を伸ばしており，地域の生涯学習活動の推進に寄与していると考えられることから客観指標評価をBとする。市民満足度評価のCと合わせ，総合評価をBとする。

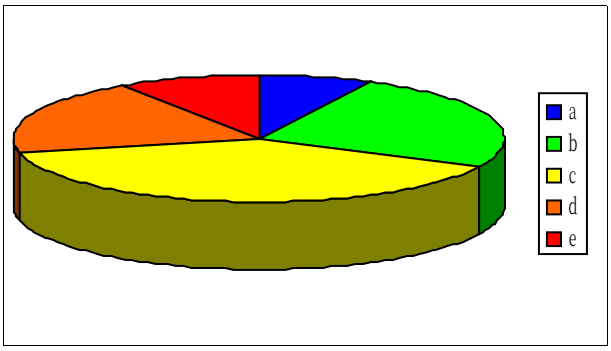
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: B

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
市民満足度評価					C
(準)コミュニティプラザ施設利用者数（人）	96717	111872			B'
(準)ふれあいサロン施設利用者数（人）	373964	386814			B'

○この施策に関する市民満足度評価

学校や地域での取組によって，幅広い世代が学べる機会が充実していると思う。



答a:そう思う	25	7.4%
答b:どちらかというとそう思う	84	24.9%
答c:どちらとも言えない	131	38.9%
答d:どちらかというとそう思わない	65	19.3%
答e:そう思わない	32	9.5%
有効回答数	337	
満足度評価	C	

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
生涯学習コーディネーター養成講座
学校開放事業･学校コミュニティプラザ運営
生涯学習アドバイザー等

施策名 京都独自の新たな産業連関都市の構築

2211

所管局: 産業観光局　　共管局: なし

概要 多様な分野の産業がお互いの企業文化に厚い信頼を置き，相互にきめ細かく支え合う京都独自の新たな産業連関都市を構築する。

総合評価 B

長期にわたる景気低迷によって，市内の産業活動を取り巻く環境は非常に厳しい状況が続いている。このような中，市民の意識も「どちらとも言えない」が最も多く，市民満足度評価はCである。しかし，客観指標である市内総生産(名目経済成長率)は，国の1.0%増を大幅に上回る2.6%増を示すなど，この10年間においても最大の増加率となったことから，客観指標評価及び総合評価をBとする。

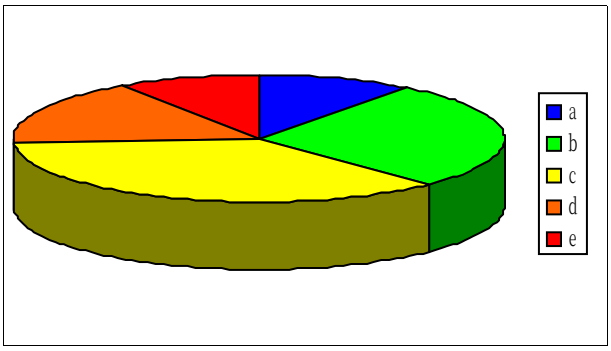
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: B

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
市内総生産（億円）＊	58380	59927			B
(準)事業所開業率（%）	3.2	2.3			C'
(準)ベンチャー企業目利き委員会Aランク認定企業数（社）	29	32			C'

○この施策に関する市民満足度評価

京都の特色を生かした産業活動が活発に行われていると思う。



答a:そう思う	33	10.2%
答b:どちらかというとそう思う	90	27.7%
答c:どちらとも言えない	117	36.0%
答d:どちらかというとそう思わない	54	16.6%
答e:そう思わない	31	9.5%
有効回答数	325	
満足度評価		C

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
バイオシティ構想事業
知的クラスター創成事業
地域プラットフォーム事業
ベンチャー企業目利き委員会運営
ベンチャー企業育成支援（VIL）
創業支援工場（VIF）管理運用
創業支援工場（VIF）用地買戻し
ＳＥ人材育成事業
京都発明協会助成
職務発明制度運用
京都高度技術研究所助成

京都ソフトアプリケーション助成

生分解プラスチック魚箱実験

施策名 活力ある産業活動への支援

2212

所管局: 産業観光局　　共管局: なし

概要 「ものづくり都市・京都」の活性化に向けて，中小企業への支援を行うほか，伝統産業の再生と新たな京都ブランドの創造・展開に努める。

総合評価 C

長期にわたる景気低迷によって，製造業をはじめとする企業の経営環境は非常に厳しく，主要な指標である製造品出荷額等は，ＩＴ不況等による影響を大きく受け，大幅な減少となったほか，準指標の伝統工芸品生産額も，全国と同様に減少傾向を示した。しかし，もう一方の準指標であるオスカー認定企業数は順調に推移していることから，客観指標評価をＣとする。また，市民の意識も「どちらとも言えない」が最も多く市民満足度評価がＣであるため，総合評価をＣとする。

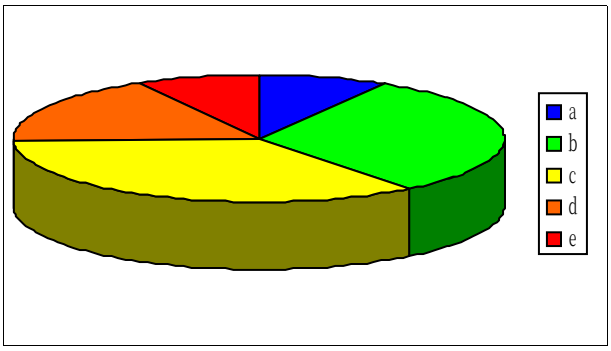
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: C

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
製造品出荷額等（百万円）＊	2793940	2370266			E
(準)伝統工芸品年生産額（百万円）＊	105261	85240			B'
(準)オスカー認定企業数（社）		21			A'

○この施策に関する市民満足度評価

産業の中でも，ものづくりが意欲的に取り組まれていると思う。



答a:そう思う	27	8.5%	
答b:どちらかというとそう思う	98	30.8%	
答c:どちらとも言えない	111	34.9%	
答d:どちらかというとそう思わない	56	17.6%	
答e:そう思わない	26	8.2%	
有効回答数	318		
満足度評価		C	

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
中小企業支援センター管理運営
中小企業支援事業
中小企業支援センター人件費補助（支援）
中小企業金融対策
中小企業支援センター人件費補助（金融）
企業内人権啓発
水道特会繰出金
下水道特会繰出金
桂イノベーションパーク整備推進
産業立地促進対策
高度集積地区産業支援等複合施設整備手法調査

中小企業連携支援事業

異業種交流等連携支援事業

行政区別地域経済活性化等支援事業

「京都館」催事開催支援

勧業館運営

共同研究事業

産業科学技術振興計画策定

貿易振興事業助成

販路開拓，産地商品宣伝

新商品研究開発

「伝統産業の日」関連事業

後継者育成事業

技術功労者顕彰制度

きもの文化発信事業

伝統産業「京の職人さん」雇用創出事業

ファッション推進

京都デザインビエンナーレ事業

きもの文化教育副読本

京ものブランド町家工房事業

京都伝統産業ふれあい館運営

第17次西陣機業調査

繊維技術センター管理運営

繊維技術センター試験分析

繊維技術センター技術指導

繊維技術センター研究業務

繊維技術センター中小企業技術者研修

技術職員派遣研修

工業技術センター管理運営

工業技術センター試験分析

工業技術センター技術指導

工業技術センター研究業務

工業技術センター中小企業技術者研修

新技術創出・製品開発事業

国際事業推進対策（貿易）

施策名 地域に密着した商業の振興

2213

所管局: 産業観光局　　共管局: なし

概要 都市づくりの目標と整合した商業集積の形成を実現し，地域特性に応じた商業の振興を図る。

総合評価 C

主要な客観指標である商業(卸売･小売業)年間商品販売額は，平成3年以降最大の減少率となったが，全国ベースで比較すると際立った落ち込みではないことが明らかであり(全国比-4.4%)，評価をCとする。市民の意識では，約半数が市内の買物環境に満足していると回答しているため，市民満足度評価はBであり，客観指標評価のCと合わせて，総合評価をCとする。

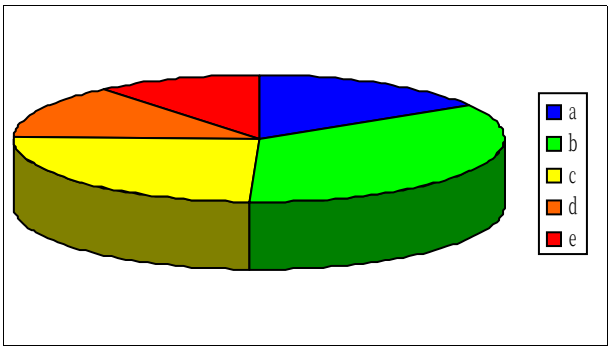
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: C

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
商業（卸売･小売業）年間商品販売額(億円)	68493	55771			C
(準)商業（卸売･小売業）の市内総生産（億円）＊	9157	9388			B'

○この施策に関する市民満足度評価

市内の買物環境に満足している。



答a:そう思う	55	16.4%
答b:どちらかというとそう思う	114	34.0%
答c:どちらとも言えない	83	24.8%
答d:どちらかというとそう思わない	47	14.0%
答e:そう思わない	36	10.7%
有効回答数	335	
満足度評価		B

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
第一市場繰出金
第二市場繰出金
商い創出事業（VIS）
商店街等支援事業
活力ある京都市商業２１推進事業
商業基盤強化対策
小売商団体助成
公設小売市場運営
公設小売市場営繕
中央卸売市場第一市場運営
中央卸売市場第二市場運営

施策名 市民に身近で環境にやさしい都市農林業の育成

2214

所管局: 産業観光局　　共管局: なし

概要 持続的な都市農林業を展開し，市民生活に密着した農林産物の流通体制の整備や農林業を通じた市民交流活動の充実等により，市民に身近で環境に優しい都市農林業の育成を図る。

総合評価 B

戦後の著しい経済成長は，全国的に農林業部門から他産業部門への労働力の移動や農林地面積の減少，農林産物の需要構造の変化を招来し，その傾向は現在まで続いている。そのため，農林業粗生産額も減少傾向にあり，本市においても同様の傾向が見られる。しかし，市民に安心･安全な地元産野菜の提供を推進する京の旬野菜の生産割合や農林業の多面的機能を啓発する市民農園の設置区画数は目標値を達成している。よって客観指標評価をBとする。更に，市民の意識でも半数以上が「そう思う」，「どちらかというとそう思う」と回答していることから，総合評価をBとする。

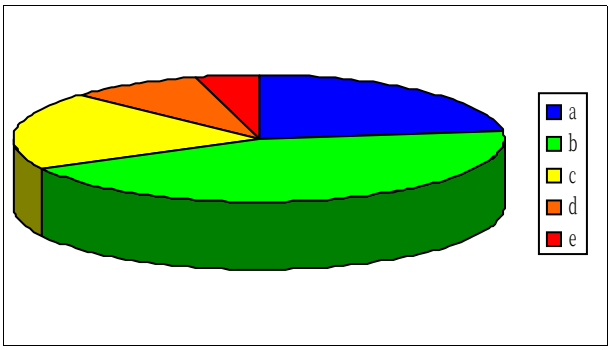
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: B

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
農地面積 (ha) ＊	2404	2382			B
民有林面積 (ha) ＊	39185	39115			B
(準)農業粗生産額 (百万円) ＊	12339	11760			D'
(準)林業粗生産額 (百万円) ＊	1120	623			E'
(準)「京の旬野菜」生産割合 (%) ＊	24.2	25.8			A'
(準)市民農園区画数 (区画) ＊	1788	1801			B'

○この施策に関する市民満足度評価

京都では旬の野菜が手に入り，おいしくて安心である。



答a:そう思う	79	23.4%
答b:どちらかというとそう思う	148	43.9%
答c:どちらとも言えない	67	19.9%
答d:どちらかというとそう思わない	29	8.6%
答e:そう思わない	14	4.2%
有効回答数	337	
満足度評価	B	

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
農業委員会運営
農業経営基盤強化対策
農林統計資料
担い手育成支援事業
農業振興地域管理
農業指導所運営
農産物価格安定対策
中山間地域等直接支払制度
花き卸売市場整備事業
水田農業経営確立対策事業
農林畜水産業金融対策

農業共済事業

農業改良

園芸振興

農業啓発

観光農村育成事業

都市農業支援事業

生産緑地振興対策事業

家畜衛生防疫

畜産振興

水産増殖

市営農業基盤整備事業

土地改良工事積算調査業務

農業基盤整備事業

巨椋池農地防災対策

農業施設環境防災対策

農業用水管理対策

排水機場管理

森林整備事業

市有林管理

林道改良事業

林道等整備事業

森林等被害防止対策事業

森林整備地域活動支援交付金

森林施業計画認定事務

林業担い手対策事業

林業･木材産業構造改革事業（路網整備）

山村都市交流の森運営管理

森林文化交流センター（森愛館）

北部振興拠点イベント実施

施策名 21世紀の京都を牽引する観光の創造

2221

所管局: 産業観光局　　共管局: なし

概要 じっくりと奥深い京都の魅力を体感してもらえる宿泊・滞在型，体験型観光の振興や新しい観光資源の創出を図るほか，各地域に埋もれた観光資源を活用した界わい観光を創出するなど，21世紀の京都を牽引する観光を創造する。

総合評価 B

国外旅行の増加や周辺都市の観光基盤整備,観光施設の整備が進む中で,客観指標である京都への観光客数，宿泊客数ともに過去10年間で最高であるものの，観光消費総額が低いほか，平均宿泊日数も短縮傾向にあることから，客観指標評価をCとする。市民満足度も「そう思う」が最も多く，京都観光の需要は高いと考えられるため，市民満足度評価をAとし，両評価を合わせて，総合評価をBとする。

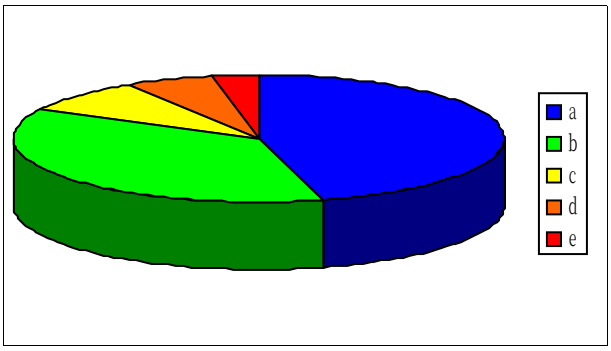
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: C

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
観光消費総額（億円）	4440	4447			D
(準)1年間に京都を訪れた観光客数（千人）	41322	42174			A'
(準)宿泊者数（千人）	9917	10115			A'
(準)平均宿泊日数（日）	1.66	1.62			E'

○この施策に関する市民満足度評価

京都は新旧織り交ぜた観光資源が充実し，観光客にとって魅力のある都市だと思う。



答a:そう思う	153	45.8%
答b:どちらかというとそう思う	123	36.8%
答c:どちらとも言えない	28	8.4%
答d:どちらかというとそう思わない	20	6.0%
答e:そう思わない	10	3.0%
有効回答数	334	
満足度評価	A	

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
入洛観光客実態調査
京都一周トレイル運営
保勝会事業補助
観光事業者協同事業
宇多野ユース・ホステル運営委託
宇多野ユース・ホステル営繕
京都・花灯路事業
時代祭・葵祭運営支援
「新選組」観光プログラム開発・活用
花街伝統伎芸保存・育成
京都観光誘客関連雇用創出事業

施策名 観光情報の受発信と観光客誘致の強化

2222

所管局: 産業観光局　　共管局: なし

概要 ＩＴをはじめとした多様な手段により，的確できめ細かい情報の受発信を行う。また，修学旅行や企業のインセンティブツアーの誘致を促進するとともに，他都市等と連携した観光資源のネットワーク化を進める。

総合評価 A

客観指標については，準指標である京都館観光コーナーの利用件数がＣである以外は，京都市観光情報文化システムのアクセス件数が内容の充実によって前年比約50万件増と過去5年間で最高となりＡ評価であるなど，客観指標評価をＡとする。このため，市民満足度評価はＢであるが，総合評価をＡとする。

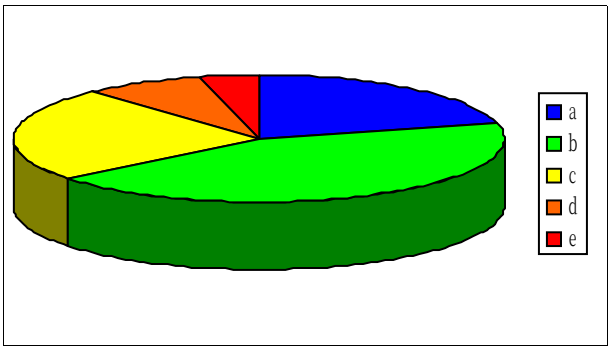
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: A

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
京都市観光文化情報システムのアクセス件数（件）	849388	1333553			A
(準)京都市内の修学旅行客率（%）	26	27			A'
(準)京都館観光コーナー利用件数（件）	34471	30387			C'
1年間に京都を訪れた観光客数（千人）	41322	42174			A

○この施策に関する市民満足度評価

観光情報がしっかり発信されているので，ガイド片手にまちを歩いている観光客をよく見かけるようになった。



答a:そう思う	69	21.0%
答b:どちらかというとそう思う	142	43.2%
答c:どちらとも言えない	79	24.0%
答d:どちらかというとそう思わない	26	7.9%
答e:そう思わない	13	4.0%
有効回答数	329	
満足度評価		B

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
観光文化情報システム整備
コンシェルジェ観光情報交流事業
観光ルネッサンス事業
修学旅行生受入環境整備事業
企業インセンティブツアー誘致対策
観光宣伝パンフレット作成
広域観光対策（三都物語）
首都圏を中心とした観光宣伝活動
内客誘致宣伝
「京都館」観光部門運営
「京都館」催事開催支援

観光関連団体分担金

施策名 海外からの観光客誘致の強化

2223

所管局: 産業観光局　　共管局: なし

概要 海外の地域ごとの観光客のニーズに対応したきめ細かいマーケティングを展開するとともに，英語版ニューズレターやインターネット等の媒体を活用した情報発信を行うことにより，海外からの観光客誘致を強化する。

総合評価

B

客観指標については，主要な指標である外国人宿泊者数が米国同時多発テロの影響を受け低調であった平成13年から一転し，ワールドカップサッカー大会の波及効果等もあり大きく伸びたほか，準指標である観光文化情報システムの英語表記のアクセス件数が過去最多となったことからA評価とする。市民満足度評価のCと合わせて，総合評価をBとする。

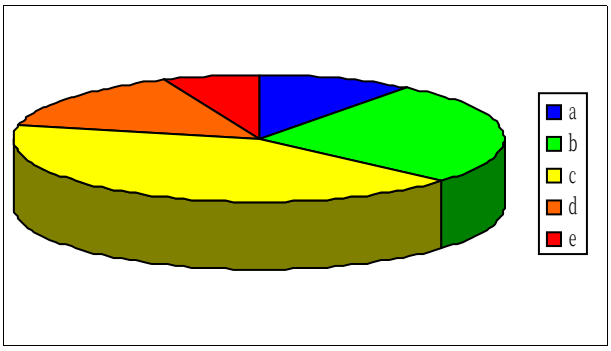
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: A

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
1年間に海外から京都市を訪れた宿泊客数（人）	383897	480828			A
(準)観光文化情報システムの英語表記アクセス件数（件）	121158	183790			A'

○この施策に関する市民満足度評価

京都は外国語での案内が充実しているなど，海外からの観光客にとって訪れやすい都市であると思う。



答a:そう思う	34	10.4%
答b:どちらかというとそう思う	86	26.2%
答c:どちらとも言えない	137	41.8%
答d:どちらかというとそう思わない	50	15.2%
答e:そう思わない	21	6.4%
有効回答数	328	
満足度評価	C	

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
関西観光情報センター運営（関空内）
インターネット国際観光情報提供
海外旅行エージェント対策事業
海外観光宣伝事業（国際誘推協）
外客誘致宣伝

施策名 コンベンション誘致の強化

2224

所管局: 産業観光局　　共管局: なし

概要 コンベンション都市としての京都の広報宣伝活動を強化するとともに，京都ならではの多彩な企画を提案するなど，京都でのコンベンション開催に向けた支援を充実することにより，コンベンション誘致の強化を図る。

総合評価 B

主要な客観指標である年間国際会議開催件数については，過去10年間で最多となるほか，準指標であるコンベンション参加者数についても過去3番目となったことから，客観指標評価をAとするが，長引く不況の影響からか，国際会議の会期の短縮が顕著になっているなど経済効果から見ると課題も見受けられる。市民満足度評価のBと合わせて，総合評価をBとする。

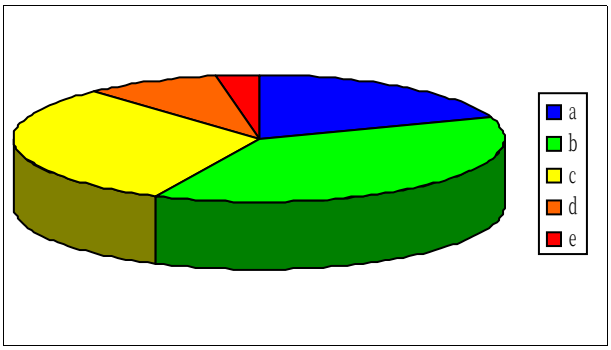
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: A

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
年間国際会議開催件数（件）	192	207			A
(準)コンベンション参加者数（人）	86422	85272			B'

○この施策に関する市民満足度評価

京都は国内外の会議が多いと思う。



答a:そう思う	64	19.8%
答b:どちらかというとそう思う	120	37.2%
答c:どちらとも言えない	101	31.3%
答d:どちらかというとそう思わない	29	9.0%
答e:そう思わない	9	2.8%
有効回答数	323	
満足度評価		B

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
コンベンション推進事業
コンベンション誘致支援
国立京都国際会館関係事務

施策名 観光客を温かくもてなすしくみづくり

2225

所管局: 産業観光局　　共管局: なし

概要 観光客が安全で快適に京都のまちを観光できるよう，案内サービス機能の強化を図り，観光客を温かくもてなすしくみづくりを行う。

総合評価 B

客観指標については，市内の観光客数が2年連続で過去最多を記録し，京都市観光情報文化システムのアクセス件数も開設以来最多のアクセスとなったため，A評価とする。しかし，市民の意識では「どちらとも言えない」が最も多く，市民満足度評価がCであることから，総合評価はBとする。

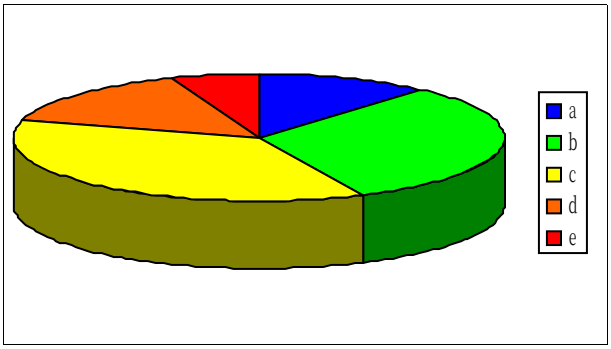
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: A

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
1年間に京都を訪れた観光客数（千人）	41322	42174			A
(準)京都市観光文化情報システムのアクセス件数（件）	849388	1333553			A'

○この施策に関する市民満足度評価

思い立って急に京都に来ても，観光案内が十分なので，楽しんでもらえると思う。



答a:そう思う	38	11.4%
答b:どちらかというとそう思う	105	31.5%
答c:どちらとも言えない	121	36.3%
答d:どちらかというとそう思わない	50	15.0%
答e:そう思わない	19	5.7%
有効回答数	333	
満足度評価	C	

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
観光標識等充実整備
公共交通機関利用観光サービス充実対策
観光便所維持
観光便所営繕
京都市観光案内所運営
嵐山観光案内所運営

施策名 京都をあげての観光振興の推進

2226

所管局: 産業観光局　　共管局: なし

概要 市民，事業者，社寺･文化施設･大学等を含めたネットワークを構築することにより，京都をあげての観光振興を推進する。

総合評価 B

客観指標評価については，市内の観光客数が2年連続で過去最多を記録したため，A評価とする。しかし，市民の意識では「どちらとも言えない」が最も多く，市民満足度評価がCであることから，総合評価はBとする。

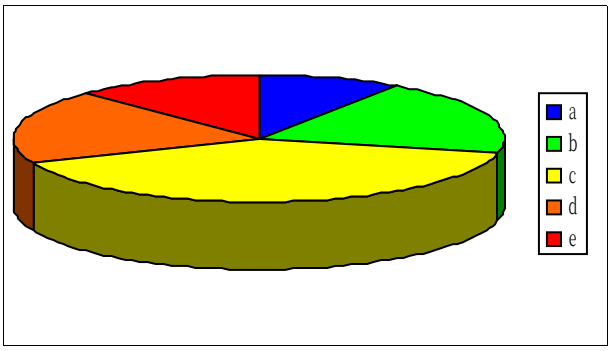
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: A

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
1年間に京都を訪れた観光客数（千人）	41322	42174			A

○この施策に関する市民満足度評価

京都市民には，道に迷っている人を見かけたら，声をかけて案内するような温かな人が多いと思う。



答a:そう思う	32	9.5%
答b:どちらかというとそう思う	65	19.3%
答c:どちらとも言えない	134	39.8%
答d:どちらかというとそう思わない	64	19.0%
答e:そう思わない	42	12.5%
有効回答数	337	
満足度評価		C

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
観光協会出向人件費

施策名 個性豊かな大学の集積を生かした交流の場づくり

2231

所管局: 総合企画局　　共管局: なし

概要 「大学のまち・京都」の新たな魅力を創造するため，(財)大学コンソーシアム京都との連携の下，大学のまち交流センター（キャンパスプラザ京都）を核とした交流の充実を図る。

総合評価 A

単位互換の受講者数が初めて減少したが，僅かな減少であり，人気の講座に申し込みが集中したためと考えられる。一方，科目提供大学は，前年度比2校増と増えているため，客観指標総合評価をAとする。また，市民の実感は満足傾向にあり，市民満足度評価はBである。このため，総合評価はAとする。

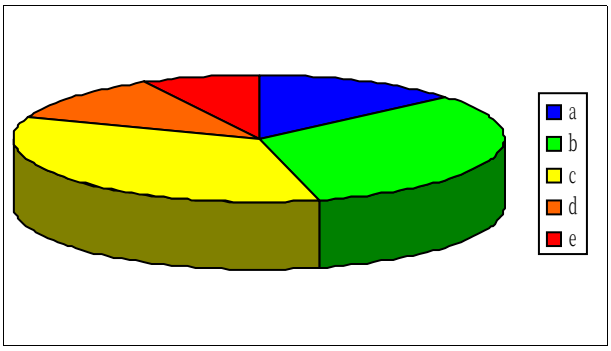
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: A

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
単位互換提供大学数（校）	43	45			A
単位互換受講者数（人）	10049	9981			B

○この施策に関する市民満足度評価

京都は，大学間の交流が盛んで，「大学のまち」としての魅力を感じる。



答a:そう思う	45	13.7%
答b:どちらかというとそう思う	107	32.5%
答c:どちらとも言えない	113	34.3%
答d:どちらかというとそう思わない	38	11.6%
答e:そう思わない	26	7.9%
有効回答数	329	
満足度評価		B

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
大学のまち交流センター管理運営
(財)大学コンソーシアム京都支援
シティーカレッジ事業
大学情報ネットワーク事業

施策名 産学公の連携の推進

2232

所管局: 産業観光局　　共管局: 総合企画局

概要 京都の地で活躍する起業家や専門家の生きた助言と大学における知的資源を活用し，京都を基盤として活躍する人材を育成する。また，「京都学」や「都市政策」等の研究を産学公が共同で実施するとともに，個々の大学の枠を越えた，ほかにはみられないユニークな研究プロジェクトの形成を促進する。

総合評価 B

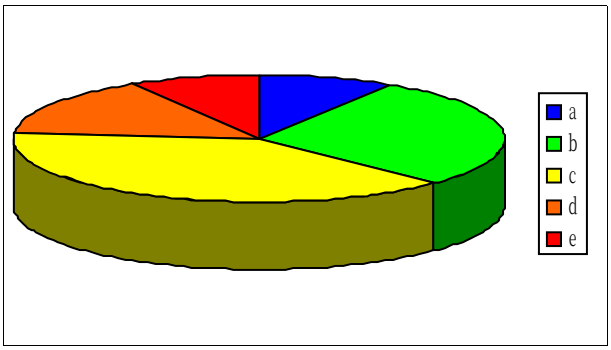
本市では，研究施設等の誘致や知的クラスター創成事業の推進など，産学公の連携促進のための体制整備が着実に進んでおり，準客観指標の起業家学校等の創業率が全国と比較して高水準であることから，B評価とする。市民の意識においては「どちらとも言えない」が最も多く，市民満足度評価がCであることと合わせ，総合評価をBとする。※客観指標である大学発ベンチャー企業数については，現在，経済産業省の実態把握調査をもとに調査中であるが，現時点では28社が創出されていることが判明している。

○この施策の客観指標評価　　客観指標総合評価: B

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
大学発ベンチャー企業数（社）		28			
(準)起業家学校等の創業率（%）	25	21.4			B'

○この施策に関する市民満足度評価

大学や研究所の人材･研究成果が産業活動に役立っていると思う。



答a:そう思う	28	8.8%
答b:どちらかというとそう思う	92	28.8%
答c:どちらとも言えない	124	38.8%
答d:どちらかというとそう思わない	48	15.0%
答e:そう思わない	28	8.8%
有効回答数	320	
満足度評価		C

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
京都産学公連携機構分担金
学外機関との共同･受託研究
政策の企画･調査･研究

施策名 地域に開かれた大学づくりの促進

2233

所管局: 総合企画局　　共管局: なし

概要 大学と地域との垣根を低くするため，大学施設を可能な限り，市民に開放するなどの地域に開かれた大学づくりを促進する。

総合評価 A

市内大学37校のうち，33校（89%）が公開講座を実施しており，また23校（62%）が図書館を開放しているため，客観的指標評価については，Aと判断する。また，市民も比較的，大学へ気軽に足を運べるようになったと感じている。客観的指標評価（公開講座の実施：A，図書館の開放：B），市民満足度評価：Bから判断して，総合評価はAとする。

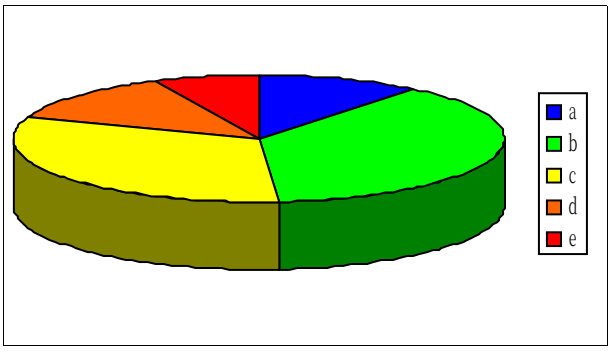
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: A

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
公開講座を開講している大学数（校）		33			A
図書館を地域に開放している大学数（校）		23			B

○この施策に関する市民満足度評価

大学が市民向け公開講座を開くなど，以前よりも大学を身近に感じるようになった。



答a:そう思う	34	10.8%
答b:どちらかというとそう思う	119	37.8%
答c:どちらとも言えない	101	32.1%
答d:どちらかというとそう思わない	39	12.4%
答e:そう思わない	22	7.0%
有効回答数	315	
満足度評価		B

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
芸術大学の情報発信

施策名 大学施設整備への支援

2234

所管局: 総合企画局　　共管局: なし

概要 市内からの大学の流出等を防ぐため，用途地域や高さ制限など，都市計画法等に基づく各種規制を緩和するなど，大学の施設整備に対する都市計画上の支援を行う。

総合評価 A

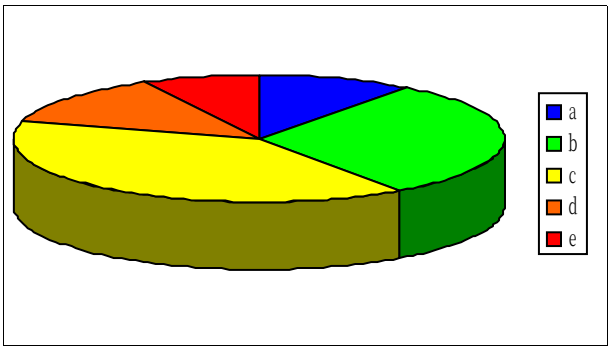
大学数が前年度比で，減少しているが，短期大学の4年制への改組によるものである。また，学生数は前年度比で増加していることから，客観指標評価はAとする。大学の施設や環境の整備に関する市民満足度評価はCであるが，これまでから，国へ廃止の要望を行ってきた「近畿圏の既成都市区域における工場等の制限に関する法律（工場等制限法）」について，要望の成果が実り，平成14年1月の通常国会にて廃止法案が，可決，成立し，7月12日から施行された。また，大学施設整備支援・誘導制度における支援数の実績は37校中16校に及んでいる。従って総合評価はAとする。

○この施策の客観指標評価　　客観指標総合評価: A

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
大学数（校）	38	37			B
学生数（人）	136307	138226			A

○この施策に関する市民満足度評価

京都の大学は，施設や環境が充実していると思う。



答a:そう思う	33	10.4%
答b:どちらかというとそう思う	95	29.9%
答c:どちらとも言えない	124	39.0%
答d:どちらかというとそう思わない	41	12.9%
答e:そう思わない	25	7.9%
有効回答数	318	
満足度評価	C	

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
大学施設整備支援誘導等事務

施策名 大学･学術研究機関の振興

2235

所管局: 総合企画局　　共管局: 総務局

概要 市内の各大学及び学術研究機関の整備に対する支援を行う。また，市内にある芸術系大学の連携を強め，将来の芸術文化の担い手となる若手芸術家の育成を支援するとともに，芸術文化の最先端研究などを促進することにより国際的な芸術文化発信の振興を図る。

総合評価 B

(財)大学コンソーシアム京都の芸術系大学作品展の入場者数については，増加したが，市立芸術大学独自の作品展，定期演奏会の入場者はほぼ横ばいであるので，客観的指標評価はBとする。また，学術研究機関の活力についての市民の実感は，全体的に充分とは言えず，市民満足度評価はCである。総合評価については，上記の客観指標評価，市民満足度評価と併せて判断し，Bとする。

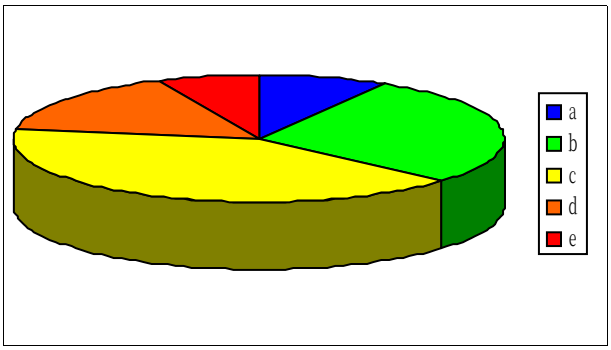
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: B

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
(準)芸術系大学作品展入場者数(人)	4140	5147			A'
大学発ベンチャー企業数(社)		28			
(準)芸術大学作品展来場者数(人)	10000	10000			C'
(準)芸術大学定期演奏会等来場者数(人)	2086	2524			B'

○この施策に関する市民満足度評価

京都の大学や学術研究機関には活力があると思う。



答a:そう思う	27	8.6%
答b:どちらかというとそう思う	88	28.1%
答c:どちらとも言えない	128	40.9%
答d:どちらかというとそう思わない	49	15.7%
答e:そう思わない	21	6.7%
有効回答数	313	
満足度評価	C	

<参考>この施策実現のための主な事業

事業名
芸術大学管理運営
芸術大学教員研究
日本伝統音楽研究センター運営

施策名 産業や文化など若者の活躍の場づくり

2241

所管局: 教育委員会　　共管局: 文化市民局

概要 ベンチャー企業等の発掘や育成により，若者が創造性を発揮し，いきいきと働ける場の創出を促進する。また，芸術文化の新たな担い手を育成するとともに若者が自ら企画･運営できる取組を支援し，新たな若者文化の創造を促進する。

総合評価 B

KYOTO青年元気まつり「大風流」の各年度における若者によるボランティア企画運営スタッフ，市立高校インターンシップ参加生徒数ともに，昨年度から増加しているため，客観指標評価をBとする。市民満足度評価のCと合わせ総合評価をBとする。

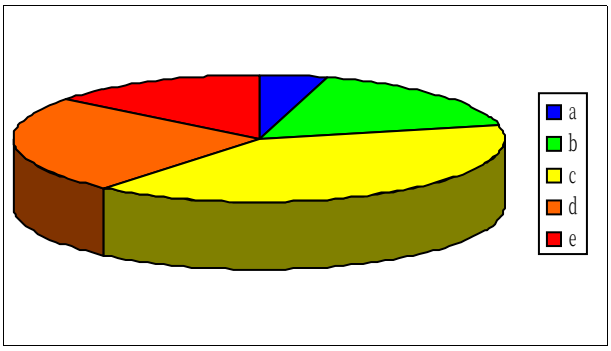
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: B

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
(準)大風流の若者による企画運営スタッフ数（人）	45	60			B'
(準)市立高校インターンシップ参加生徒数（人）	185	296			B'

○この施策に関する市民満足度評価

ベンチャー企業支援や若者企画のイベントがあって，若者が一旗あげられる機会が多いと思う。



答a:そう思う	14	4.4%
答b:どちらかというとそう思う	55	17.1%
答c:どちらとも言えない	126	39.3%
答d:どちらかというとそう思わない	80	24.9%
答e:そう思わない	46	14.3%
有効回答数	321	
満足度評価		C

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
大風流など

施策名 若者の活動拠点の整備と社会参加･自主的活動の支援

2242

所管局: 文化市民局　　共管局: なし

概要 若者の意見を市政やまちづくりに生かす場づくりや若者の関心の深さに応じた魅力ある多彩な事業の展開，青少年施設の再編やネットワーク化の推進等により，若者の社会参加･自主的活動を支援する。

総合評価 C

若者の意見や思いが市政やまちづくりに十分に活かされているという割合は低く，市民満足度評価はDである。しかし，客観指標である青少年活動センター利用者数及び青少年活動センター事業ボランティア数が増加するなど青少年の社会参加が促進されていることが伺われ，客観指標評価はCである。よって，総合評価をCとする。

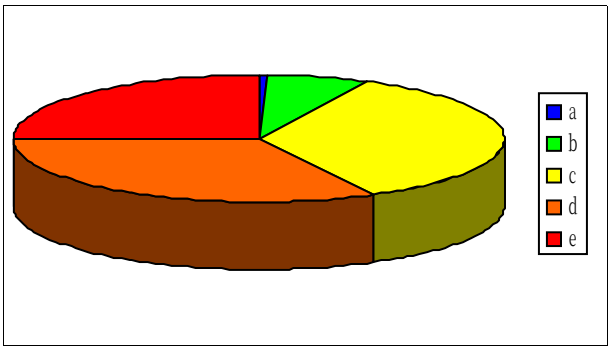
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: C

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
市民満足度評価					D
(準)青少年活動センター利用者数（人）	280188	298887			B'
(準)青少年活動センター事業ボランティア数（人）	466	500			B'

○この施策に関する市民満足度評価

若者の意見や思いが市政やまちづくりに十分に活かされていると思う。



答a:そう思う	2	0.6%
答b:どちらかというとそう思う	21	6.5%
答c:どちらとも言えない	113	35.1%
答d:どちらかというとそう思わない	105	32.6%
答e:そう思わない	81	25.2%
有効回答数	322	
満足度評価		D

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
青少年活動センターの運営
青少年活動推進協議会の運営
百井青少年村の運営
青少年団体助成

施策名 保全･再生･創造を基調とするまちづくり

2311

所管局: 都市計画局　　共管局: なし

概要 永い歴史のなかで受け継いできた自然･歴史的資源に恵まれた地域においては，その個性を保全･再生し，新たな都市の活力を担う市南部においては，積極的に都市機能を充実し，都市全体の魅力と活力を高めるまちづくりを進める。

総合評価 C

高度集積地区整備推進協議会における会員数は初年度からは増加しており，また，京都市景観･まちづくりセンターにおけるまちづくりに関する相談件数が過去最大の実績となっている。しかし，景観地区指定数等については前年度と比較して同水準にとどまっていることを踏まえて，客観指標総体の評価をBとする。市民満足度評価がCであることと合わせ，総合評価はCとする。

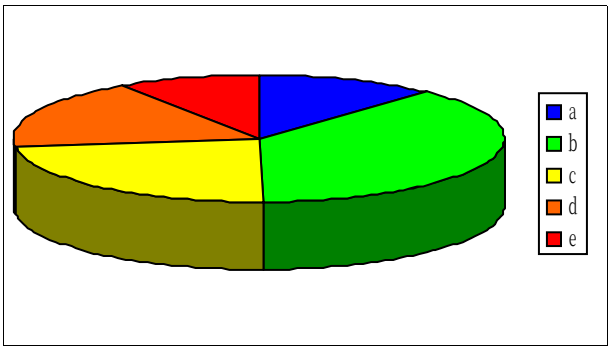
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: B

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
(準)景観保全や整備に関する地区の指定数(数値は別掲)					C'
(準)歴史的意匠建造物件数（件）	108	107			C'
(準)高度集積地区整備推進協議会会員数（会員）	49	48			B'
(準)京都市景観･まちづくりセンターにおけるまちづくりに関する相談件数（件）	475	571			A'

○この施策に関する市民満足度評価

美しい自然や町並みが保たれている一方，南部地域には企業が集積し，多様なまちづくりが進んでいると思う。



答a:そう思う	40	12.0%
答b:どちらかというとそう思う	125	37.7%
答c:どちらとも言えない	77	23.2%
答d:どちらかというとそう思わない	59	17.8%
答e:そう思わない	31	9.3%
有効回答数	332	
満足度評価	C	

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
京町家街区整備に係る調査
職住共存地区整備推進事業
高度集積地区整備推進事業
南部開発推進事業
地域住民，事業主体の主体的な都心の賑わい創出支援
六地蔵神足線計画調査
地域水道運営
地域水道整備費
水垂地区土地利用基本計画策定
大岩街道周辺地域将来構想調査
都心部小学校跡地活用計画策定

油小路通(鴨川橋梁) 整備事業

油小路通整備事業

上鳥羽南部地区土地区画整理事業

竹田地区土地区画整理事業

伏見西部第二地区土地区画整理事業

伏見西部第三地区土地区画整理事業

伏見西部第四地区土地区画整理事業

伏見西部第五地区土地区画整理事業

洛北第二地区土地区画整理事業

深草南部地区土地区画整理事業 (組合区画整理)

洛北第三地区土地区画整理事業 (組合区画整理)

岩倉長谷地区土地区画整理事業 (組合区画整理)

西賀茂第三地区土地区画整理事業 (組合区画整理)

洛西第二地区土地区画整理事業 (組合区画整理)

桃山東第二地区土地区画整理事業 (組合区画整理)

(財) 京都市土地区画整理協会補助金

二条駅地区土地区画整理事業

水垂埋立処分地跡地整備事業

施策名 多彩で個性的な機能をもつ地域のまちづくり

2312

所管局: 建設局　　共管局: 都市計画局･産業観光局

概要 鉄道駅周辺の交通の利便性が高い地域においては，周辺住環境との調和に配慮した都市機能の配置と市街地環境の整備を行い，民間活力を活用しながら，にぎわいと潤いのあるまちづくりを進める。また，地域特性に応じた商店街の活性化を図り，商業振興と一体となったまちづくりを進める。

総合評価 C

市民満足度評価は，事業（太秦東部地区）開始後まもないことや，地域の核となるにぎわい施設の未整備（二条駅地区）等により，満足度はCとなったと思われる。客観指標評価については，地下鉄二条駅乗降客数は増加し，二条駅周辺の路線価も上昇しており，良好な評価である。しかし，太秦東部地区においては，地下鉄駅の開業及び右京区総合庁舎等が入る再開発ビルの整備により，地域の拠点としての機能が期待できるものの，現在の進ちょく状況においては，路線価に具体的な効果が表れるには至らず，評価はCとする。こうしたことから判断し，総合評価をCとする。

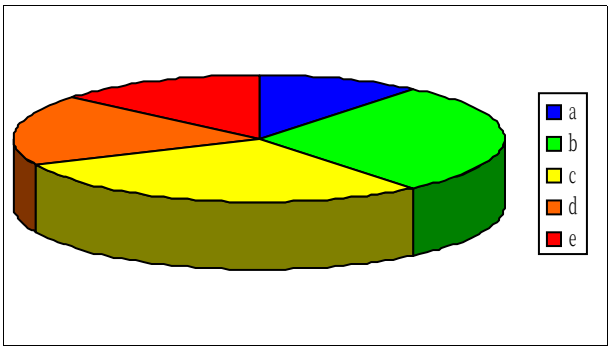
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: C

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
地下鉄駅別乗降客数（二条駅）（千人）＊	5919	6112			B
路線価（二条駅地区）（千円）	231	236			B
路線価（太秦東部地区）（千円）	184	172			D

○この施策に関する市民満足度評価

駅周辺や商店街が整備され，便利で賑わっていると思う。



答a:そう思う	36	10.8%
答b:どちらかというとそう思う	94	28.3%
答c:どちらとも言えない	96	28.9%
答d:どちらかというとそう思わない	60	18.1%
答e:そう思わない	46	13.9%
有効回答数	332	
満足度評価		C

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
京都駅南口駅前広場等整備計画調査
太秦東部地区土地区画整理事業
太秦東部地区第1種市街地再開発事業
山科駅前地区施設建築物関連経費
文化施設整備事業
市街地再開発事業施行事務費
山科駅前駐車場管理運営
山科駅前地区公共施設維持管理
山科駅前自転車等駐車場維持管理
京都駅新幹線下自由通路等の維持管理
太秦東部地区まちづくり総合支援事業

二条駅地区まちづくり総合支援事業

ラクト健康･文化館管理運営

施策名 まちづくりを支えるしくみづくり

2313

所管局: 都市計画局　　共管局: なし

概要 広く市民と情報を共有し，京都独自のきめ細かなまちづくりのしくみを整えながら，それぞれの地域において，市民との協働により，地域に根ざしたまちづくりを進める。

総合評価 B

平成14年度は地区計画を3件追加した。そのうち地域協働型地区計画も策定（過去3年間で他に1件）するなど，地域に根ざしたまちづくりが着実に進んでいる。また,京都市景観・まちづくりセンターにおけるまちづくりに関する相談件数が過去最大であることからも，客観指標評価はAであるが，市民満足度評価はCであるため，総合評価をBとする。

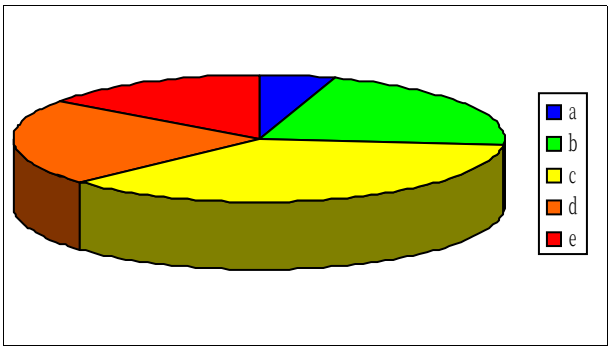
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: A

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
地域協働型地区計画の策定数（計画）	1	1			A
地区計画の地区数（地区）	33	36			B
地区計画の区域面積（ha）	450.2	488.7			B
(準)京都市景観・まちづくりセンターにおけるまちづくりに関する相談件数（件）	475	571			A'

○この施策に関する市民満足度評価

住民自身の手によるまちづくり活動が盛んになってきていると思う。



答a:そう思う	16	4.9%
答b:どちらかというとそう思う	71	21.6%
答c:どちらとも言えない	120	36.5%
答d:どちらかというとそう思わない	73	22.2%
答e:そう思わない	49	14.9%
有効回答数	329	
満足度評価		C

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
民間活力によるパートナーシップ型まちづくりの推進に必要な事業
市街地整備に係る民間等からの相談，指導等に関する業務
まちづくり支援・啓発・広報
まちづくりデータベース作成支援事業（まちセン補助金分を除く）
京都市景観・まちづくりセンター運営経費（施設運営委託費を含む）
都市計画運営経費
計画技術及び計画行政に関する国際ネットワークの確立に向けた基礎調査
特別用途地区の活用推進業務及びまちづくり条例の運用
市街化調整区域等の土地利用規制の推進に関する業務
地域地区見直し業務
防災都市づくりに関する調査

施策名 都市内の交通網の整備

2321

所管局: 建設局　　共管局: 都市計画局

概要 「歩くまち・京都」の考え方を踏まえ，安全・快適な歩行空間を確保するとともに，公共交通機関や自転車の利用しやすい条件を整備し，自動車交通に過度に依存しない公共交通優先型の歩くまちをめざした交通網を整備する。

総合評価

C

昨今の本市の財政状態が厳しいこともあり，客観指標の1つである道路規格改良済延長の数字は過去6年の平均と比較しても低いが,自転車利用環境に関する客観指標評価は高く，客観指標総合評価はBである。また,市民満足度評価についてはDである。これらを総合的に評価し,総合評価をCとする。

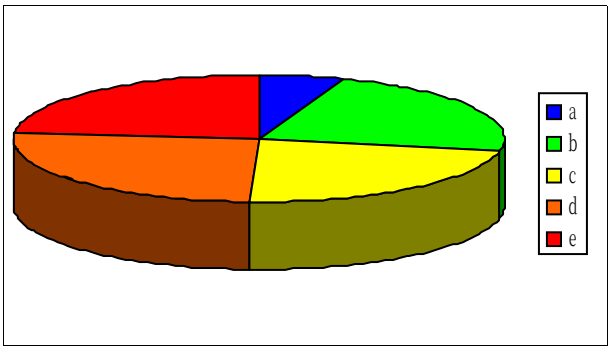
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: B

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
道路規格改良済延長（単年度延長）（m）＊	7776	6781			D
自転車等駐車場の収容台数（台）	33883	35621			B
自転車等駐車場の設置箇所数（箇所）	58	62			B
都市型レンタサイクルの設置台数（台）	360	610			B
都市型レンタサイクルの設置箇所数（箇所）	2	4			A

○この施策に関する市民満足度評価

市内の道路は，歩いたり自転車に乗るのに快適になってきた。



答a:そう思う	18	5.4%
答b:どちらかというとそう思う	75	22.7%
答c:どちらとも言えない	74	22.4%
答d:どちらかというとそう思わない	86	26.0%
答e:そう思わない	78	23.6%
有効回答数	331	
満足度評価		D

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
バス利用促進等総合対策事業
道路区域明示
道路台帳整備
2次網基準点維持管理
私道認定事業
出町駐車場管理運営
御池駐車場管理運営
市道外環状線（東野地下歩道）の整備
深草疏水通整備事業
京都市公共土木事業移転立ち退き資金融資
駐車場運営

施策名 都市圏内の交流を支える交通網の充実

2322

所管局: 建設局　　共管局: 都市計画局･交通局

概要 都市圏内の交流を支える，地下鉄をはじめとする鉄道網，道路網の充実により，都市間交流の円滑化，市民生活の向上とまちの活性化を図る。

総合評価 C

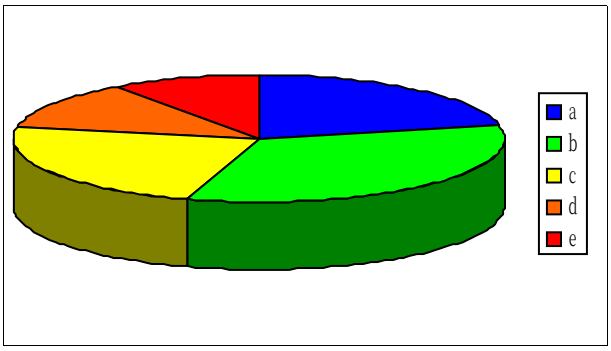
昨今の本市の財政状態が厳しいこともあり,道路規格改良済延長は過去6年の平均と比較して低く,客観指標評価はDである。また,市民満足度評価については,「どちらかというとそう思う」が多くを占めBである。これらを総合的に評価し,総合評価をCとする。

○この施策の客観指標評価　　客観指標総合評価: D

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
道路規格改良済延長（単年度延長）（m）＊	7776	6781			D

○この施策に関する市民満足度評価

鉄道網や道路網が発達しており，近隣の都市へ出かけるにも便利だと思う。



答a:そう思う	71	21.3%
答b:どちらかというとそう思う	111	33.3%
答c:どちらとも言えない	77	23.1%
答d:どちらかというとそう思わない	42	12.6%
答e:そう思わない	32	9.6%
有効回答数	333	
満足度評価		B

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
高速鉄道建設事業
駐車場事業特別会計繰出金
醍醐駐車場事業費
京阪神都市圏総合都市交通体系調査
鉄道軌道近代化設備整備費補助金
地方バス路線維持に係る補助金
一般国道１６２号（川東拡幅）の整備
大山崎大枝線の整備
久我橋の整備
北大路橋の整備
宝が池通の整備

京都日吉美山線の整備

京都広河原美山線の整備

京都京北線の整備

小山大宅線の整備

宝が池橋の整備

広河原３号橋の整備

橋りょう改良

道路改良

災害防除

橋りょう補修

橋りょう調査

舗装新設･私道舗装助成

向日町上鳥羽線の整備

葛野大路（山ノ内工区）の整備

伏見向日町線の整備

石見下海印寺線の整備

中山石見線の整備

久世北茶屋線の整備

深草大津線の整備

幡枝葵森線の整備

御陵六地蔵線（第二工区）の整備

西小路通の整備

大原通の整備

竹田久我線の整備

都市再生関連事業調査

久世梅津北野線（桂川橋梁）の整備

京阪本線淀駅周辺整備事業

阪急京都線連続立体交差化事業

ＪＲ山陰本線複線高架化事業

鴨川東岸線整備事業

十条通整備事業

施策名 広域交通網の充実

2323

所管局: 建設局　　共管局: 都市計画局

概要 市全体のまちづくりのあり方を念頭に置きながら，都市圏内外を結ぶ自動車専用道路網を形成するとともに，広域高速道路網，広域高速鉄道網構想へ対応し，都市活動の活性化を図る。

総合評価

C

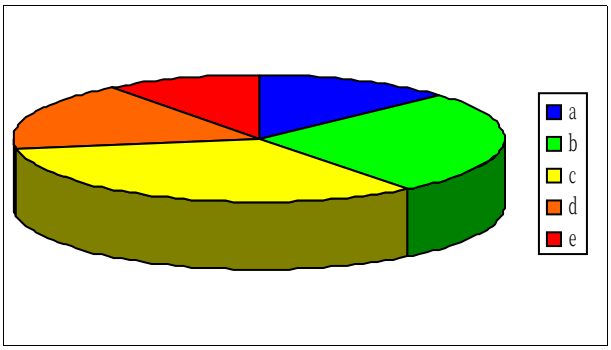
市民満足度評価については，京都高速道路事業が完成に至っていないこともあり，評価はCとなっている。現在，京都高速道路新十条通については，事業の進捗が年々進んでおり，平成15年度以降早期に完成する。また，油小路線については，事業着手が平成12年度からと事業開始間もないこともあり，事業進捗率は低いが，概ね計画通り事業が進められており，客観指標の総合評価をCとしている。以上のことを総合的に判断し，総合評価をCとする。

○この施策の客観指標評価　　客観指標総合評価: C

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
広域交通網の充実（新十条通）（分）	25				
広域交通網の充実（新十条通）（百万円）	51707	56124			B
広域交通網の充実（油小路線）（分）	22				
広域交通網の充実（油小路線）（百万円）	13808	25607			D

○この施策に関する市民満足度評価

交通網が充実し，外国や国内各地からアクセスしやすいまちだと思う。



答a:そう思う	42	13.0%
答b:どちらかというとそう思う	87	26.9%
答c:どちらとも言えない	106	32.7%
答d:どちらかというとそう思わない	56	17.3%
答e:そう思わない	33	10.2%
有効回答数	324	
満足度評価		C

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
関西国際空港全体構想の推進
油小路線整備事業
阪神高速道路公団出資金
新十条通整備事業
京都高速道路関連事業
高速自動車国道（阪公）通過市町村関連公共施設等整備助成金
第二外環状道路整備促進調査

施策名 新しい交通政策の確立

2324

所管局: 都市計画局　　共管局: なし

概要 地域の住民や事業者，その他の関係機関が一体となって，自動車交通の抑制や平準化を図る。また，必要に応じて実験的な取組を実施しながら，安全･快適で効率の良い，人や環境にやさしい交通体系の実現を目指す。

総合評価 C

市民満足度評価はDと低いが，平成13及び14年度には，嵐山交通社会実験を実施しており，さらにその交通社会実験のアンケート調査結果から評価した客観指標評価はAと高いことから，総合評価をCとする。

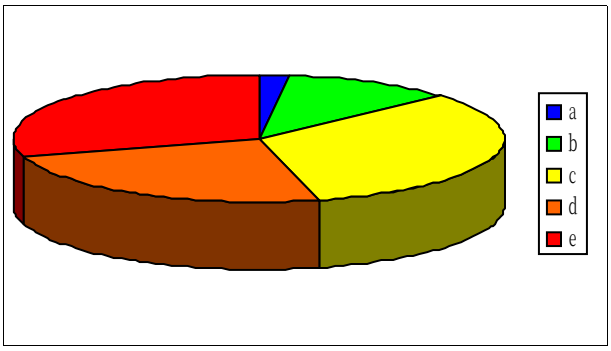
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: A

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
(準)公共交通の利用割合の増加度 (%)	79.7	86.5			B'
(準)トランジットモール交通社会実験の歩行者満足度 (%)		95.6			A'
(準)パーク＆ライド交通社会実験の利用者満足度 (%)		95.4			A'

○この施策に関する市民満足度評価

パークアンドライド実験など新しい交通政策は十分に展開されていると思う。



答a:そう思う	6	1.9%
答b:どちらかというとそう思う	37	11.5%
答c:どちらとも言えない	106	32.8%
答d:どちらかというとそう思わない	78	24.1%
答e:そう思わない	96	29.7%
有効回答数	323	
満足度評価		D

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
都心地域の交通対策検討調査
新しい公共交通システム調査
京都市交通情報データシステム運用
京都市南部地域の公共交通検討調査
嵐山観光地交通対策

施策名 高度情報通信社会に対応するための基盤整備

2331

所管局: 総合企画局　　共管局: なし

概要 民間活力による高度な情報通信基盤の構築を促進し，市民，企業等がその利益を享受できるしくみをつくり，地域の更なる活性化を目指した高度情報化の進展に取り組む。

総合評価

B

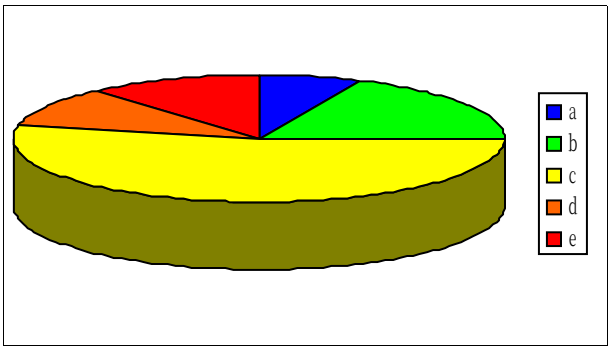
総務省情報通信統計において，政令指定都市及び県庁所在地級都市の光ファイバーの整備状況（カバー率）は97％であり，全国平均の72％と比較しても，かなり高い数値であり客観指標評価をAとした。平成14年度の取組として「大学情報ネットワーク」を構築し,国が管理する「学術情報ネットワーク（SINET）」との接続を行った。これらの取組により，他の地域と比較しても，先進的な高度情報基盤を構築しているが，市民満足度評価はCのため，総合評価をBとする。

○この施策の客観指標評価　　客観指標総合評価: A

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
(準)光ファイバー網の整備状況(%)	95	97			A'

○この施策に関する市民満足度評価

京都市内は，インターネットをはじめとしたIT技術を利用するのに便利なところだと思う。



答a:そう思う	20	6.5%
答b:どちらかというとそう思う	57	18.6%
答c:どちらとも言えない	163	53.3%
答d:どちらかというとそう思わない	31	10.1%
答e:そう思わない	35	11.4%
有効回答数	306	
満足度評価	C	

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
京都情報通信ネットワーク構築促進事業(京都ONE構想の推進)
建設事業高度情報化の推進

施策名 デジタルアーカイブの推進

2332

所管局: 産業観光局　　共管局: なし

概要 文化･学術･産業などにおいて「財」としての価値を持つ京都の豊富な資産をデジタル化して蓄積･発信･活用し，産学公の緊密な連携の下，京都文化の発展，産業経済の振興を目指す。

総合評価

B

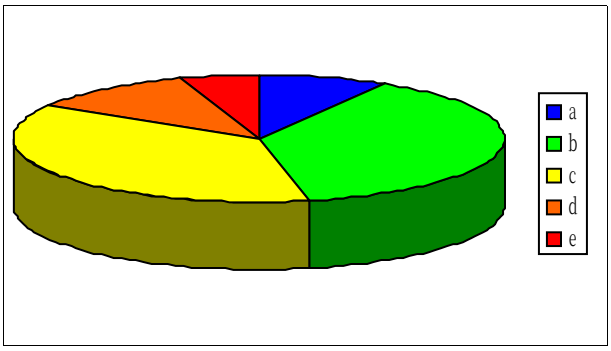
平成10年度から，二条城障壁画や京都市美術館所蔵品など，主に京都市所有の文化資産や古写真など民俗資料のデジタルアーカイブを進め，収録･蓄積件数は着実に増加してきている。客観指標である蓄積意匠数は前年比3倍，ＨＰのアクセス件数は前年比倍増しており，客観指標評価をＡとする。市民満足度評価のＢを含め，総合評価をＢとする。

○この施策の客観指標評価　　客観指標総合評価: A

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
デジタルアーカイブ蓄積意匠数	1013	3271			A
(準)京都デジタルアーカイブ研究センターＨＰアクセス数（件）	9522	19009			A'

○この施策に関する市民満足度評価

美術品や歴史的資料をインターネットで手軽に見られて楽しめる。



答a:そう思う	24	8.5%
答b:どちらかというとそう思う	108	38.2%
答c:どちらとも言えない	105	37.1%
答d:どちらかというとそう思わない	31	11.0%
答e:そう思わない	15	5.3%
有効回答数	283	
満足度評価		B

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
デジタルミュージアム調査研究

施策名 情報基盤を活用した企業活動の支援

2333

所管局: 産業観光局　　共管局: 総合企画局

概要 情報関連企業の育成支援を図るとともに，情報通信技術の活用による企業連携の支援など，情報通信基盤を活用し，企業活動を支援する。

総合評価 C

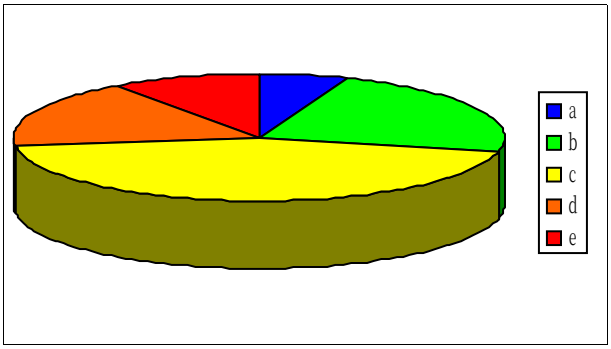
本市ではベンチャー企業育成施設（VIL）等を整備し，情報関連産業の入居促進を図っているほか，「高度情報化推進のための行動計画～e-京都21～」を策定し，全ての企業がITの成果を享受できるまちづくりを目指し，IT講習会等を実施している。しかし，市民の意識においては「どちらとも言えない」の回答が最も多く，市民満足度評価，客観指標評価ともCであるため，総合評価をCとする。

○この施策の客観指標評価　　客観指標総合評価: C

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
市民満足度評価					C

○この施策に関する市民満足度評価

中小企業のIT化は進んでいて，経営に役立っていると思う。



答a:そう思う	17	5.9%
答b:どちらかというとそう思う	65	22.7%
答c:どちらとも言えない	126	44.1%
答d:どちらかというとそう思わない	50	17.5%
答e:そう思わない	28	9.8%
有効回答数	286	
満足度評価		C

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名

施策名 観光における高度情報化の推進

2334

所管局: 産業観光局　　共管局: なし

概要 ITの活用により，運輸機関，旅行業界等との連携の下，的確できめ細かい観光情報の受発信を行い，観光客のニーズの把握と誘致活動を展開する。

総合評価

A

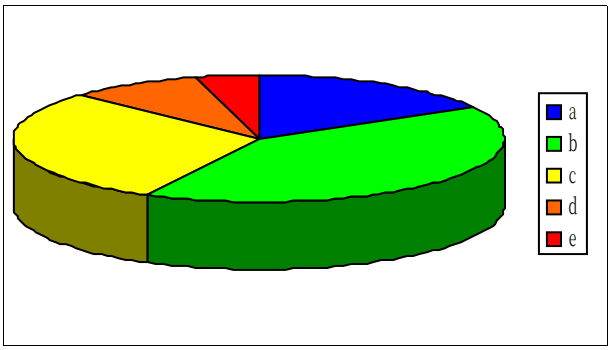
客観指標である京都市観光文化情報システムの利用件数は，開設以来最高件数を記録しており，客観指標評価をAとする。市民の意識でもITの普及により，観光情報が入手しやすくなったことからか「どちらかというとそう思う」が最も多く，市民満足度評価はBである。これらの両評価を総合的に勘案し，総合評価をAとする。

○この施策の客観指標評価　　客観指標総合評価: A

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
京都市観光文化情報システムのアクセス件数（件）	849388	1333553			A

○この施策に関する市民満足度評価

市内の観光情報を集めるときは，インターネットを利用するので，便利になった。



答a:そう思う	50	16.8%
答b:どちらかというとそう思う	121	40.7%
答c:どちらとも言えない	88	29.6%
答d:どちらかというとそう思わない	26	8.8%
答e:そう思わない	12	4.0%
有効回答数	297	
満足度評価		B

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名

施策名 高齢者や障害のあるひとへの高度情報化による支援

2335

所管局: 保健福祉局　　共管局: なし

概要 情報通信技術を活用し，高齢者や障害のあるひとが多くのひとと交流し，社会参加できるよう，情報機器の基礎技術の習得をはじめとした支援を行う。

総合評価 C

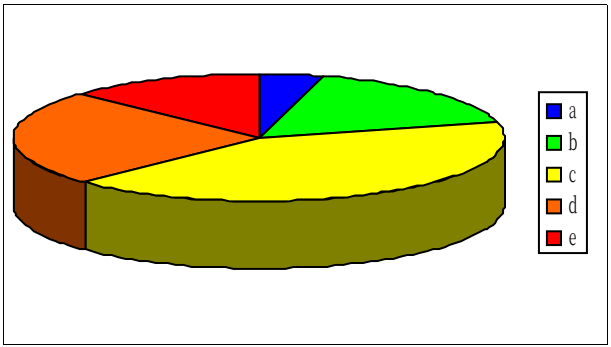
市民満足度評価を客観指標評価として採用しており，満足度評価ともCであるため，総合評価をCとする。

○この施策の客観指標評価　　客観指標総合評価: C

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度	評価
市民満足度評価	C

○この施策に関する市民満足度評価

高齢者や障害のあるひともITを活用できる環境が整っていて，社会参加に役立っていると思う。



答a:そう思う	12	4.2%
答b:どちらかというとそう思う	49	17.0%
答c:どちらとも言えない	120	41.5%
答d:どちらかというとそう思わない	71	24.6%
答e:そう思わない	37	12.8%
有効回答数	289	
満足度評価	C	

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
障害者情報バリアフリー化支援事業
障害者向けIT基礎技能修得等住民サポート事業
高齢者技術講習会開催事業

施策名 情報教育の充実

2336

所管局: 教育委員会　　共管局: なし

概要 子どもたちがコンピュータを扱うことができ，ネットワーク上での必要な情報を選択･収集し，さらには自らのものとして読み解くことができる情報活用能力を養う教育を進める。

総合評価 B

本市においては情報化推進総合センターにおける夜間も含めた職務･経験年次別研修，情報教育講座等の実施により，教員のPC指導可能率は政令市3位となっている。また，光ファイバー高速通信も全校に導入されていることから客観指標評価をAとする。市民満足度評価のBと合わせ，総合評価をBとする。

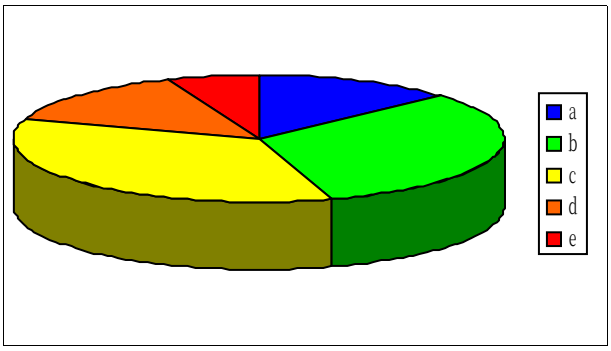
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: A

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
市民満足度評価					B
(準)教員PC指導可能率 (%)	70.2	76.2			A'
(準)市立学校における光ファイバー導入率 (%)	0	100			A'

○この施策に関する市民満足度評価

最近の子どもはパソコンを十分使いこなしていると思う。



答a:そう思う	42	13.5%
答b:どちらかというとそう思う	99	31.7%
答c:どちらとも言えない	109	34.9%
答d:どちらかというとそう思わない	43	13.8%
答e:そう思わない	19	6.1%
有効回答数	312	
満足度評価		B

<参考>この施策実現のための主な事業

事業名
学校コンピュータ環境整備
教職員コンピュータ研修事業

施策名 行政の高度情報化の推進

2337

所管局: 総合企画局　　共管局: なし

概要 行政サービス，行政活動において高度情報化を推進し，市民が知りたい情報をより早く，簡単に入手でき，市民の意見・提案等が的確に伝わるしくみ，また，各種申請が窓口に行かなくても行えるしくみを構築するなど，より利便性の高い行政サービスが展開できる「電子自治体」の確立を目指す。

総合評価 C

職員へのパソコン普及率及びホームページを発信している所属数は，いずれも前年度より増加しているものの，申請書をダウンロードサービスしている課等の割合は低調であり，市民満足度評価もC評価に留まっているため，C評価とする。

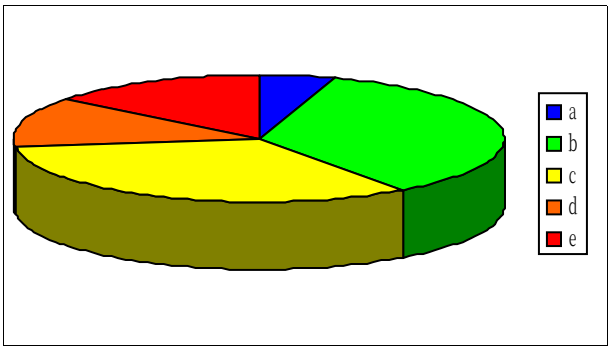
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: C

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
職員へのパソコン普及率（共有化も含む。）（%）	15.73	29.13			D
申請書をダウンロードサービスしている課等の割合（%）	3.19	7.45			E
ホームページを発信している課数（課）	116	150			B
(準)インターネット京都市民しんぶん配信登録者数（件）	1759	2670			A'

○この施策に関する市民満足度評価

市役所や区役所のIT化が進み，公共サービスが便利になったと思う。



答a:そう思う	16	5.1%
答b:どちらかというとそう思う	109	34.8%
答c:どちらとも言えない	103	32.9%
答d:どちらかというとそう思わない	40	12.8%
答e:そう思わない	45	14.4%
有効回答数	313	
満足度評価	C	

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
電子計算機構機器管理運営事業
行政業務情報化システムの構築・運営
市役所イントラネット整備の推進
情報セキュリティの確立
地域情報化の推進事務
行政サービスの電子化の推進
情報政策課総務事務
IT推進職員研修
「新高度情報化推進行動計画」の推進
道路管理システム

施策名 市民の目線での市政情報の提供や公開

3110

所管局: 総合企画局　　共管局: 総務局

概要 「市民しんぶん」をはじめとする印刷物やテレビ，ラジオ，　インターネットなど，様々な媒体を利用し，市民に　公平･迅速に市政に関する情報を伝える。また，情報公開制度を改善し，公正で透明度の高い開かれた市政を推進する。

総合評価

B

市政情報の提供や公開についての市民の満足度はBであり，加えて「市民しんぶん」の配布率の上昇，市ホームページへのアクセス件数，インターネット京都市民しんぶん配信登録者数及びホームページを発信している課数について，前年度と比較して増加している。また，公文書の公開に関する条例を全部改正し，原則公開の趣旨をより徹底した情報公開条例を14年10月に施行した。さらに，公開している審議会の数については，市民参加推進条例の施行も踏まえると，より一層の開かれた市政の推進に向けた第一歩が踏み出されている。これらを総合的に判断し総合評価をBとする。

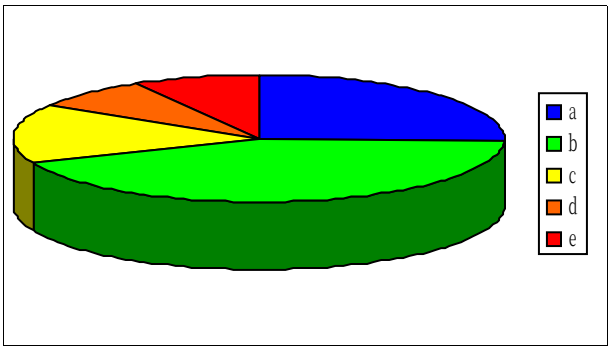
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: B

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
市民しんぶん配布率 (%)	94.1	94.8			B
(準)公開されている審議会等の数		31			C'
テレビ広報視聴率 (%)	0.4	0.3			D
市ホームページアクセス件数 (件)	7453976	25567809			A
インターネット京都市民しんぶん配信登録者数 (件)	1759	2670			A
ホームページを発信している課数 (課)	116	150			B

○この施策に関する市民満足度評価

市民しんぶんやその他の市政広報は市政に関する情報を得るのに分かりやすく，役に立っていると思う。



答a:そう思う	85	25.8%
答b:どちらかというとそう思う	141	42.9%
答c:どちらとも言えない	50	15.2%
答d:どちらかというとそう思わない	26	7.9%
答e:そう思わない	27	8.2%
有効回答数	329	
満足度評価	B	

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
都市計画関係地図印刷頒布
都市計画情報システム運用による窓口支援事業経費
「京都市の都市計画」改訂業務
情報公開に関する事務
情報提供に関する事務
個人情報保護に関する事務
重要事務事業の進行管理
市民しんぶん
テレビ広報
ラジオ広報
映画広報

「市政広報ポスター」の発行

市政総合宣伝

市政情報のインターネット発信

広報板整備

きょうとシティグラフの発行

広報用写真撮影委託

広報発表

広報課総務事務

施策名 市民との対話による双方向性の確保

3120

所管局: 総合企画局　　共管局: なし

概要 「市長への手紙」や「電子会議室」をはじめとして，市民が気軽に意見や提案を言える仕組を充実するなど，双方向，対話型の新たな仕組を構築する。

総合評価 C

市民の満足度はDであるが，「市長への手紙」の件数が増加していることや，ワークショップなど市民が市政に係る様々な意見や提案を行う制度が活用されていることから，総合評価をCとする。

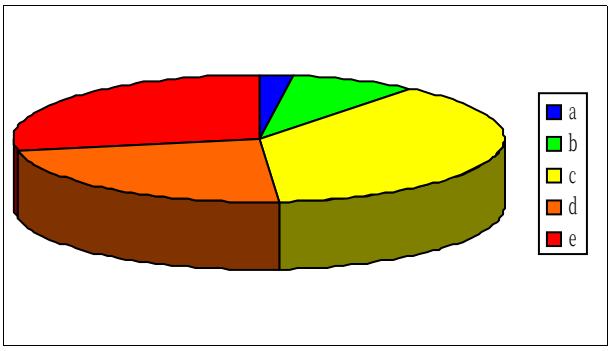
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: B

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
電子会議室発言者数（件）					
(準)「市長への手紙」の数（件）	1299	1733			A'
ワークショップ等市民参加型事業の実施局・区の数（局区）		12			C
パブリック・コメントで出された意見数（件）	169	195			A
(準)市民の声の件数（件）	205019	187856			D'

○この施策に関する市民満足度評価

市政に関して意見を言いたいときに気軽に言える場があり，意見に対しても十分な応答がなされている。



答a:そう思う	7	2.3%
答b:どちらかというとそう思う	26	8.4%
答c:どちらとも言えない	118	38.1%
答d:どちらかというとそう思わない	71	22.9%
答e:そう思わない	88	28.4%
有効回答数	310	
満足度評価		D

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
広聴事業
市民憲章の推進
市政協力委員経費
ちびっこひろば

施策名 市民とともに政策を企画･実施･評価していくための情報の共有

3130

所管局: 総合企画局　　共管局: なし

概要 市民が知りたい情報を早く，簡単に入手できる仕組みを作るとともに，市民の意見や提案等が市政の各部門に確実に伝わるしくみを構築し，市民が市政に参加していくための基本となる情報の共有化に努める。

総合評価 C

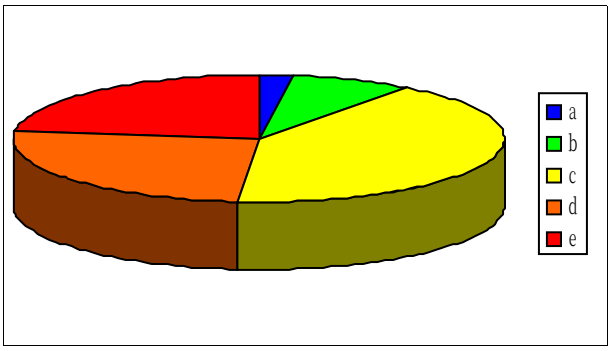
本市の政策に関わる情報の共有についての市民の満足度はDであるが，一方では，市ホームページ（京都市情報館）へのアクセス件数，ホームページを発信している課数については，前年度と比較して増加している。また，市民とともに政策を企画する指標のひとつである市や審議会等が実施したパブリックコメント1件あたりの意見数も増加している。これらのことを総合的に判断し，総合評価をCとする。

○この施策の客観指標評価　　客観指標総合評価: B

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
市ホームページアクセス件数（件）	7453976	25567809			A
ホームページを発信している課数（課）	116	150			B
(準)ワークショップ等市民参加型事業の実施局･区の数（局区）		12			C'
パブリック･コメントで出された意見数（件）	169	195			A
(準)公開されている審議会等の数		31			C'

○この施策に関する市民満足度評価

市政に参加したいと思ったときに，必要な情報を得やすいと思う。



答a:そう思う	7	2.3%
答b:どちらかというとそう思う	24	7.9%
答c:どちらとも言えない	125	41.3%
答d:どちらかというとそう思わない	76	25.1%
答e:そう思わない	71	23.4%
有効回答数	303	
満足度評価	D	

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
市政史編さん事業

施策名 市民が政策形成に参画できるしくみづくり

3210

所管局: 総合企画局　　共管局: なし

概要 市民による政策の企画立案に対して支援を行うとともに，審議会の公開やワークショップ，パブリック・コメントなど様々な機会を提供することにより，多くの市民や専門的な活動を行う市民活動団体等が政策形成に参画できる仕組みづくりに努める。

総合評価 C

客観指標評価において，公開されている審議会等の数やワークショップ等市民参加型事業についての評価はCであるものの，市民参加の推進に向けた審議会等の委員公募やパブリック・コメントの実施などの取組についての評価はAであるため，客観指標総合評価についてはBとする。市民満足度評価はDであるが，総合評価をCとする。

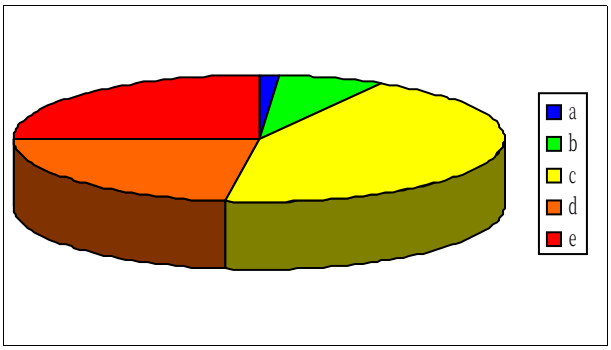
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: B

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
(準)公開されている審議会等の数		31			C'
(準)審議会等の委員公募件数（件）	5	11			A'
パブリック・コメントで出された意見数（件）	169	195			A
ワークショップ等市民参加型事業の実施局・区の数（局区）		12			C

○この施策に関する市民満足度評価

市の計画に早い段階で意見を言う機会が増えてきており，市民ニーズが反映されていると思う。



答a:そう思う	4	1.3%
答b:どちらかというとそう思う	22	7.2%
答c:どちらとも言えない	134	43.6%
答d:どちらかというとそう思わない	69	22.5%
答e:そう思わない	78	25.4%
有効回答数	307	
満足度評価		D

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
電子会議室の運営
もっと元気に・京都　市民会議
市民参加推進事業
パートナーシップ推進室総務事務
京都市社会福祉審議会運営

施策名 個性ある政策を形成するための条件整備

3220

所管局: 総務局　　共管局: 理財局

概要 将来ニーズを的確に把握し，幅広い角度から先駆的で大胆な個性ある政策の企画ができるよう，職員の政策形成能力の向上を図るとともに，財政力の強化に努める。

総合評価 C

問題解決能力向上講座などの政策形成能力の向上に係る研修の受講者数は増加し，受講者に対するアンケート数値も僅かではあるが上昇しており，職員の能力向上に向けた意欲の高まりは感じられるが，市政研究会の数は減少しているため客観指標評価はBとなっている。市民満足度評価がDとなっているが，研修の成果が市民に実感されるまで時間を要すると考えられることや，税制研究会における法定外目的税等の研究を含む税財政力の強化に向けた取組みを踏まえて総合評価をCとする。

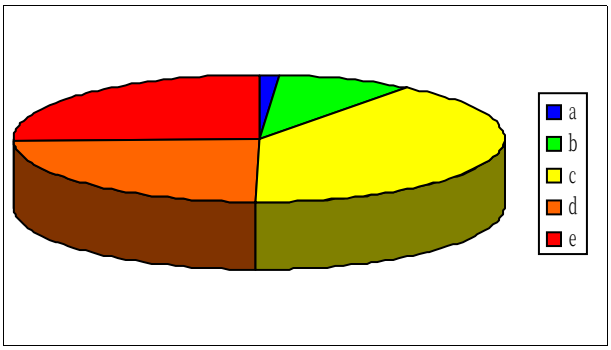
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: B

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
政策形成能力の向上に係る研修の受講者数（人）	101	116			B
（準）市政研究会の数	16	13			E'
政策形成能力研修受講者に対するアンケート結果（5点満点）	4	4.1			B

○この施策に関する市民満足度評価

市民ニーズに沿って工夫された政策が打ち出されていると思う。



答a:そう思う	4	1.3%
答b:どちらかというとそう思う	28	9.0%
答c:どちらとも言えない	124	39.9%
答d:どちらかというとそう思わない	75	24.1%
答e:そう思わない	80	25.7%
有効回答数	311	
満足度評価		D

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
プラス・アクション21の企画，調整
職員提案制度
市政研究会の活性化の企画，調整
国家予算要望
政策企画課総務事務
政策形成能力等の向上に関する研修

施策名 市民との協働による政策の推進

3310

所管局: 総合企画局　　共管局: なし

概要 地域の課題や様々なテーマに関わる問題の解決に向けて，市民や団体等の自主的な活動を支援し，適切な役割分担を図りつつ協働して政策を実施する。

総合評価 C

客観指標評価において，ＮＰＯ法人の認証件数についてはＡであるものの，より具体的な市民との協働の取組であるワークショップ等市民参加型事業の実施についてはＣであること，また，今後，市民活動の総合的な拠点となる市民活動総合センター（平成１５年６月２３日オープン）について，平成14年度まで整備を行っており，客観指標評価のための数値が得られなかったことから，客観指標総合評価をＣとしている。市民満足度評価についてもＣであるため，総合評価についてはＣとする。

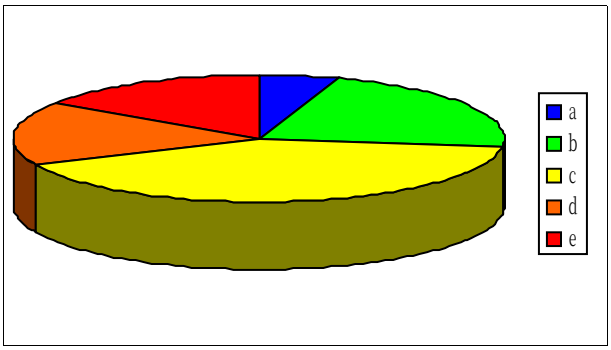
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: C

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
市民活動総合センター利用者数（人）					
(準)市内の特定非営利活動法人（ＮＰＯ法人）の登録件数（件）	141	216			A'
(準)市民コーディネーター登録者数（人）					
(準)ワークショップ等市民参加型事業の実施局･区の数（局区）		12			C'

○この施策に関する市民満足度評価

多様な事業やイベントなどにおいて，市民や行政が力を合わせて取り組む機会が多くなり，満足である。



答a:そう思う	16	5.2%
答b:どちらかというとそう思う	68	21.9%
答c:どちらとも言えない	127	41.0%
答d:どちらかというとそう思わない	51	16.5%
答e:そう思わない	48	15.5%
有効回答数	310	
満足度評価	C	

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
市民活動総合センター管理運営
まちづくり塾支援事業「夢･ロマン･京都シティ」

施策名 新たな発想･手法を取り入れた行政運営の推進

3320

所管局: 総務局　　共管局: なし

概要 社会経済情勢の変化や多様化，高度化する市民ニーズに的確･迅速に対応するため，行政運営の改革等に当たって，新たな発想･手法を取り入れ，その取組を進める。

総合評価 C

適切な行政運営の推進を目指す，「京都新世紀市政改革大綱」及び「組織改革基本方針(案)」に掲げた取組は，着実に実施している。また，運営状況の評価を行っている公の施設については，利用状況の改善がみられる施設が増えているが，外郭団体の経営状況については，おおむね横ばいである。更に，市民応対については，アンケート結果が目標値を上回ったことから，客観指標評価はBとなった。しかし，市民満足度評価はCであり，市民の皆様に行政運営の改革等の成果について，十分満足，実感していただけていないと考えられるため，総合評価をCとする。

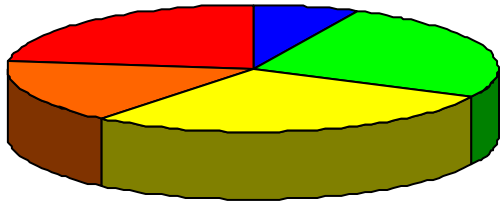
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: B

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
(準) 組織改革基本方針 (案) の取組状況 (項目)	5	6			B'
公の施設における利用状況 (施設)	31	36			B
市民応対窓口サービス評価制度における市民満足度 (5点満点)		3.91	3.5		B
外郭団体のうち単年度黒字団体比率 (%)	60.4	57.4			C
市政改革大綱に基づく事務事業の見直し等の具体的取組の達成状況 (%)		62	100		C
PFIによる事業実施数 (事業)		0			

○この施策に関する市民満足度評価

役所の仕事ぶりが以前よりも良くなったように思う。



答a:そう思う	22	6.9%
答b:どちらかというとそう思う	82	25.6%
答c:どちらとも言えない	90	28.1%
答d:どちらかというとそう思わない	51	15.9%
答e:そう思わない	75	23.4%
有効回答数	320	
満足度評価		C

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
地方分権推進の企画，調査事務
市政改革推進の企画，調査事務
事務事業評価事務
外郭団体の指導調整事務

施策名 市民とともに行う評価のしくみづくり

3410

所管局: 総合企画局　　共管局: 総務局

概要 「政策」や「事務事業」の状況，本市の財政状況等を分かりやすく市民に伝える方法を工夫し，時代状況に応じて充実することにより，市民とともに評価を行えるしくみをつくる。

総合評価

D

制度としての行政評価は平成15年度から（政策評価試行，事務事業評価本格実施）であるため，これまで制度として評価に参加する機会がなかったことが反映されており市民満足度評価はEである。一方，客観指標評価については，制度がまだ導入されていなかったので，数値が得られなかった。しかし，平成14年度中に政策評価制度及び事務事業評価制度とも予定どおり構築できたことから，総合評価をDとする。

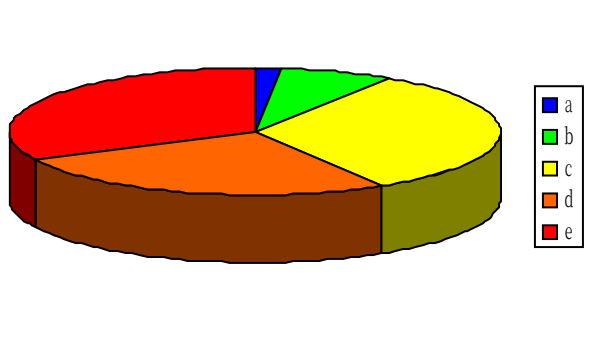
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: —

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
市民満足度調査の回答率（%）					
行政評価制度に寄せられた意見数（件）					
行政評価ホームページアクセス件数（件）					

○この施策に関する市民満足度評価

市民が市の仕事を評価する機会が十分にあると思う。



答a:そう思う	5	1.6%
答b:どちらかというとそう思う	24	7.6%
答c:どちらとも言えない	101	32.1%
答d:どちらかというとそう思わない	83	26.3%
答e:そう思わない	102	32.4%
有効回答数	315	
満足度評価		E

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
行政評価制度の構築

施策名 公共事業の再評価

3420

所管局: 建設局　　共管局: なし

概要 公共事業の効率化･重点化と実施過程の透明化を図るため，事業着手後一定期間を経過したものを中心に，第三者機関による再評価を行い，必要な見直しを行う。

総合評価 C

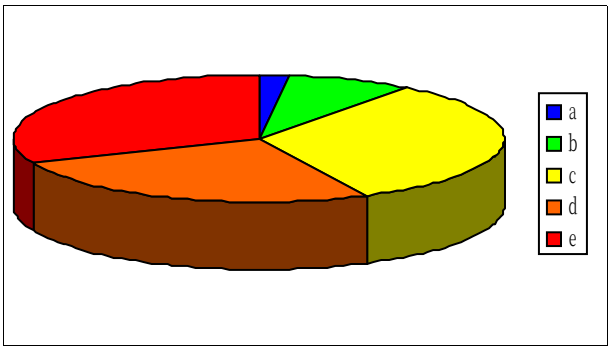
公共事業の再評価についての市民満足度評価はDであるが，広報発表資料だけではなく，市民に向けた情報公開として非公開である再評価委員会の議事概要を後日ホームページに掲載したことで，ホームページアクセス件数の増加に繋がっていること，また，再評価を行った事業のうち,完了した事業の割合が増加していることから,客観指標評価をBとする。これらを合わせ考え総合評価をCとする。

○この施策の客観指標評価　　客観指標総合評価: B

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
情報公開度（ＨＰアクセス件数）（件）	2880	3240			B
再評価を行った総事業数のうち，完了した総事業数の割合（%）	9	13			B

○この施策に関する市民満足度評価

公共事業の再評価によって事業の点検がしっかりできていると思う。



答a:そう思う	6	1.9%
答b:どちらかというとそう思う	26	8.4%
答c:どちらとも言えない	101	32.6%
答d:どちらかというとそう思わない	80	25.8%
答e:そう思わない	97	31.3%
有効回答数	310	
満足度評価		D

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
公共事業再評価

施策名 魅力ある地域づくりの拠点としての区役所機能の強化

3510

所管局: 文化市民局　　共管局: なし

概要 情報受発信機能の強化や市政各部門との連帯の強化など，地域における市民参加を得ながら個性的で魅力ある地域づくりを進めるための区役所機能の強化を図る。

総合評価 C

市民満足度調査においては「中間」が相対的に多いが，回答は分散しており，評価はCである。客観指標評価は市民満足度評価を活用することとしており，総合評価をCとする。

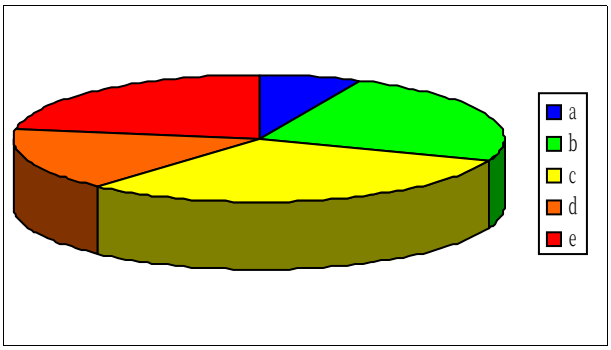
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: C

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度	評価
市民満足度評価	C

○この施策に関する市民満足度評価

身近な暮らしの相談ができるなど，区役所は頼りになる。



答a:そう思う	21	6.6%
答b:どちらかというとそう思う	78	24.4%
答c:どちらとも言えない	97	30.3%
答d:どちらかというとそう思わない	51	15.9%
答e:そう思わない	73	22.8%
有効回答数	320	
満足度評価	C	

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
行政区制度検討調査
証明書発行コーナー管理運営
電話交換業務見直し
市民窓口課窓口分離
区庁舎整備
個性あふれる区づくり事業

施策名 区役所の総合庁舎化

3520

所管局: 文化市民局　　共管局: なし

概要 保健，福祉などの市民生活に密着した要望や地域課題の解決に向けて，それぞれの地域のニーズや実情を踏まえ，総合的に市民サービスの向上を図るため，市民に最も身近な総合行政機関である区役所の総合庁舎化を進める。

総合評価 B

客観指標については，総合庁舎化の進捗状況が京都市基本計画の年次計画より進んでいるものが1箇所，計画どおりのものが2箇所，遅れているものが1箇所であり，未計画のものが3箇所であることから評価をBとする。市民満足度については，行政の総合的なサービス性について「どちらかというとそう思う」，「どちらとも言えない」が多く，評価はCである。以上から総合評価をBとする。

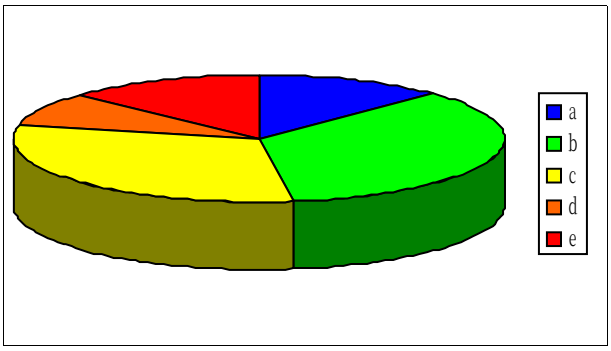
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: B

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度				評価
総合庁舎化の進捗状況（箇所）		8	9	B

○この施策に関する市民満足度評価

区役所に行けば，日常生活のたいていの手続きができて便利だ。



答a:そう思う	40	12.5%
答b:どちらかというとそう思う	113	35.2%
答c:どちらとも言えない	99	30.8%
答d:どちらかというとそう思わない	27	8.4%
答e:そう思わない	42	13.1%
有効回答数	321	
満足度評価		C

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
伏見区総合庁舎整備計画の策定

施策名 新市庁舎の整備

3530

所管局: 総務局　　共管局: なし

概要 21世紀の市政を担う中核施設であり，市政の総合的な情報センター機能や災害時の総合指令センター機能を有し，市民に親しまれる新市庁舎について，財政状況を勘案しながら整備に向けた取組を進める。

総合評価 D

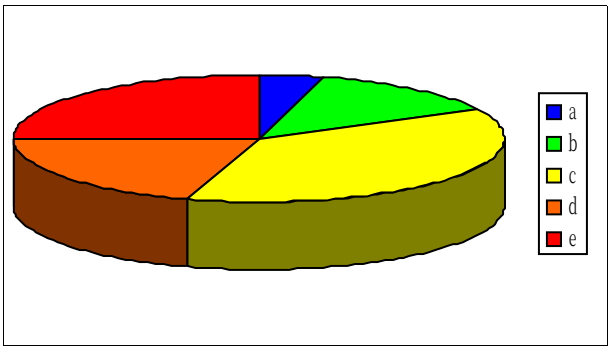
市庁舎整備基金は新規の積立てはなく，運用収益金のみの増加になっているうえ，財政非常事態の下，基金のほぼ全額を一般会計に貸付けを行っている状況であり，また，市民満足度評価の結果もDであることから，総合評価をDとする。

○この施策の客観指標評価　　客観指標総合評価: C

指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度					評価
市庁舎整備基金の積立て（千円）	11401637	11411345			C

○この施策に関する市民満足度評価

市役所の庁舎は市民が気軽に利用できる場となっていると思う。



答a:そう思う	13	4.2%
答b:どちらかというとそう思う	42	13.4%
答c:どちらとも言えない	116	37.1%
答d:どちらかというとそう思わない	63	20.1%
答e:そう思わない	79	25.2%
有効回答数	313	
満足度評価		D

＜参考＞この施策実現のための主な事業

事業名
新庁舎建設関係事務